

「市 民 満 足 度 調 査」

集計・分析結果報告書

平成28年 6月

千 曲 市

目 次

1. 調査の概要

- 1 調査の目的
- 2 調査方法
- 3 調査票の配布及び回収結果
- 4 集計結果の取り扱いについて

2. 回答者の属性

- 1 性別
- 2 年齢
- 3 職業
- 4 居住区域
- 5 居住年数
- 6 住みやすさについて
- 7 今後の居留意向

3. 調査の結果

- 1 市政への関心
- 2 市政への満足度と重要度
- 3 市政への要望
- 4 市政に対する不満
- 5 「協働のまちづくり」について
- 6 「議会本会議」について
- 7 市職員の応対について
- 8 千曲市キャラクター「あん姫」について
- 9 市の広報活動について
- 10 合併後の状況と将来像について

1. 調査の概要

1 調査の目的

平成 19 年 4 月に策定した「千曲市総合計画」に掲げた 32 項目の達成方針について、市民の皆さんがどの項目を重要と考えているのか、また、現状に対する各項目の満足度はどの程度かをお聴きし、今後の市政運営に役立てるため「市民満足度調査」を平成 20 年度より実施しています。

平成 21 年度より行政評価(施策評価)に、市民満足度調査の結果を絡めて評価しています。

2 調査方法

- (1) 調査対象 満 18 歳以上の市民
- (2) 標本数 2,000 人
- (3) 調査区域 千曲市全域
- (4) 抽出方法 住民基本台帳から無作為抽出
- (5) 調査方法 郵送方式(料金受取人払いの返信用封筒を添えて郵送)
Web 方式(インターネットを使用して回答)
- (6) 調査期日 平成 28 年 5 月 20 日～平成 28 年 6 月 3 日

3 調査票の配布及び回収結果

- (1) 調査票配布数 2,000 票
- (2) 有効回収数 977 票(うち Web 回答数 129 票)
- (3) 有効回収率 48.9%(うち Web 回答率 6.5%)

前回(平成 27 年度)配布及び回収結果

- (1) 調査票配布数 2,000 票
- (2) 有効回収数 1,070 票
- (3) 有効回収率 50.9%

4 集計結果の取り扱いについて

- (1) 各項目の集計結果は百分率で表示し、個々の項目はそれぞれ少数第 2 位を四捨五入して算出した。したがって、比率の合計が必ずしも 100%にならないことがある。
- (2) 「18・19 歳」の回答者数が極端に少ない為、集計結果が必ずしも目的に対して正しく反映されているとは限らない点もあるが、参考として表示するものとする。

2. 回答者の属性

(1) 性別

性別では、「男性」が 46.9%、「女性」が 52.2%であった。

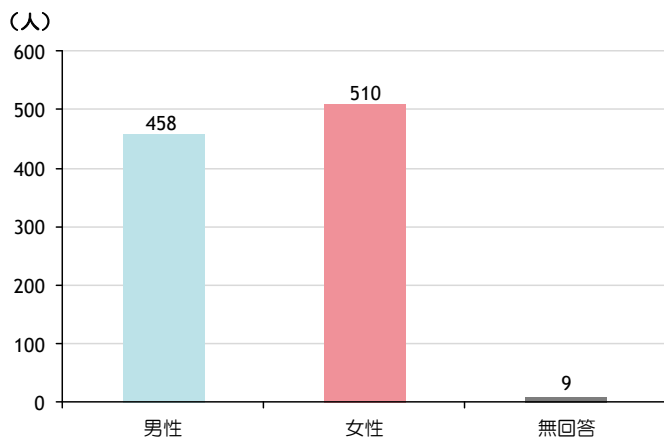


図 2-1-1 性別回答数

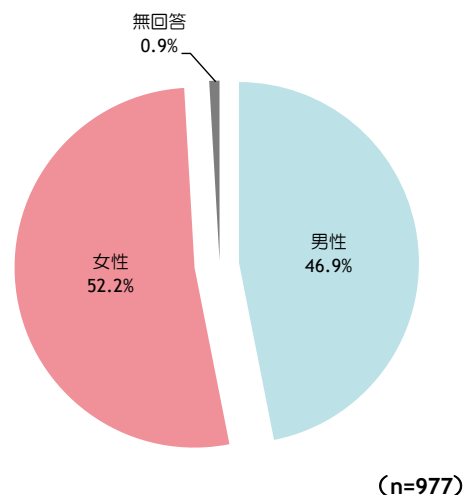


図 2-1-2 性別回答割合

(2) 年齢

年齢別では、「60～69 歳」が 24.5%、「70 歳以上」が 22.0%となっており、60 歳以上の回答者が全体の半数近くを占めている。

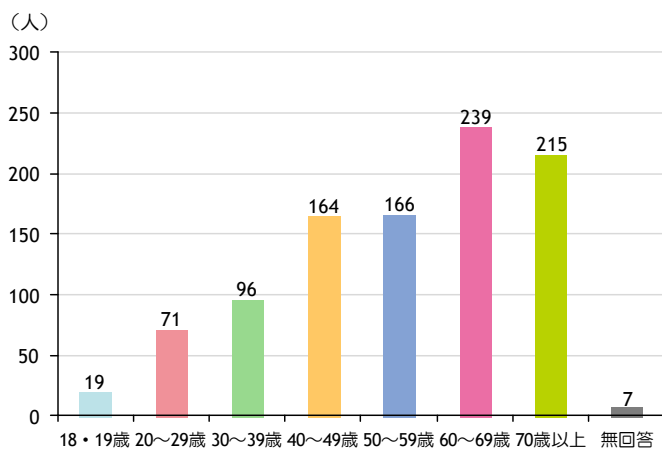


図 2-2-1 年齢別回答数

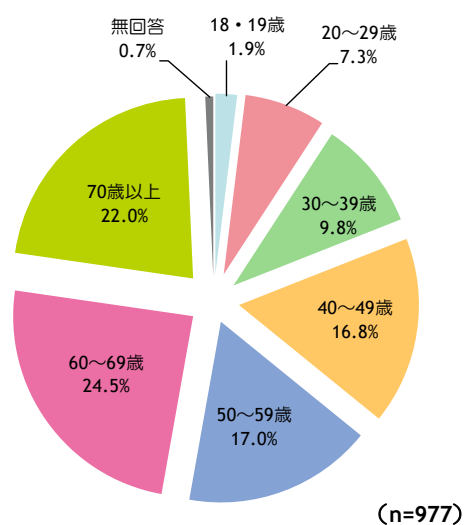


図 2-2-2 年齢別回答割合

性別による年齢の割合は、男性・女性とも 60 歳以上が多く、どの年齢層も男女の割合にあまり差はない。

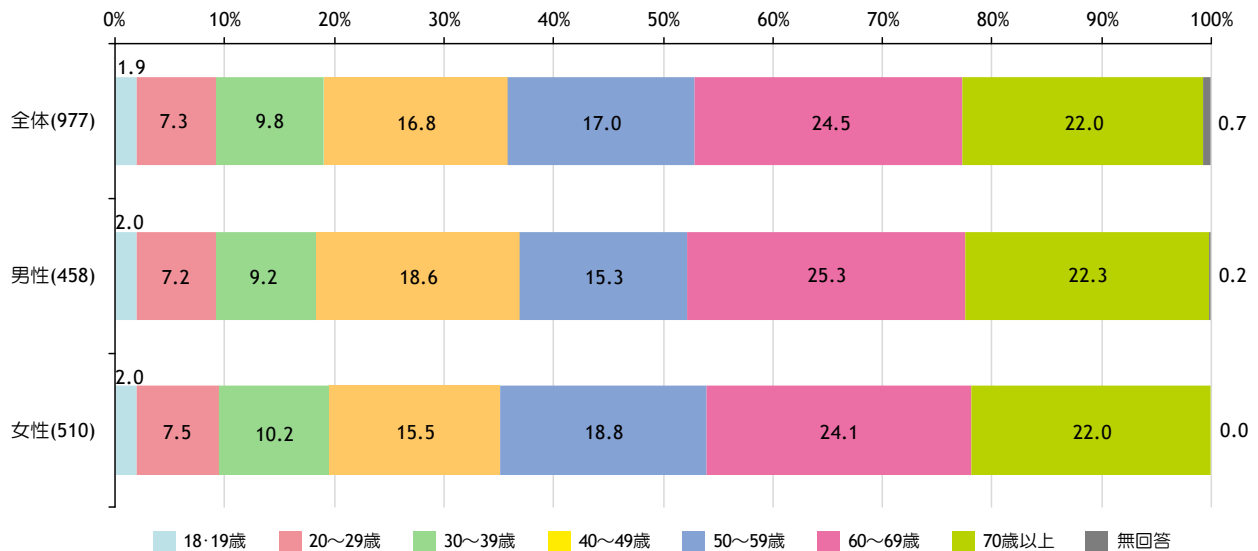


図 2-2-3 性別による年齢の回答割合

(3) 職業

職業別では、「専業主婦・主夫、無職(34.8%)」が最も多く、次いで「会社員(26.8%)」となっている。

形態別では、(農林水産業)と(商工サービス業ほか)を合わせた“自営業”が 12.2%、「会社員」「公務員」「団体職員」を合わせた“勤め人”が 33.9%、「専業主婦・主夫、無職」が 34.8%となっている。

平成 27 年調査結果と比較すると、各職業ともほぼ同じ割合となっている。

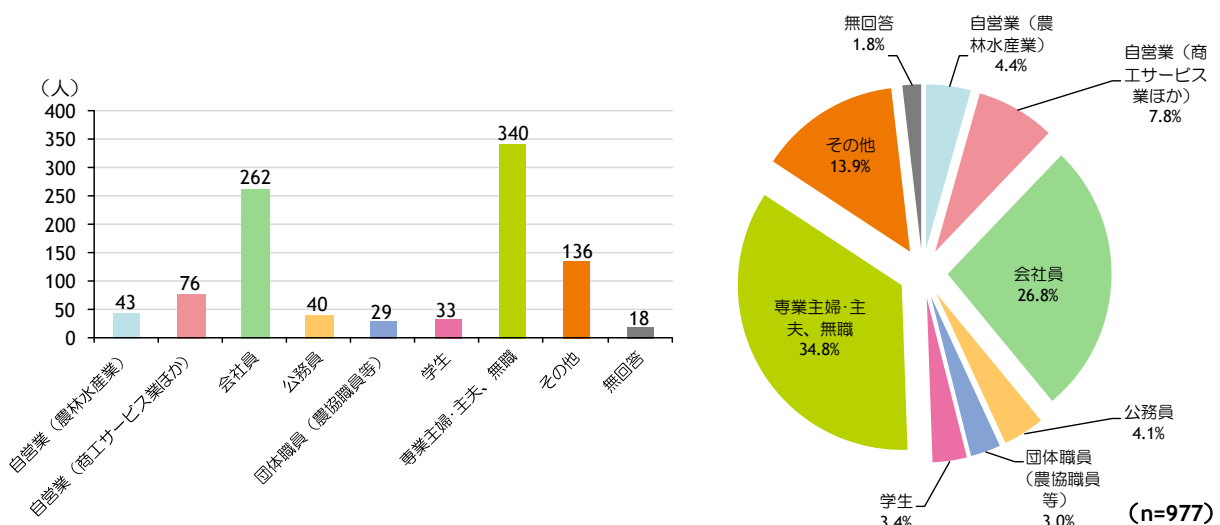


図 2-3-1 職業別回答数

図 2-3-2 職業別回答割合

(4) 居住区域

居住区域別では、「埴生小学校区(16.7%)」が最も多く、「更級小学校区(6.8%)」が最も少ない。埴生小学校区、更級小学校区を除く7小学校区の回答率はばらつきがあるものの、大きな差はみられない。

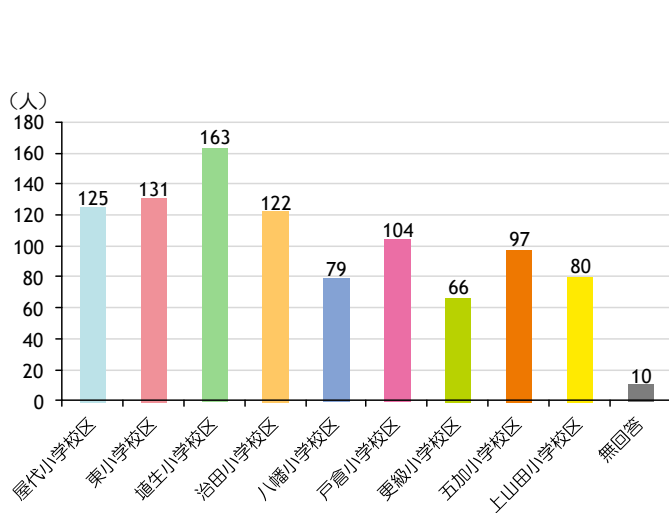


図 2-4-1 居住区域別回答数

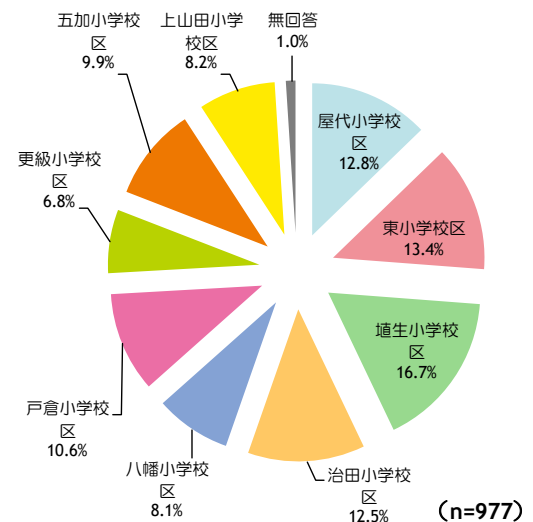


図 2-4-2 居住区域別回答割合

【参考】

～通学区～

屋代小学校	大字屋代、大字粟佐
東小学校	大字雨宮、大字土口、大字生萱、大字森、大字倉科
埴生小学校	大字寂蒔、大字鑄物師屋、大字打沢、大字小島、大字桜堂、 大字杭瀬下、杭瀬下一・二・三・四・五・六丁目、大字新田、大字中
治田小学校	大字稻荷山、大字野高場、大字桑原、大字八幡のうち中原区
八幡小学校	大字八幡(中原区を除く。)
戸倉小学校	大字磯部、大字戸倉、大字戸倉温泉、大字若宮のうち八王子地区、 大字上徳間のうち今井町区・柏王区、大字内川のうち柏王区
更級小学校	大字若宮(八王子地区を除く。)、大字羽尾、大字須坂
五加小学校	大字上徳間(今井町区・柏王区を除く。)、大字内川(柏王区を除く。)、 大字千本柳、大字小船山
上山田小学校	大字力石、大字新山、大字上山田、上山田温泉一・二・三・四丁目

(5) 居住年数

居住年数別では、「30 年以上(63.6%)」が最も多く約 6 割を占めている。「5 年未満(4.2%)」が最も少ない。

平成 27 年調査結果と比較すると、「5～10 年」は 0.8%、「10～20 年」は 1.2%、「30 年以上」は 3.6%の増加、その他はいずれもわずかながら減少している。

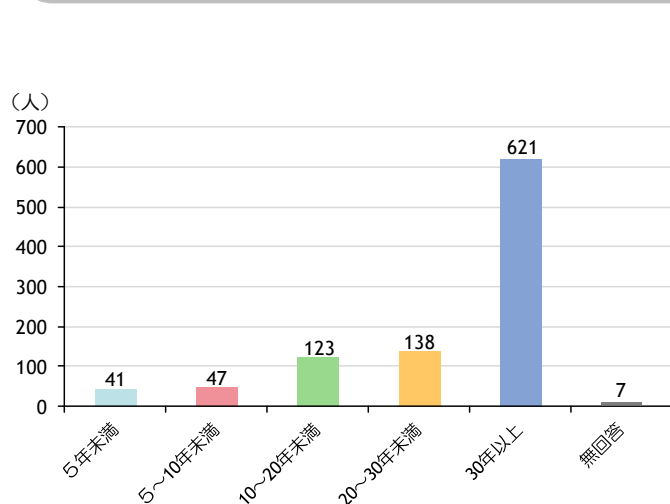


図 2-5-1 居住年数別回答数

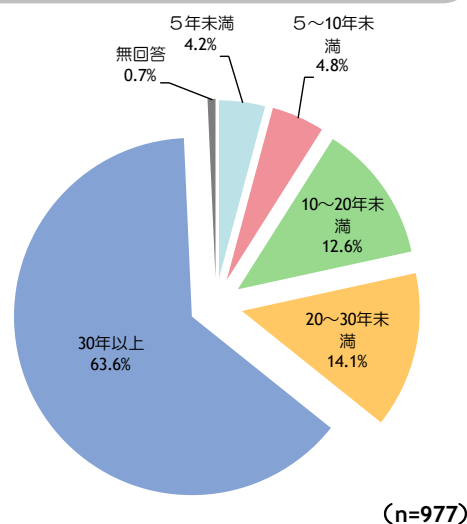


図 2-5-2 居住年数別回答割合

【居住区域でみる居住年数】

どの小学校区も居住年数「30 年以上」が最も多く 5 割以上を占めている。居住年数 30 年未満については、居住年数と回答率は一概に比例しておらず、居住区域でばらつきがある。

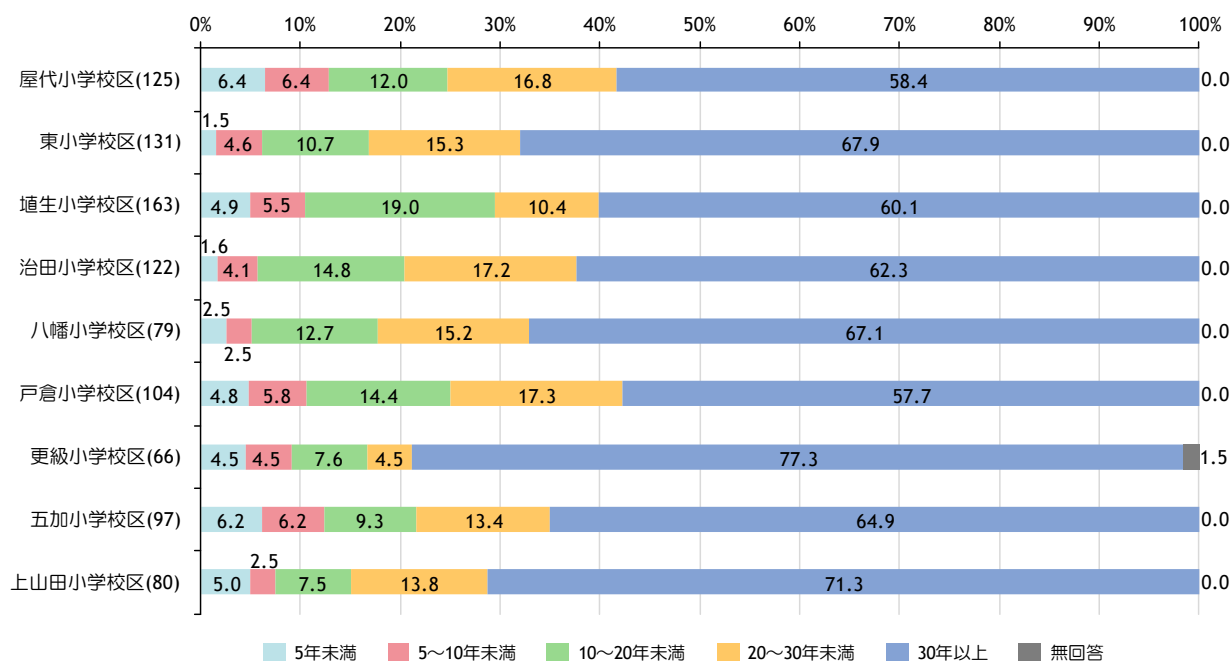


図 2-5-3 居住区域別居住年数の回答割合

(6) 住みやすさについて

住みやすさについては、「住みやすい(24.4%)」と「まあまあ住みやすい(60.8%)」の2つを合わせた「住みやすい(85.2%)」が8割を超えている。「あまり住みやすくない(8.1%)」と「住みにくい(2.6%)」の2つを合わせた「住みにくい(10.7%)」は約1割である。

平成27年調査結果と比較すると、住みやすいが+4.1%、まあまあ住みやすいが-1.6%、あまり住みやすくないが-1.3%、住みにくいが+0.2%となっている。

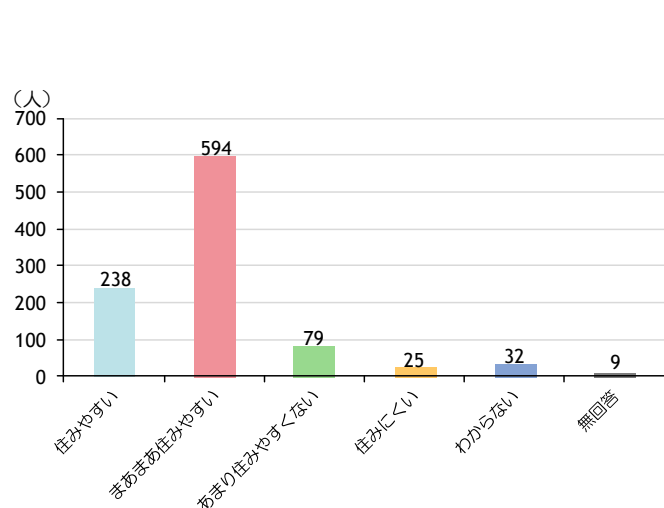


図 2-6-1 「住みやすさ」についての回答数

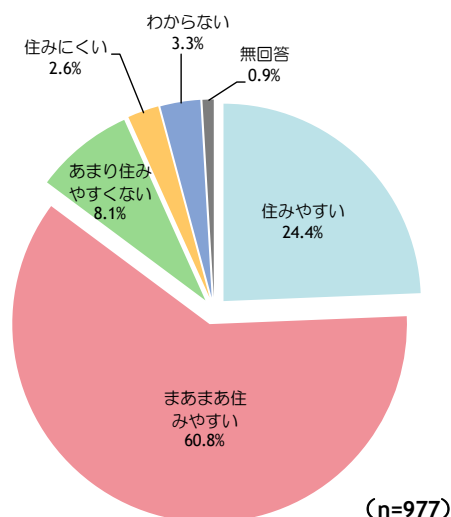


図 2-6-2 「住みやすさ」についての回答割合

【居住年数別の住みやすさについて】

各居住年数とも「住みやすい」と「まあまあ住みやすい」の2つを合わせた「住みやすい」がほとんどで7割以上であった。

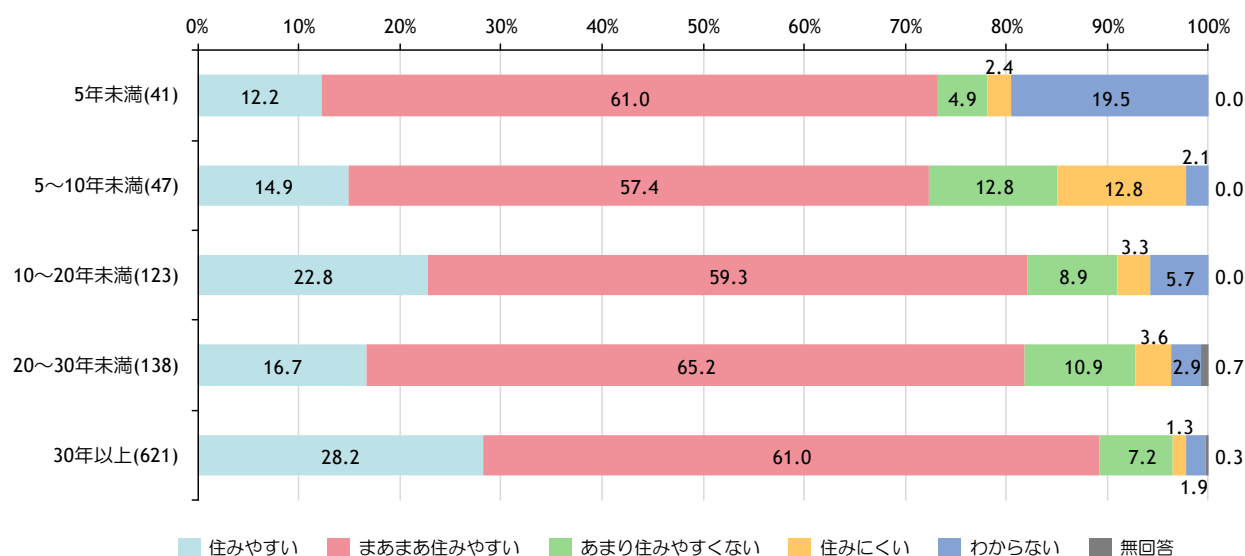


図 2-6-3 居住年数別「住みやすさ」についての回答割合

【居住地域別の住みやすさについて】

「住みやすい」と「まあまあ住みやすい」の2つを合わせた“住みやすい”がほとんどの居住地域で8割以上であったが、「戸倉小学校区(76.9%)」「更級小学校区(78.8%)」「上山田小学校区(73.8%)」については8割未満であった。

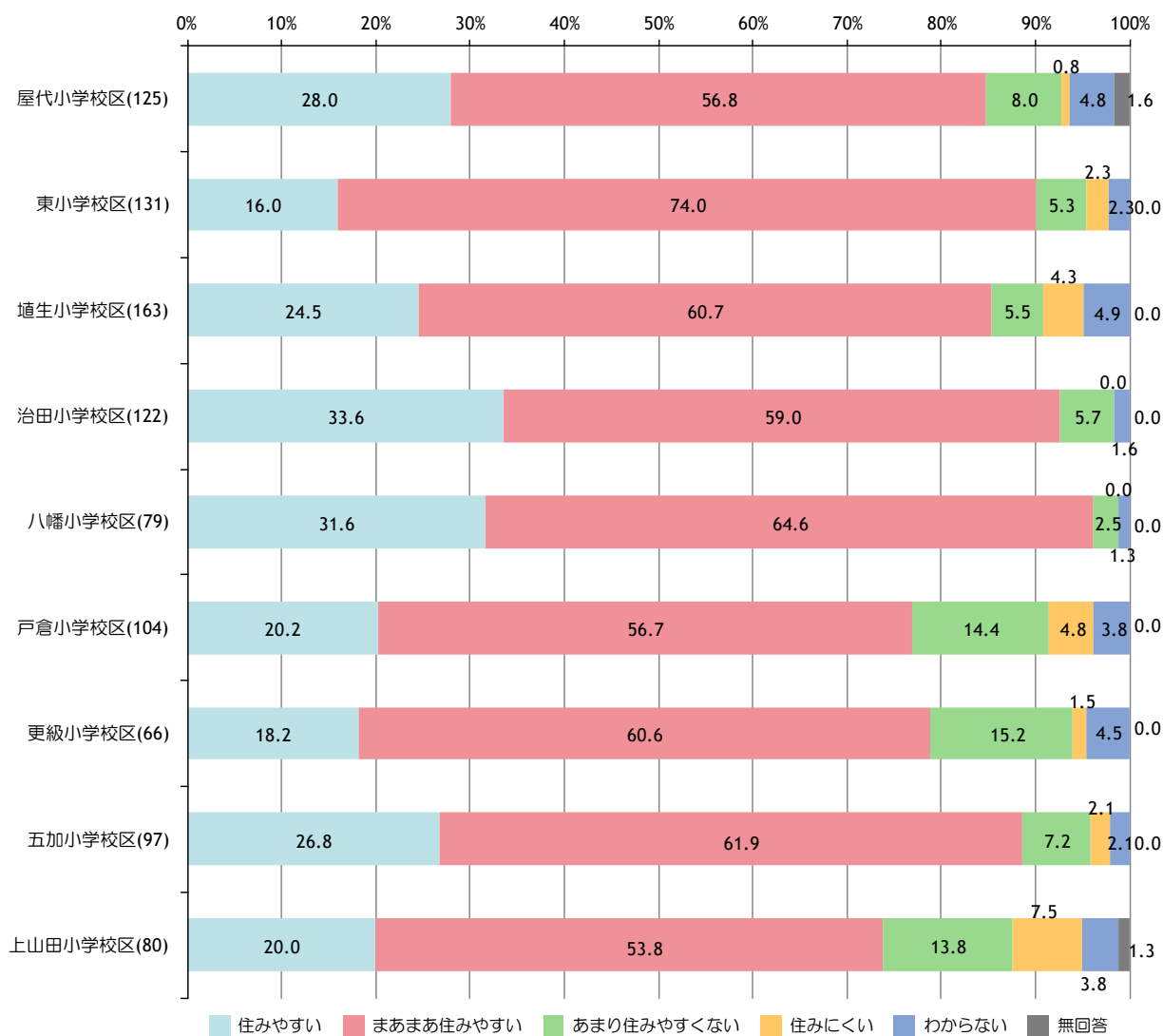


図 2-6-4 居住区域別「住みやすさ」についての回答割合

(7) 今後の居住意向

今後の居住意向は、「住み続けたい(74.0%)」が最も多く、「市外に転出する予定(1.3%)」が最も少ない。

「住み続けたい(74.0%)」と「できれば市内の他地域に転居したい(4.6%)」を合わせると、回答者の8割近くが、千曲市での居住意向を持っていることが伺える。

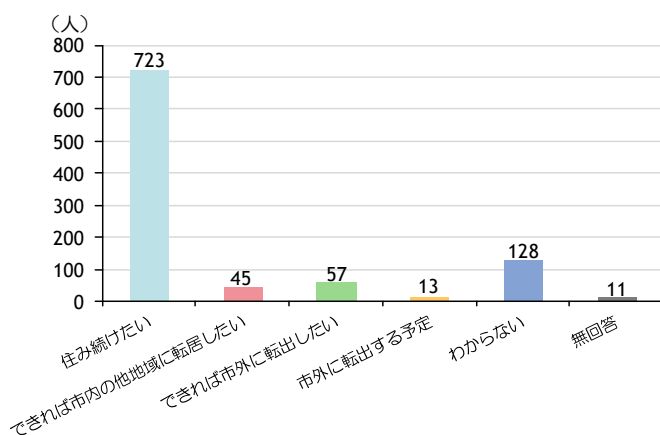
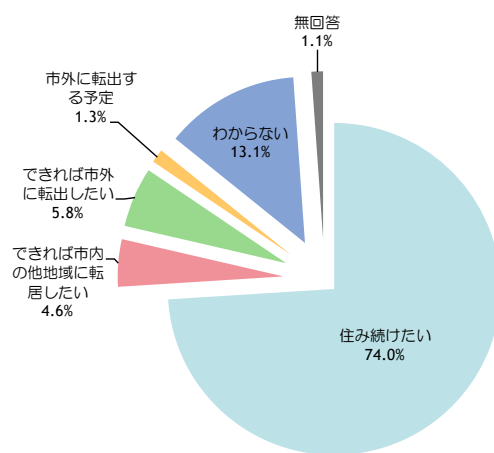


図 2-7-1 居住意向の回答数



(n=977)

図 2-7-2 居住意向の回答割合

【居住年数別の居住意向】

各居住年数とも「住み続けたい」の割合が最も高い。

しかし、居住年数が少なくなるにつれて、「住み続けたい」の割合が低下している。

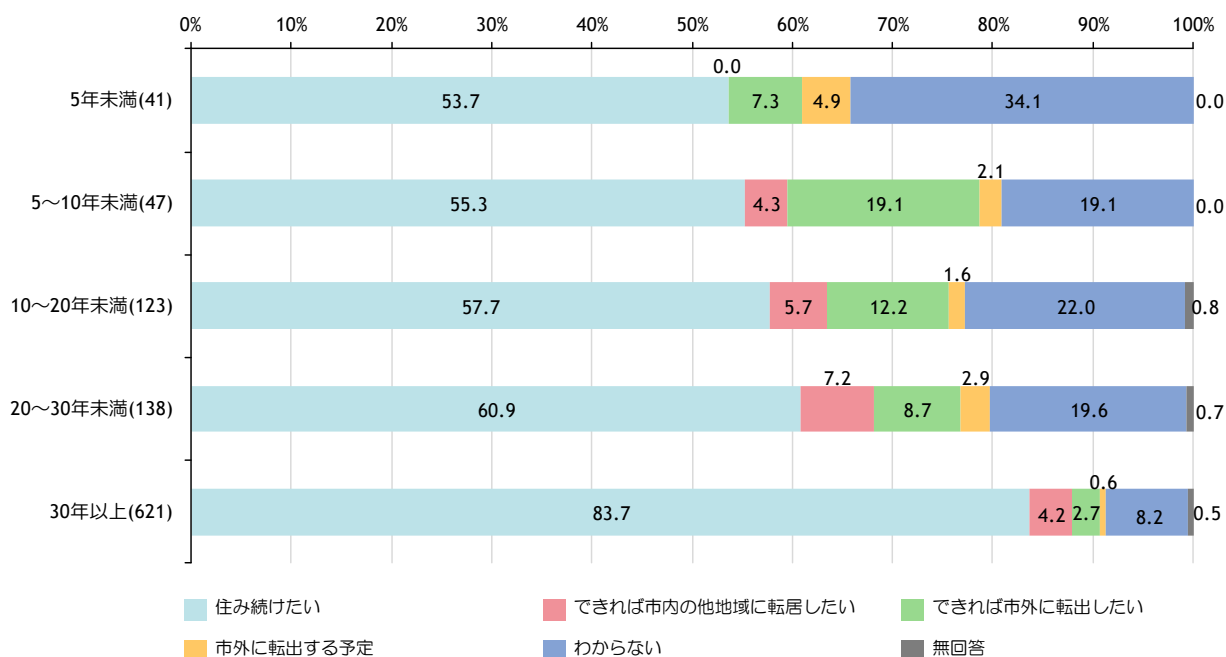


図 2-7-3 居住年数別居住意向の回答割合

【居住地域別の居住意向】

各居住地域とも「住み続けたい」の割合が最も高い。「住み続けたい」と「できれば市内の他地域に転居したい」を合わせると、回答者の7割以上が千曲市での居住意向を持っていることが伺える。

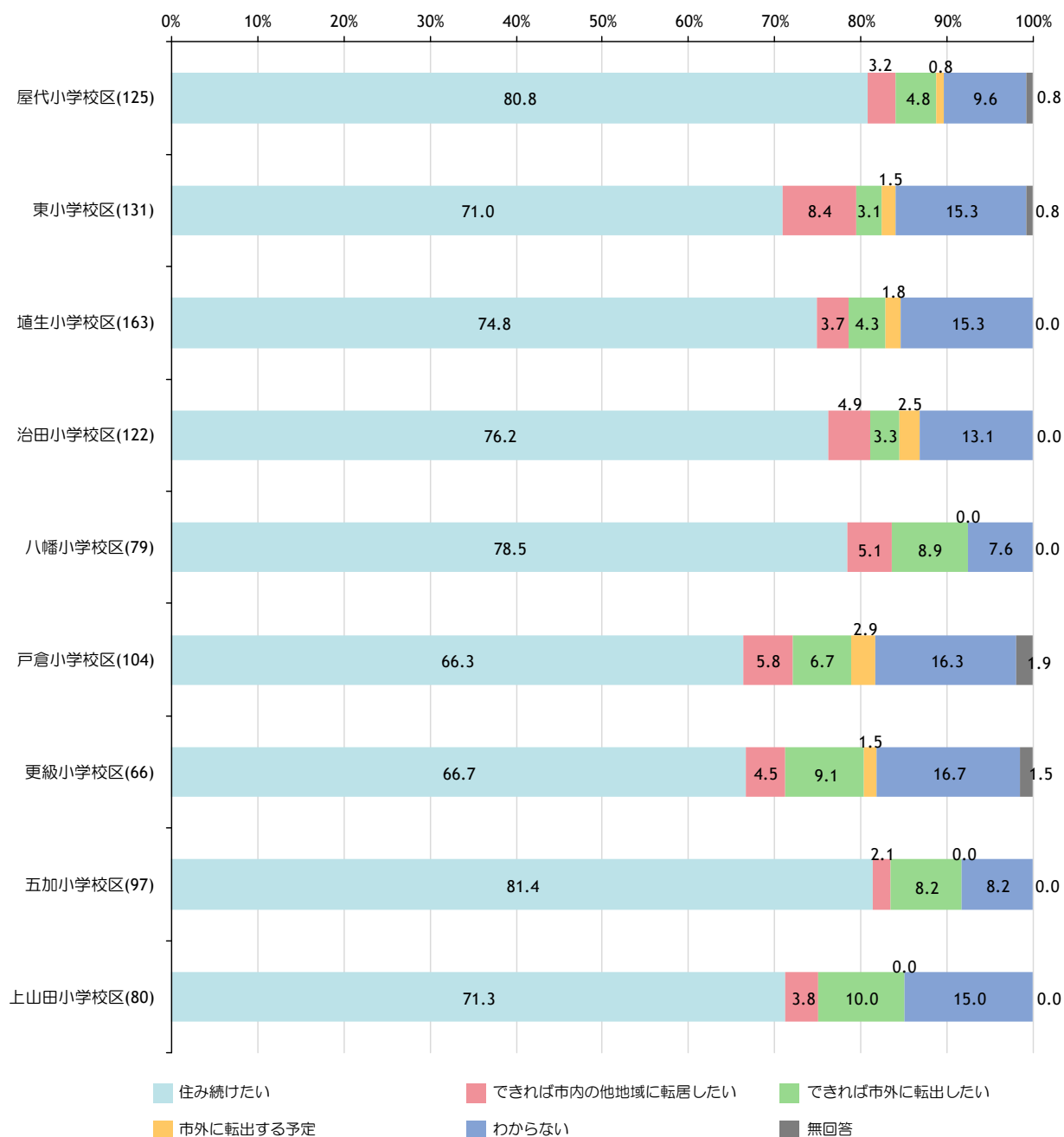


図 2-7-4 居住区域別居住意向の回答割合

3. 調査の結果

(1) 市政への関心

「ある程度関心がある(53.2%)」「あまり関心がない(23.2%)」「大変関心がある(10.2%)」の順となった。

「ある程度関心がある(53.2%)」「大変関心がある(10.2%)」の2つを合わせた“関心がある”は63.4%となり、回答者の6割以上が市政への関心があるという結果になった。

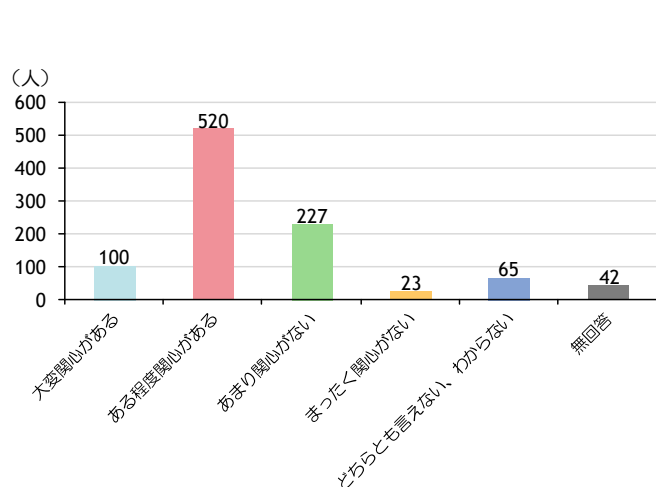


図 3-1-1 市政への関心の回答数

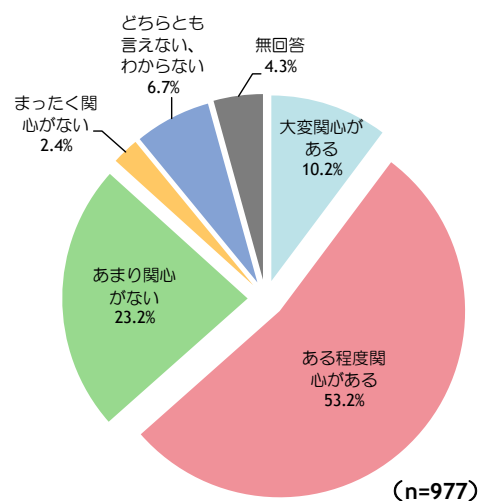


図 3-1-2 市政への関心の回答割合

【年齢別の市政への関心】

若い年代ほど市政への関心が低下している。

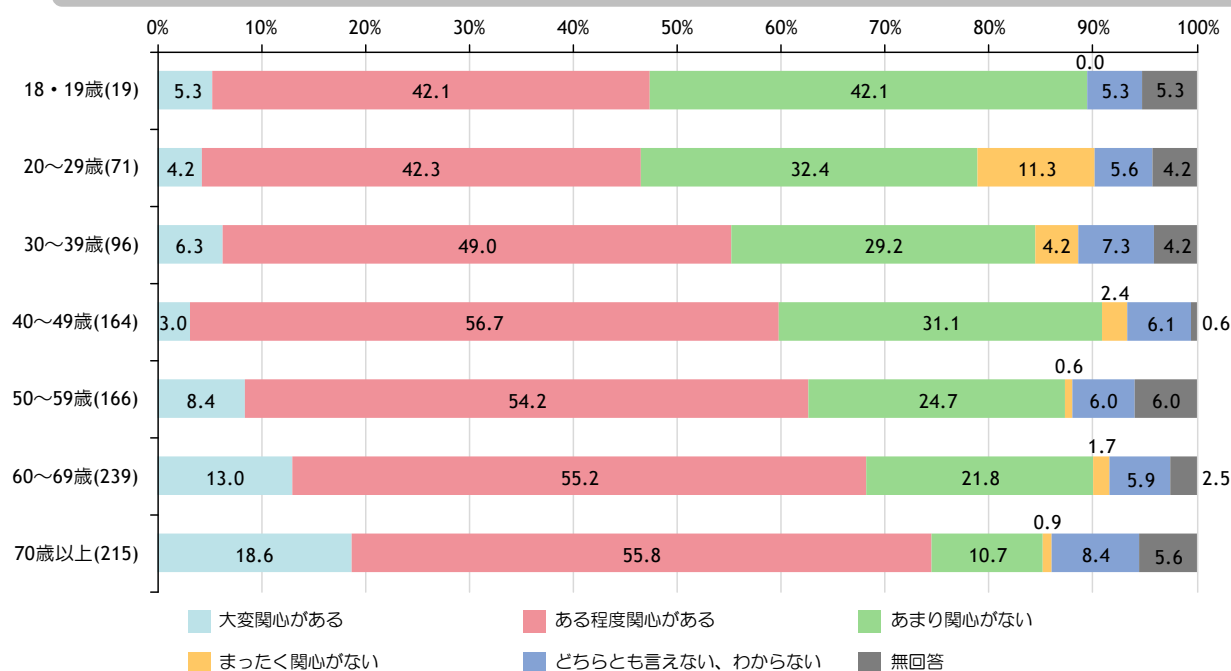


図 3-1-3 年齢別市政への関心の回答割合

(2) 市政への満足度と重要度

問 2-2 以下の項目は、総合計画に掲げた 32 の達成方針とその目標が達成された状態を示しています。

それぞれの項目について、「千曲市にとって重要か」、「目標が達成された状態と比較して現状は満足しているか」、あなたのお考えに 1 つ〇をつけてください。

< 市政にとっての重要度 >

「重要である」の割合が高いのは、「上下水道(71.2%)」であり、7 割を超えている。次いで、「保健・医療(66.3%)」「安全・安心(63.9%)」「ごみ処理(60.2%)」の順となっていて、6 割を超えている。また、「教育(56.9%)」「子育て(56.6%)」「移住・定住(54.4%)」「健康づくり(53.4%)」「生活支援(51.8%)」「障害者福祉(50.9%)」「広域行政(50.9%)」が、5 割を超えている。

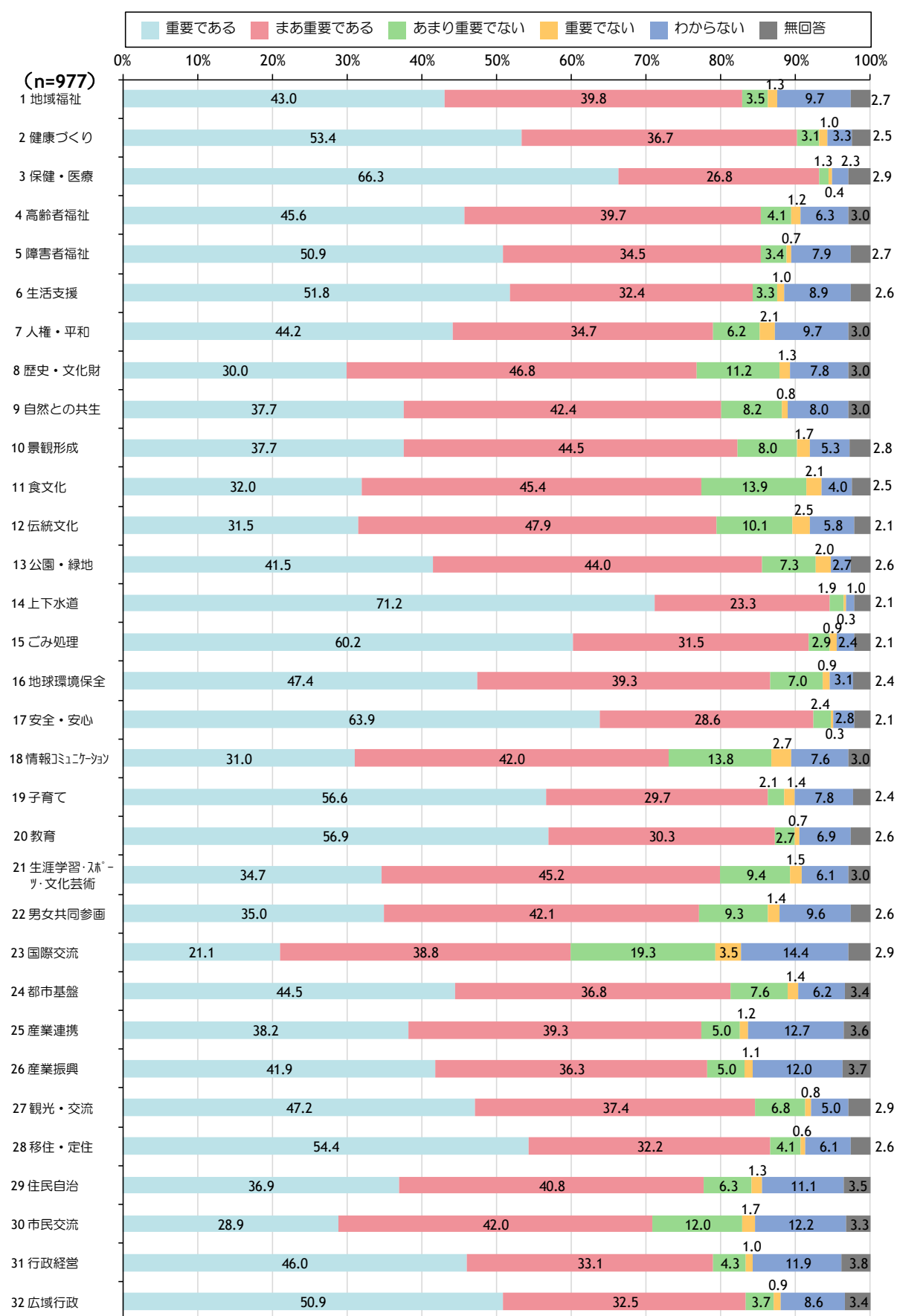
一方、重要度が低い項目では、「国際交流(21.1%)」が最も低く、次いで「市民交流(28.9%)」「歴史・文化財(30.0%)」の順となっている。

< 市政への重要度の意識変化 >

「重要である」と「まあ重要である」の 2 つを合わせた“重要”の割合が、平成 27 年調査結果と比較して大きく増加しているのは、「子育て(+4.9%)」「産業連携(+4.3%)」「教育(+4.0%)」などとなっている。

一方、割合が減少しているのは、「地域福祉(-1.3%)」「健康づくり(-0.6%)」「都市基盤(-0.6%)」「自然との共生(-0.6%)」などとなっている。

< 市政にとっての重要度 >



<重要度の平均スコア>

32 項目の市政にとっての重要度について、「重要である」に+10 点、「まあ重要である」に+5 点、「あまり重要でない」に-5 点、「重要でない」に-10 点の点数を与え、平均スコアを求めた。これによると平均スコアの最大は+10 点、最小は-10 点であり点数が大きいほど重要度が高くなる。

平均スコアが最も高い項目は、「上下水道(8.34)」である。次いで「保健・医療(8.10)」「安全・安心(7.83)」「ごみ処理(7.52)」「教育(7.18)」の順となっている。

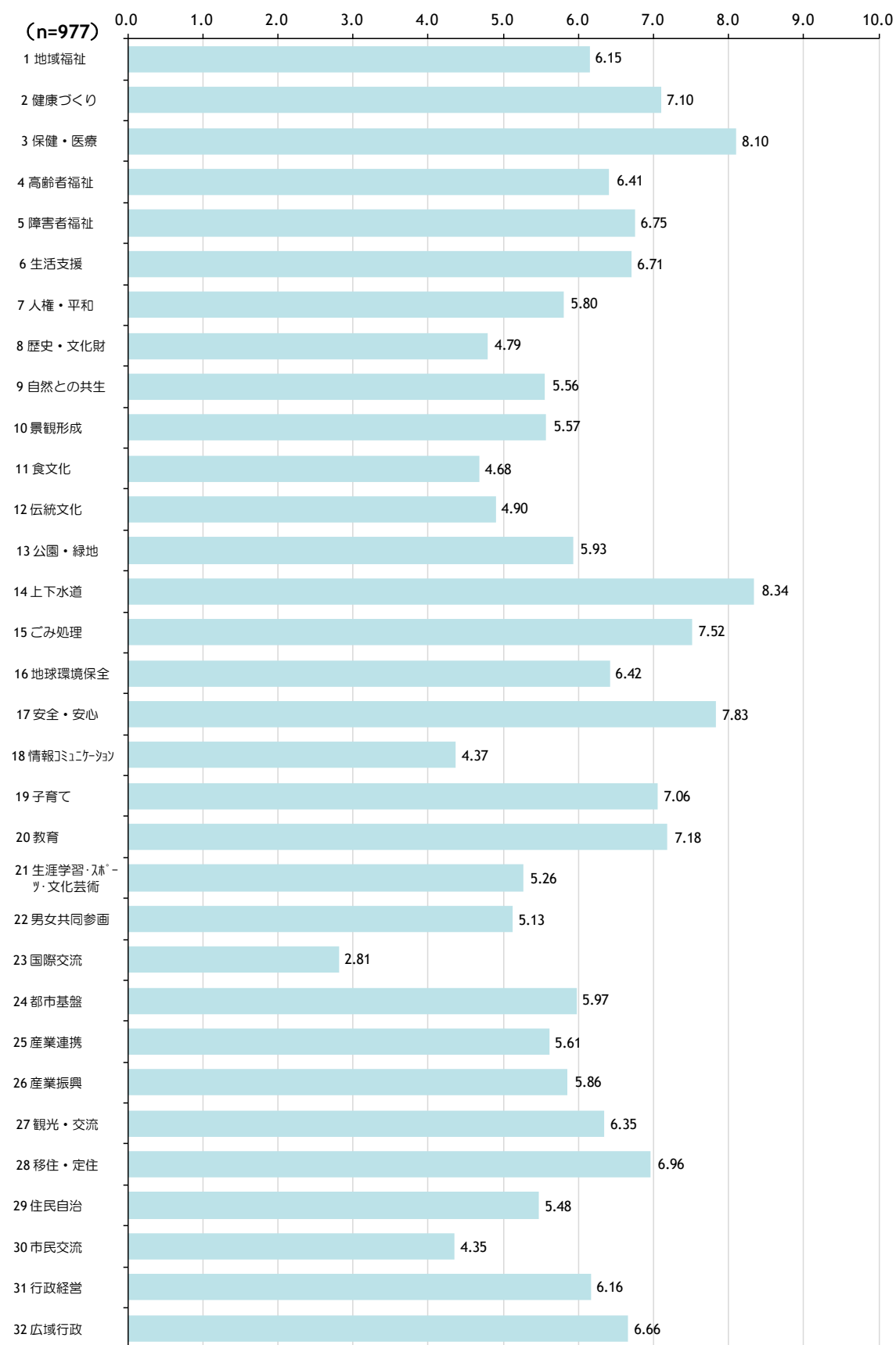
平均スコアが最も低い項目は、「国際交流(2.81)」である。次いで「市民交流(4.35)」「情報コミュニケーション(4.37)」「食文化(4.68)」の順となっている。

32 項目全体の平均スコアは 6.06 であった。(前年度の平均スコアは、5.85)

また、平成 27 年調査結果とのランキング比較(15 頁参照)では、上位 4 項目の順位に変動がなかった。

ランキングが上昇した項目は、「教育(7 位から 5 位)」「子育て(8 位から 7 位)」「高齢者福祉(15 位から 13 位)」「行政経営(17 位から 15 位)」「産業連携(24 位から 21 位)」「景観形成(23 位から 22 位)」「男女共同参画(27 位から 26 位)」「歴史・文化財(29 位から 28 位)」「情報コミュニケーション(31 位から 30 位)」であった。

<重要度の平均スコア>



<重要度の平均スコアランキング>

ランク			項 目	ポイント数		
H28 (今回)	順位 変動	H27 (前回)		H28 (今回)	H27 (前回)	差
1	→	1	14 上下水道	8.34 P	8.31 P	0.03
2	→	2	3 保健・医療	8.10 P	7.97 P	0.12
3	→	3	17 安全・安心	7.83 P	7.80 P	0.03
4	→	4	15 ごみ処理	7.52 P	7.48 P	0.04
5	↑	7	20 教育	7.18 P	6.93 P	0.25
6	↓	5	2 健康づくり	7.10 P	7.19 P	△ 0.09
7	↑	8	19 子育て	7.06 P	6.73 P	0.33
8	↓	6	28 移住・定住	6.96 P	7.05 P	△ 0.10
9	→	9	5 障害者福祉	6.75 P	6.65 P	0.10
10	→	10	6 生活支援	6.71 P	6.49 P	0.22
11	→	11	32 広域行政	6.66 P	6.49 P	0.18
12	→	12	16 地球環境保全	6.42 P	6.32 P	0.09
13	↑	15	4 高齢者福祉	6.41 P	5.91 P	0.50
14	→	14	27 観光・交流	6.35 P	6.14 P	0.21
15	↑	17	31 行政経営	6.16 P	5.89 P	0.27
16	↓	13	1 地域福祉	6.15 P	6.31 P	△ 0.16
17	↓	16	24 都市基盤	5.97 P	5.90 P	0.08
18	→	18	13 公園・緑地	5.93 P	5.75 P	0.18
19	→	19	26 産業振興	5.86 P	5.60 P	0.25
20	→	20	7 人権・平和	5.80 P	5.52 P	0.28
21	↑	24	25 産業連携	5.61 P	5.15 P	0.46
22	↑	23	10 景観形成	5.57 P	5.22 P	0.36
23	↓	22	9 自然との共生	5.56 P	5.27 P	0.29
24	↓	21	29 住民自治	5.48 P	5.32 P	0.16
25	→	25	21 生涯学習・スポーツ・文化芸術	5.26 P	4.87 P	0.39
26	↑	27	22 男女共同参画	5.13 P	4.81 P	0.31
27	↓	26	12 伝統文化	4.90 P	4.85 P	0.05
28	↑	29	8 歴史・文化財	4.79 P	4.30 P	0.49
29	↓	28	11 食文化	4.68 P	4.42 P	0.26
30	↑	31	18 情報コミュニケーション	4.37 P	3.88 P	0.49
31	↓	30	30 市民交流	4.35 P	4.20 P	0.16
32	→	32	23 国際交流	2.81 P	2.45 P	0.36

< 市政への満足度 >

「満足している」と「まあ満足している」の2つを合わせた“満足”の割合が最も高い項目は、「上下水道(69.9%)」である。次いで「地球環境保全(61.6%)」「健康づくり(60.0%)」「安心・安全(55.5%)」「食文化(55.3%)」の順となっている。

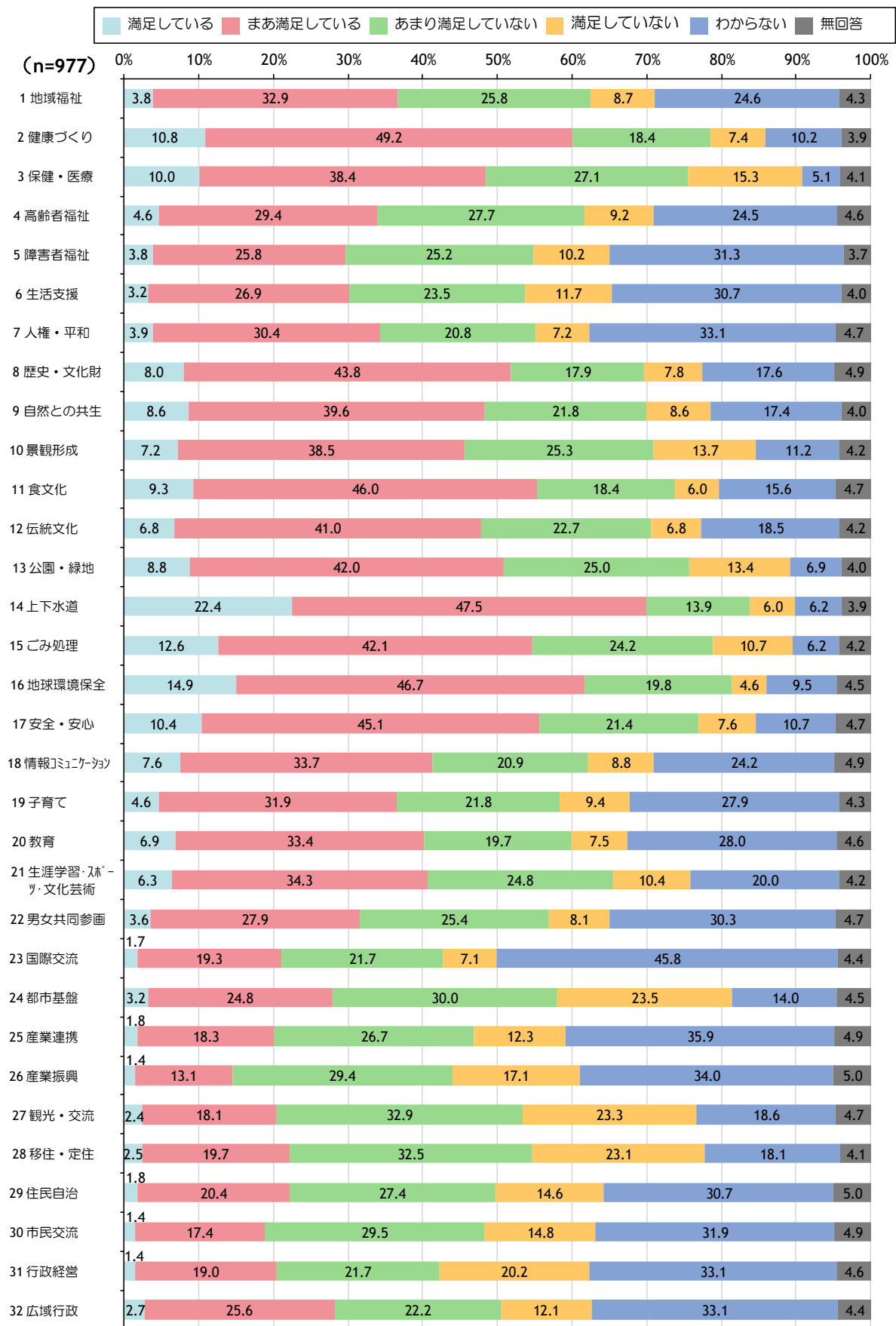
「あまり満足していない」と「満足していない」の2つを合わせた“不満”の割合が最も高い項目は、「観光・交流(56.2%)」である。次いで「移住・定住(55.7%)」「都市基盤(53.5%)」の順となっている。

< 市政への満足度の意識変化 >

“満足”の割合が平成27年調査結果と比較して増加している項目は、「伝統文化(+9.9%)」「子育て(+6.9%)」となっている。

一方、“不満”の割合が増加しているのは、「生涯学習・スポーツ・文化芸術(+2.0%)」「健康づくり(+0.4%)」となっている。

< 市政への満足度 >



<満足度の平均スコア>

重要度と同様に、市政への満足度についても、32項目ごとに「満足している」に+10点、「まあ満足している」に+5点、「あまり満足していない」に-5点、「満足していない」に-10点の点数を与え、平均スコアを求めた。

平均スコアが最も高い項目は、「上下水道(3.45)」である。次いで「地球環境保全(2.49)」「健康づくり(1.96)」「食文化(1.79)」「安全・安心(1.55)」「歴史・文化財(1.38)」の順となっている。

平均スコアが最も低い項目は、「観光・交流(-2.98)」である。次いで「移住・定住(-2.83)」「産業振興(-2.51)」「都市基盤(-2.41)」「行政経営(-2.10)」「市民交流(-2.05)」の順となっている。

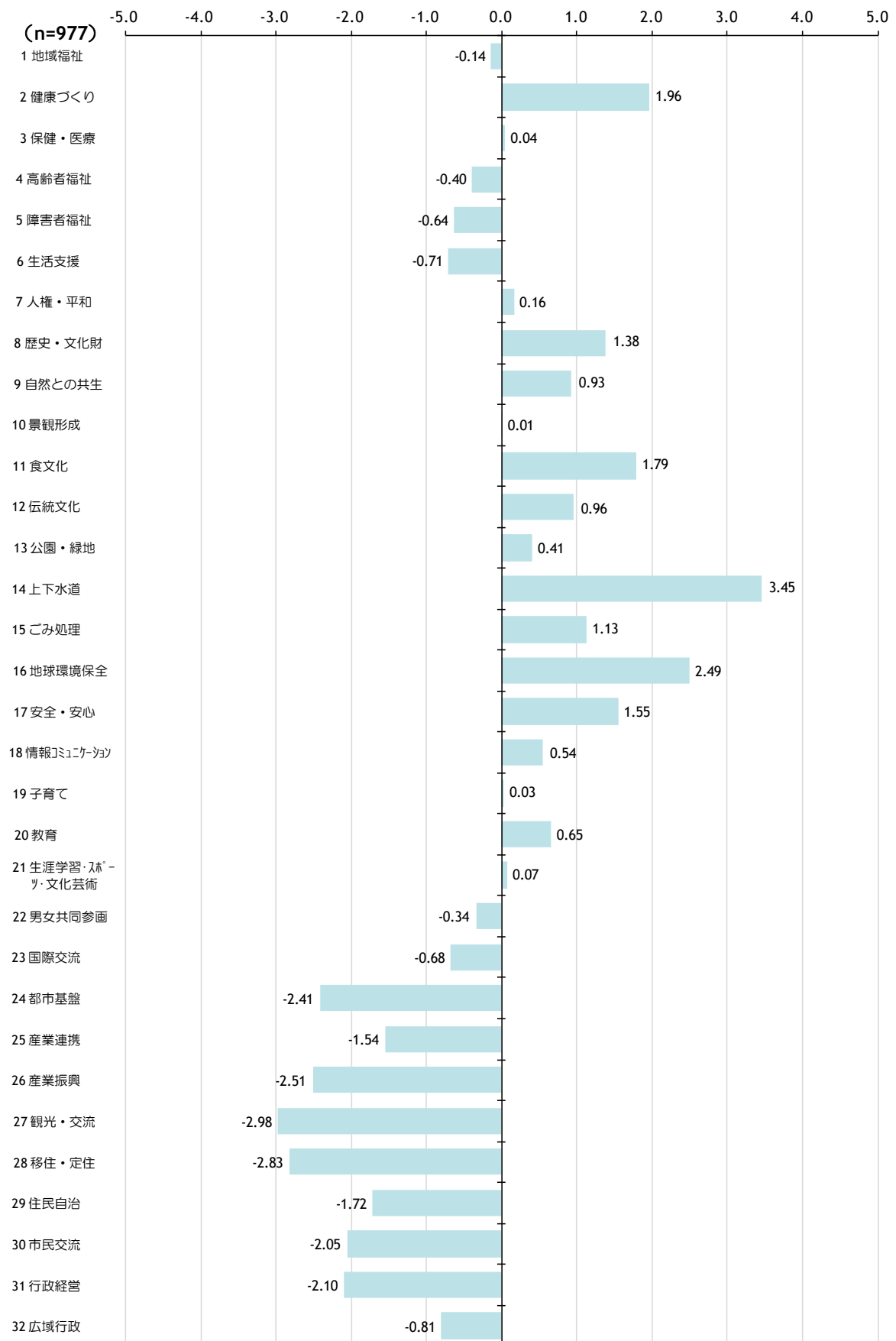
32項目全体の平均スコアは-0.13であった。(前年度の平均スコアは、-0.55)

また、平成27年調査結果とのランキング比較(20頁参照)では、上位7項目に順位の変動がなかった。

下位については、細かな項目の入れ替わりがあったものの大きな変動はみられなかった。

ランキングが大幅に上昇した項目は、「伝統文化(12位から8位)」「保健・医療(19位から15位)」などで、ランキングが大幅に下降したのは、「生涯学習・スポーツ・文化芸術(9位から14位)」「地域福祉(15位から18位)」などである。

<満足度の平均スコア>



<満足度の平均スコアランキング>

ランク			項 目	ポイント数		
H28 (今回)	順位 変動	H27 (前回)		H28 (今回)	H27 (前回)	差
1	→	1	14 上下水道	3.45 P	2.98 P	0.47
2	→	2	16 地球環境保全	2.49 P	1.92 P	0.58
3	→	3	2 健康づくり	1.96 P	1.86 P	0.10
4	→	4	11 食文化	1.79 P	1.41 P	0.38
5	→	5	17 安全・安心	1.55 P	1.18 P	0.36
6	→	6	8 歴史・文化財	1.38 P	1.12 P	0.26
7	→	7	15 ごみ処理	1.13 P	0.63 P	0.50
8	↑	12	12 伝統文化	0.96 P	-0.02 P	0.98
9	↓	8	9 自然との共生	0.93 P	0.58 P	0.35
10	→	10	20 教育	0.65 P	0.08 P	0.57
11	→	11	18 情報コミュニケーション	0.54 P	-0.01 P	0.55
12	↑	13	13 公園・緑地	0.41 P	-0.07 P	0.48
13	↑	14	7 人権・平和	0.16 P	-0.24 P	0.40
14	↓	9	21 生涯学習・スポーツ・文化芸術	0.07 P	0.09 P	△ 0.02
15	↑	19	3 保健・医療	0.04 P	-0.74 P	0.78
16	→	16	19 子育て	0.03 P	-0.41 P	0.44
17	→	17	10 景観形成	0.01 P	-0.47 P	0.47
18	↓	15	1 地域福祉	-0.14 P	-0.29 P	0.15
19	↓	18	22 男女共同参画	-0.34 P	-0.60 P	0.26
20	↑	22	4 高齢者福祉	-0.40 P	-1.04 P	0.65
21	→	21	5 障害者福祉	-0.64 P	-0.97 P	0.34
22	↓	20	23 国際交流	-0.68 P	-0.90 P	0.22
23	→	23	6 生活支援	-0.71 P	-1.21 P	0.50
24	→	24	32 広域行政	-0.81 P	-1.33 P	0.52
25	→	25	25 産業連携	-1.54 P	-2.00 P	0.46
26	→	26	29 住民自治	-1.72 P	-2.37 P	0.65
27	↑	28	30 市民交流	-2.05 P	-2.57 P	0.52
28	↓	27	31 行政経営	-2.10 P	-2.51 P	0.40
29	→	29	24 都市基盤	-2.41 P	-2.69 P	0.29
30	→	30	26 産業振興	-2.51 P	-2.72 P	0.21
31	↑	32	28 移住・定住	-2.83 P	-3.39 P	0.56
32	↓	31	27 観光・交流	-2.98 P	-3.01 P	0.03

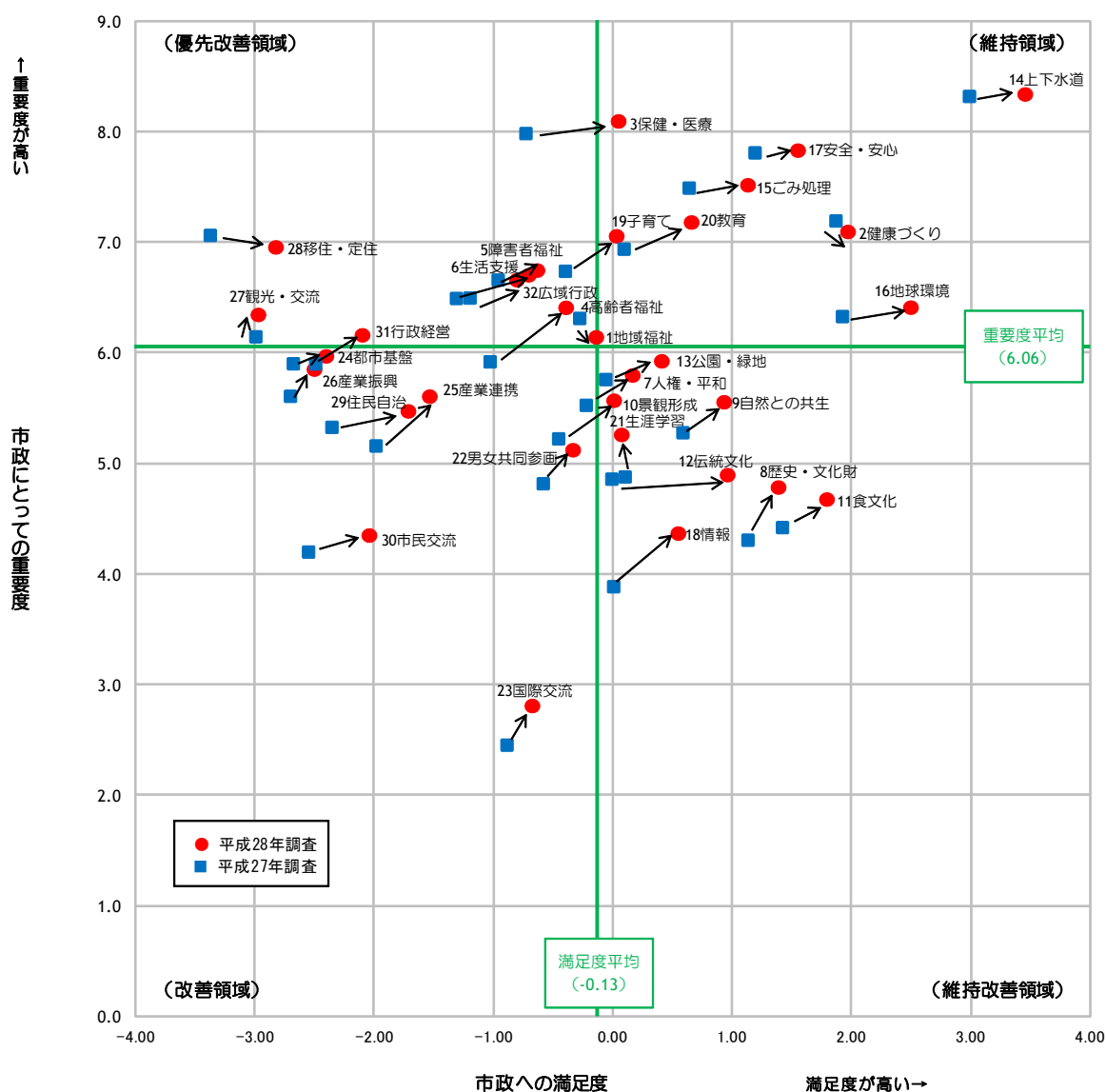
<重要度と満足度の相関>

32項目について、市政にとっての重要度の平均スコアと市政への満足度の平均スコアの相関を示した。

この図では、より左上にある項目ほど「満足度が低く、かつ重要度が高い」ことになり、今後の市政の重点課題と考えられる。

満足度が低く重要度が高い項目は「移住・定住」「観光・交流」「広域行政」「障害者福祉」などがあげられる。

また、「満足度が高く、重要度も高い項目」は、「上下水道」「地球環境」「健康づくり」「安全・安心」「ごみ処理」「教育」などがあげられる。



(3) 市政への要望

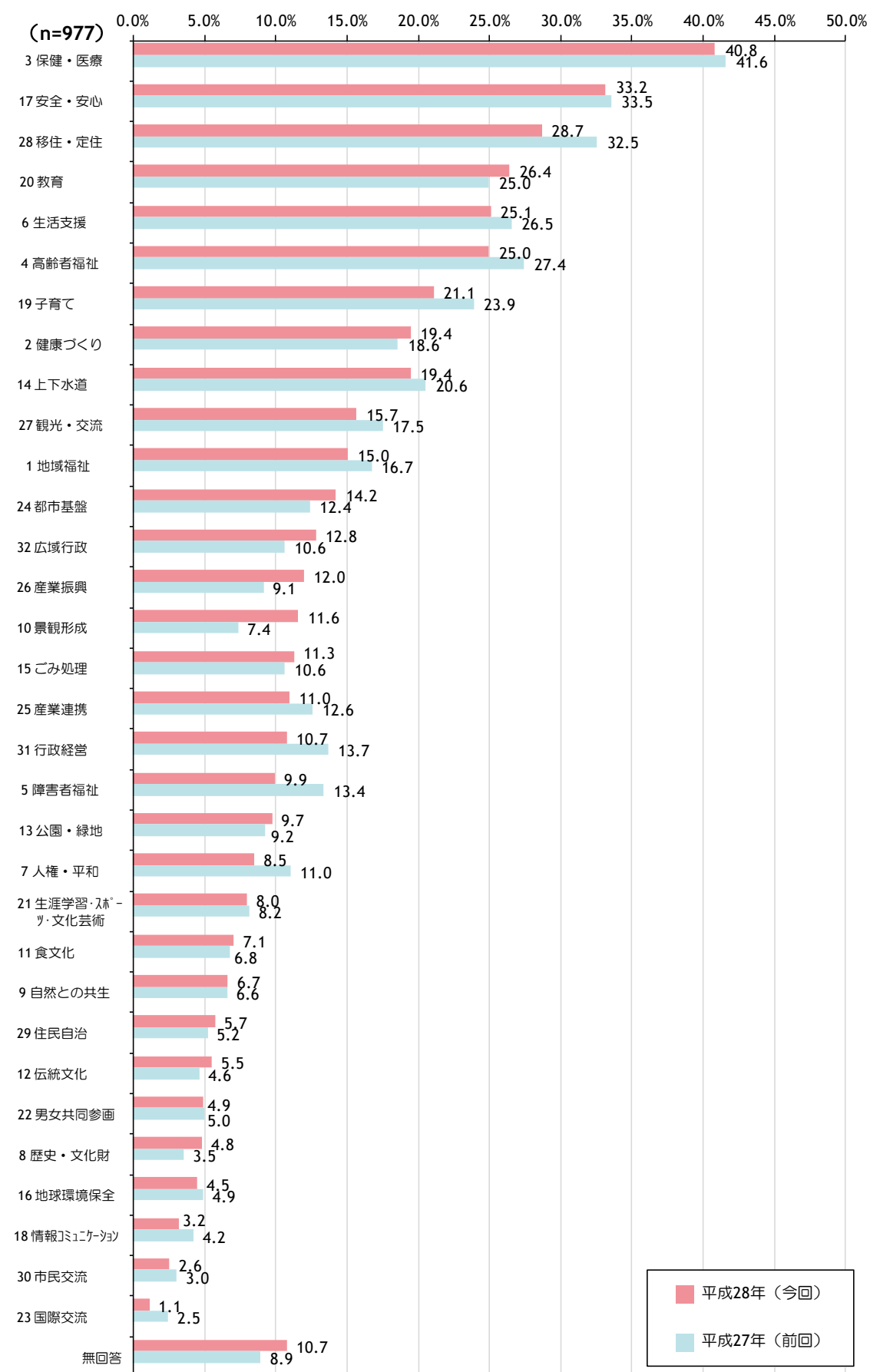
問 2-3 今後、千曲市がより暮らしやすい地域になるためには、問 2-2 に示した「総合計画に掲げた 32 の達成方針」のうち、どの項目が重要とお考えですか。1 から 32 までの項目の中から、特に重要と考える項目を 5 つ選び、下の枠の中に番号を記入してください。

特に重要だと思う施策については、昨年と同様に「保健・医療(40.8%)」が最も多かった。次いで「安全・安心(33.2%)」「移住・定住(28.7%)」「教育(26.4%)」「生活支援(25.1%)」「高齢者福祉(25.0%)」の順になっている。

平成 27 年調査との比較において、増加しているのは「景観形成(+4.2%)」「産業振興(+2.8%)」「広域行政(+2.2%)」「都市基盤(+1.8%)」などである。

一方、減少しているのは「移住・定住(-3.9%)」「障害者福祉(-3.4%)」「行政経営(-2.9%)」などである。

< 市政への要望 >



【性別・年齢別の市政への要望】

性別では、1位、2位が同じ項目(保健・医療、安全・安心)となっている。

年齢別では、「保健・医療」が18・19歳を除く全ての年齢層で1位となっている。また、60代を除く全ての年齢層で「生活支援」が上位に入っており、また18・19歳を除くすべての年齢層で「安心・安全」の割合が共通して高くなっている。

	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位		
全 体 (n=977)	保健・医療 (40.8%)	安全・安心 (33.2%)	移住・定住 (28.7%)	教 育 (26.4%)	生 活 支 援 (25.1%)		
男 性 (n=458)	保健・医療 (42.1%)	安全・安心 (36.7%)	移住・定住 (32.1%)	生 活 支 援 (26.6%)	高 齢 者 福 祉 (25.8%)	教 育 (25.8%)	
女 性 (n=510)	保健・医療 (40.4%)	安全・安心 (30.6%)	教 育 (27.3%)	移住・定住 (26.1%)	高 齢 者 福 祉 (24.7%)		
18・19歳 (n=19)	移住・定住 (42.1%)	生 活 支 援 (36.8%)	都 市 基 盤 (36.8%)	保健・医療 (31.6%)	上 下 水 道 (31.6%)		
20 代 (n=71)	保健・医療 (45.1%)	移住・定住 (38.0%)	安全・安心 (33.8%)	生 活 支 援 (32.4%)	教 育 (31.0%)		
30 代 (n=96)	保健・医療 (45.8%)	教 育 (33.3%)	子 育 て (27.1%)	移住・定住 (25.0%)	生 活 支 援 (24.0%)	安全・安心 (24.0%)	
40 代 (n=164)	保健・医療 (41.5%)	移住・定住 (36.6%)	安全・安心 (32.9%)	教 育 (30.5%)	生 活 支 援 (26.2%)		
50 代 (n=166)	保健・医療 (45.2%)	安全・安心 (38.6%)	高 齢 者 福 祉 (29.5%)	生 活 支 援 (28.3%)	教 育 (22.3%)		
60 代 (n=139)	保健・医療 (72.7%)	安全・安心 (61.9%)	高 齢 者 福 祉 (52.5%)	移住・定住 (46.8%)	教 育 (43.9%)		
70歳以上 (n=215)	保健・医療 (32.6%)	安全・安心 (29.3%)	移住・定住 (26.0%)	高 齢 者 福 祉 (24.2%)	生 活 支 援 (22.3%)		

(4) 市政に対する不満

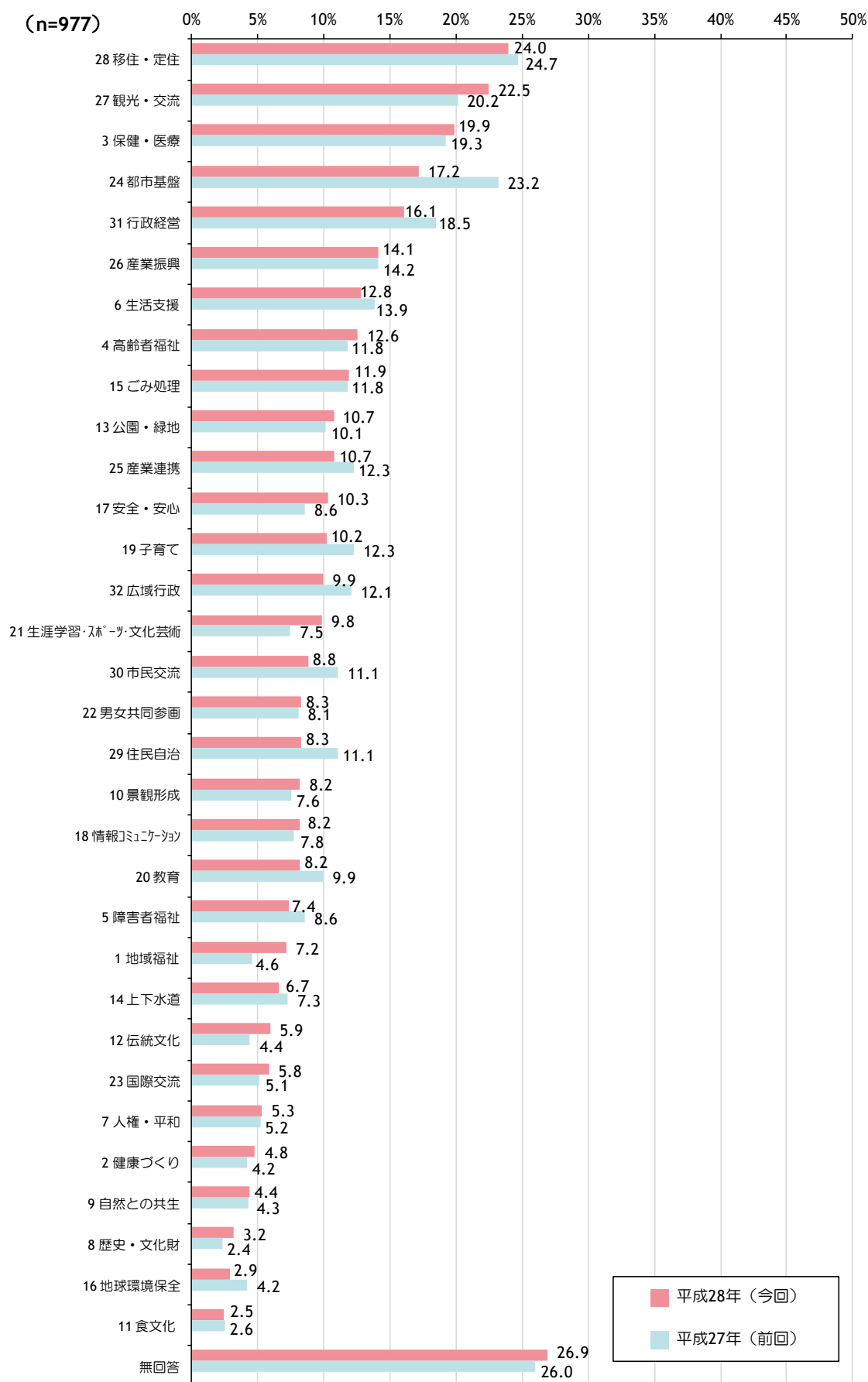
問 2-4 現状で、特に不満を感じている項目を問 2-3 同様 5 つ選び、下の枠の中に番号を記入してください。

特に不満を感じている施策については、「移住・定住(24.0%)」が最も多く、次いで「観光・交流(22.5%)」「保健・医療(19.9%)」「都市基盤(17.2%)」「行政経営(16.1%)」の順となっている。

平成 27 年調査結果と比較すると、大幅に増加しているのは「地域福祉(+2.5%)」「観光・交流(+2.4%)」「生涯学習・スポーツ・文化芸術(+2.4%)」「安全・安心(+1.8%)」「伝統文化(+1.5%)」などである。

一方、大幅に減少しているのは「都市基盤(-6.0%)」「住民自治(-2.8%)」「行政経営(-2.4%)」などである。

< 市政に対する不満 >



【性別・年齢別の市政への不満】

性別では、1位から5位まで順位は異なっているが同じ項目(移住・定住、観光・交流、保健・医療、都市基盤、行政経営)となっている。

年齢別では、「移住・定住」が70歳以上を除く全ての年齢層で3位以内となっており、「観光・交流」の項目については、年齢層でばらつきはあるものの、4位以内となっている。その他、昨年度にはなかった項目が多くみられる。

	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位		
全 体 (n=977)	移住・定住 (24.0%)	観光・交流 (22.5%)	保健・医療 (19.9%)	都市基盤 (17.2%)	行政経営 (16.1%)		
男 性 (n=458)	観光・交流 (24.5%)	移住・定住 (24.0%)	保健・医療 (18.8%)	行政経営 (17.5%)	都市基盤 (16.2%)		
女 性 (n=510)	移住・定住 (24.1%)	保健・医療 (21.0%)	観光・交流 (21.0%)	都市基盤 (18.4%)	行政経営 (15.1%)		
18・19歳 (n=19)	移住・定住 (57.9%)	観光・交流 (47.4%)	都市基盤 (31.6%)	ごみ処理 (21.1%)	男女共同参画 (21.1%)	市民交流 (21.1%)	
20 代 (n=71)	移住・定住 (40.8%)	観光・交流 (26.8%)	保健・医療 (21.1%)	都市基盤 (18.3%)	行政経営 (16.9%)		
30 代 (n=96)	保健・医療 (32.3%)	移住・定住 (21.9%)	子育て (18.8%)	観光・交流 (18.8%)	情報コミュニケーション (16.7%)		
40 代 (n=164)	移住・定住 (31.1%)	保健・医療 (24.4%)	観光・交流 (24.4%)	都市基盤 (23.2%)	安全・安心 (17.7%)		
50 代 (n=166)	保健・医療 (27.1%)	観光・交流 (23.5%)	移住・定住 (22.3%)	都市基盤 (21.1%)	高齢者福祉 (20.5%)		
60 代 (n=139)	観光・交流 (43.9%)	移住・定住 (41.0%)	行政経営 (35.3%)	都市基盤 (33.8%)	保健・医療 (27.3%)		
70歳以上 (n=215)	観光・交流 (15.8%)	行政経営 (14.4%)	産業連携 (14.0%)	産業振興 (13.0%)	移住・定住 (13.0%)		

(5)「協働のまちづくり」について

問 3-1 「協働」という言葉を以前から知っていましたか。

「協働」については、「知らない(46.1%)」「言葉を聞いたことはある(30.3%)」「言葉の意味を知っている(18.4%)」となった。

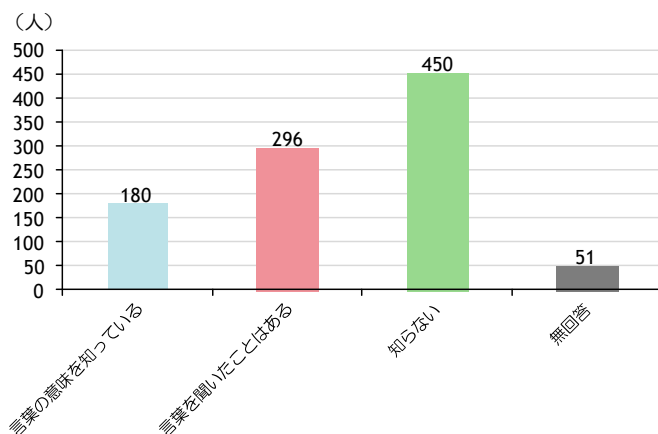


図 3-5-1 「協働」についての回答数

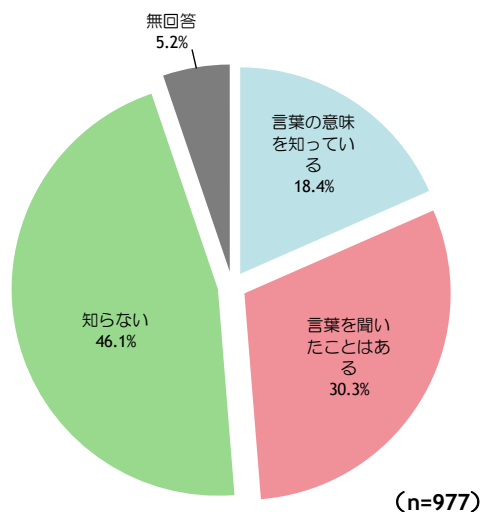


図 3-5-2 「協働」についての回答割合

【参考】

※協働とは…

地域における目標の達成や課題の解決を図るため、市民と行政が対等な立場で一緒に考え、一緒に行動すること。

【性別の「協働」について】

「協働」について「意味を知っている」と回答した男性は23.8%、女性は13.7%となり、「知らない」と回答した男性は41.9%、女性は50.4%となった。

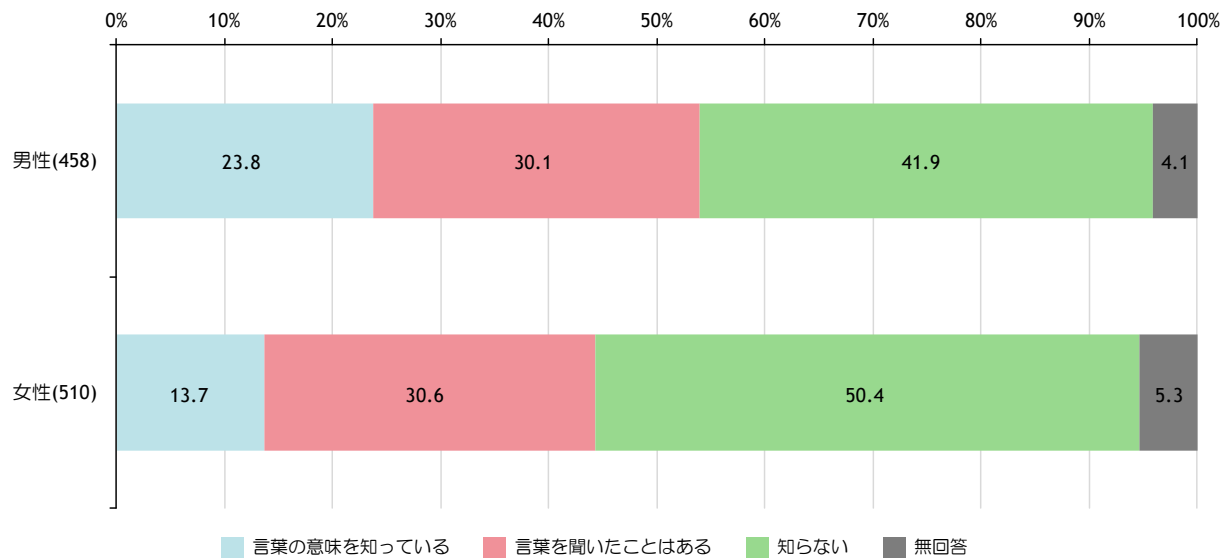


図 3-5-3 性別による「協働」についての回答割合

【年齢別の「協働」について】

50 歳以上では「言葉の意味を知っている」「言葉を聞いたことがある」の割合が半数を超えているが、その他の年齢層では「知らない」の割合が半数を超えている。

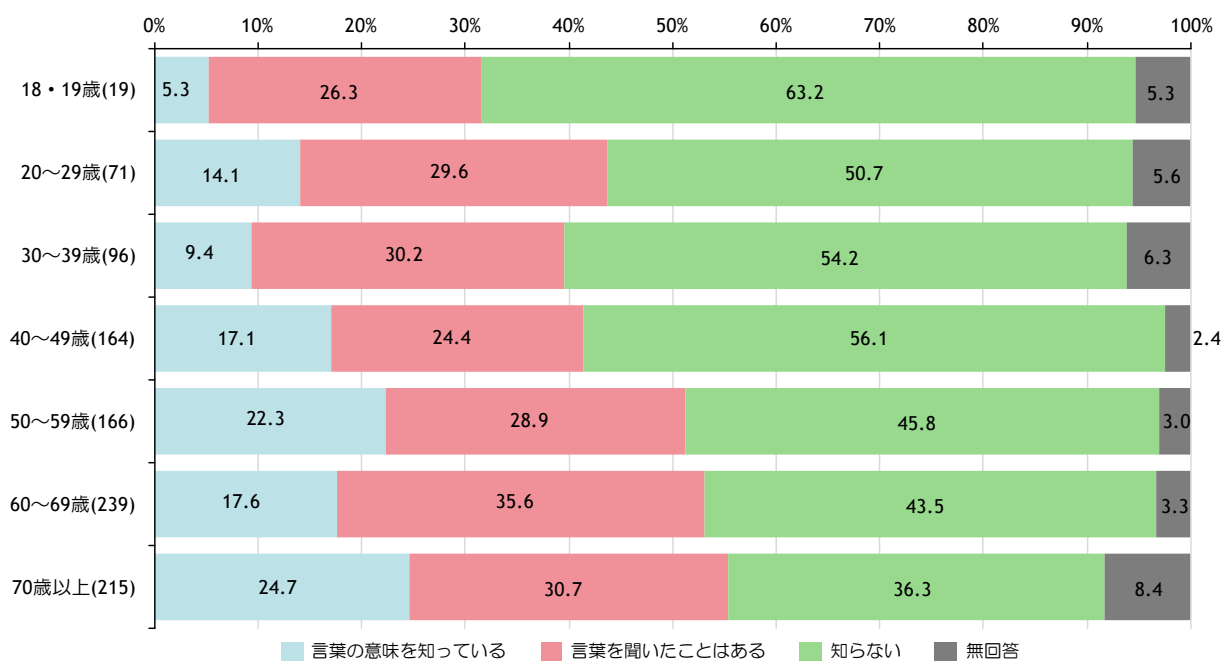


図 3-5-4 年齢別「協働」についての回答割合

問 3-2 市民と行政が一緒に考え、一緒に行動する「協働のまちづくり」の実現に向け、あなたは何か活動をしたいと思いますか。

「協働のまちづくり」の実現に向けた活動について「機会があれば考えたい(54.5%)」の割合が最も高く、「わからない(23.0%)」「活動したくない(6.9%)」「今後活動したい(6.1%)」「現在、活動している(4.2%)」の順となった。

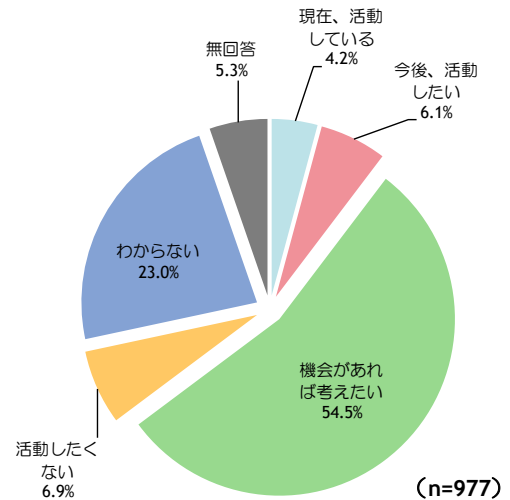
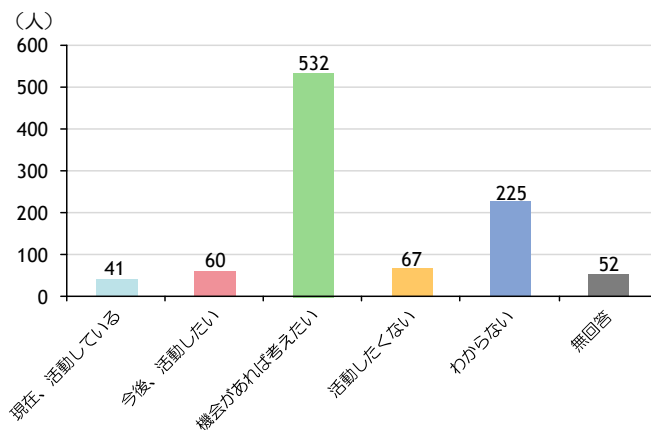


図 3-5-5 「協働のまちづくり」の実現意欲回答数

図 3-5-6 「協働のまちづくり」の実現意欲回答割合

【性別の「協働のまちづくり」の実現意欲】

男性、女性とも「機会があれば考えたい」の割合が5割以上となった。

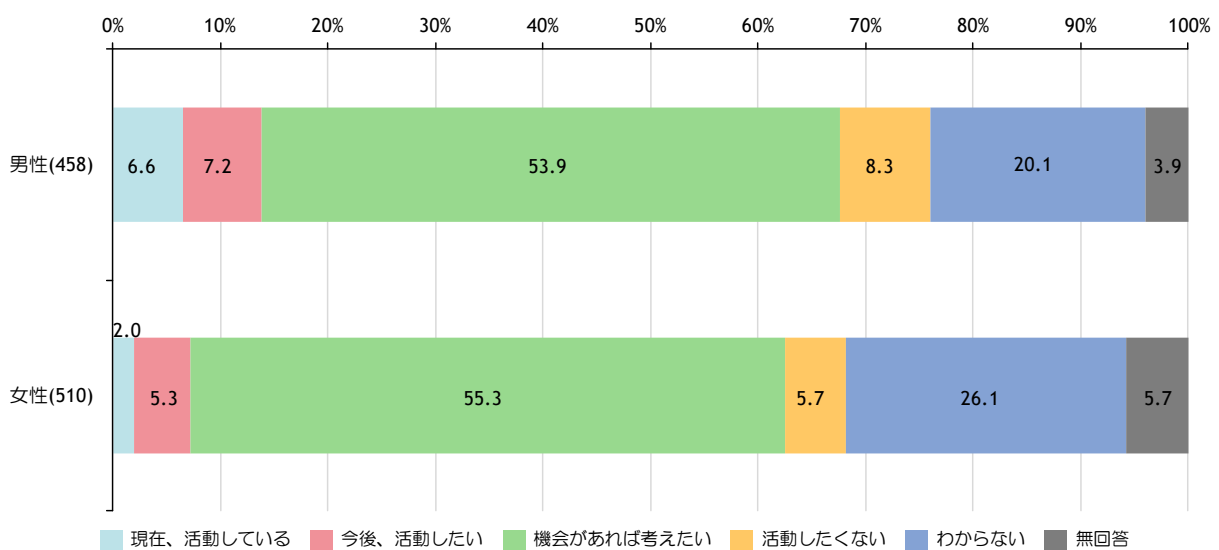


図 3-5-7 性別による「協働のまちづくり」の実現意欲回答割合

【年齢別の「協働のまちづくり」の実現意欲】

30代と70歳以上を除く年齢層で「機会があれば考えたい」の割合が最も高く、5割以上となった。

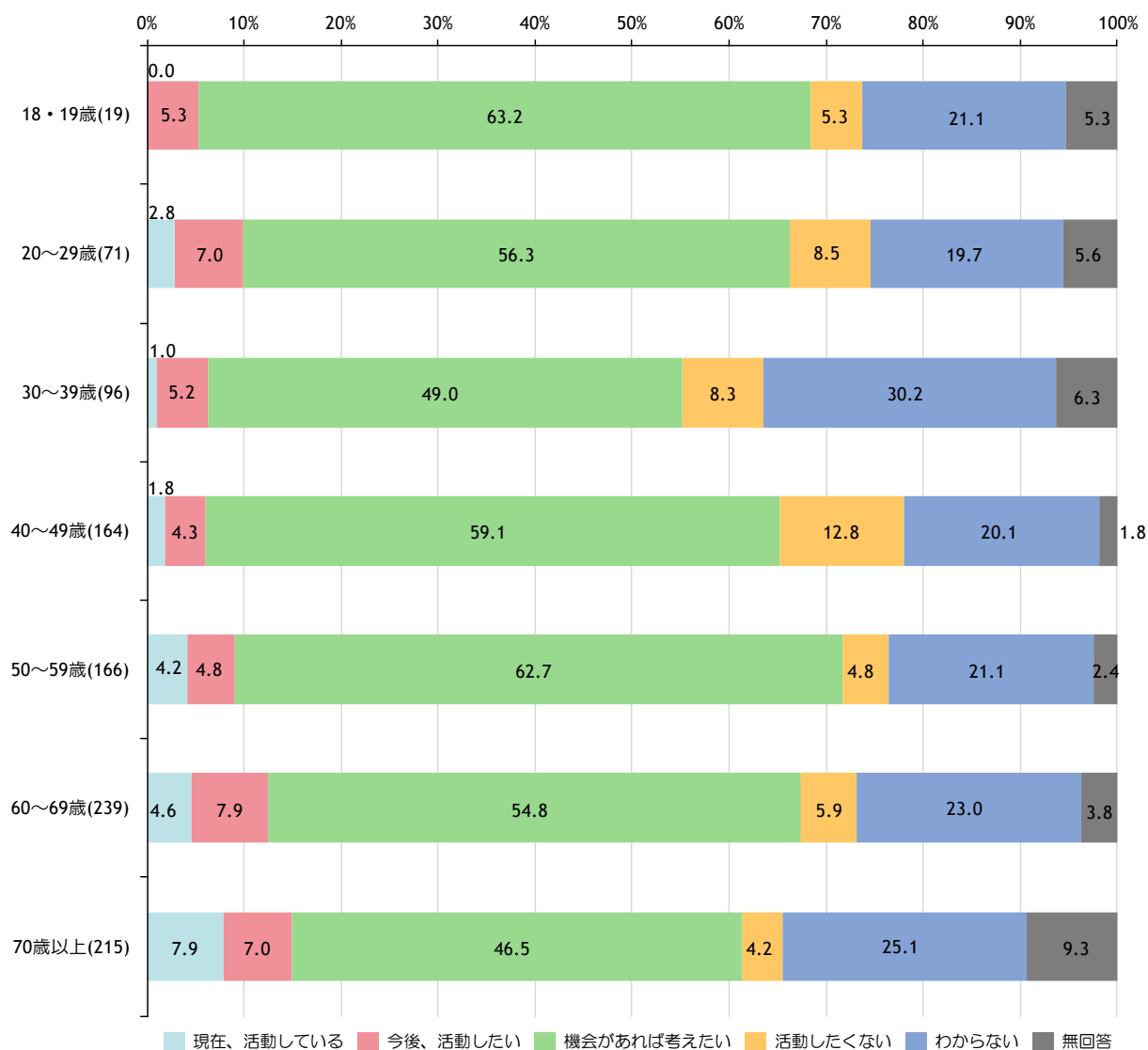


図 3-5-8 年齢別「協働のまちづくり」の実現意欲回答割合

(6)「議会本会議」について

問 4-1 議会本会議の様子や審議結果などをご覧になっていますか。

議会本会議の様子や審議結果などについては、「あまり見ない(32.9%)」「まったく見ない(32.2%)」「時々見ている(27.0%)」「よく見ている(4.3%)」の順となったが、上位2項目は約3割とほぼ同じ割合となった。

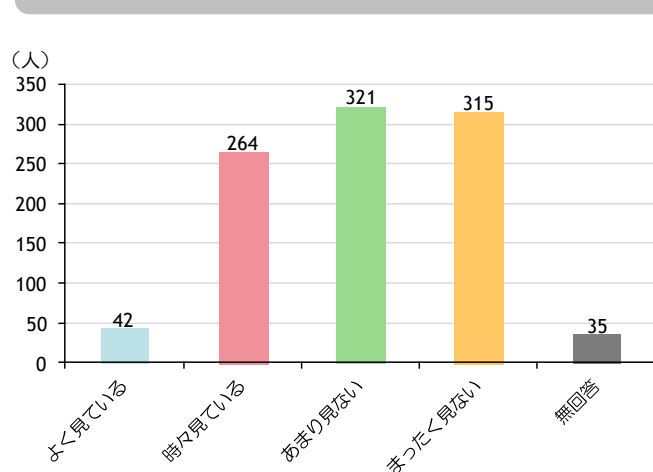


図 3-6-1 「議会本会議」についての回答数

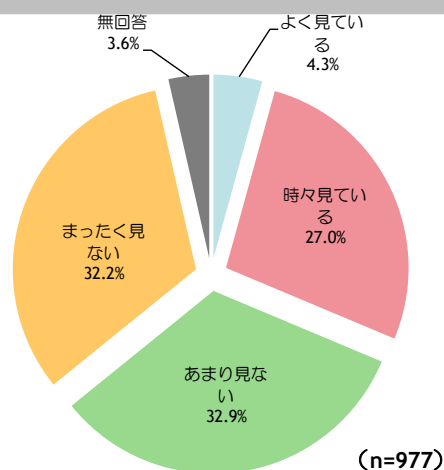


図 3-6-2 「議会本会議」についての回答割合

【年齢別の「議会本会議」について】

「よく見ている」「時々見ている」の“見ている”が70歳以上では4割を超え、50・60代では3割を超えている。低い年代は割合が低くなっている。

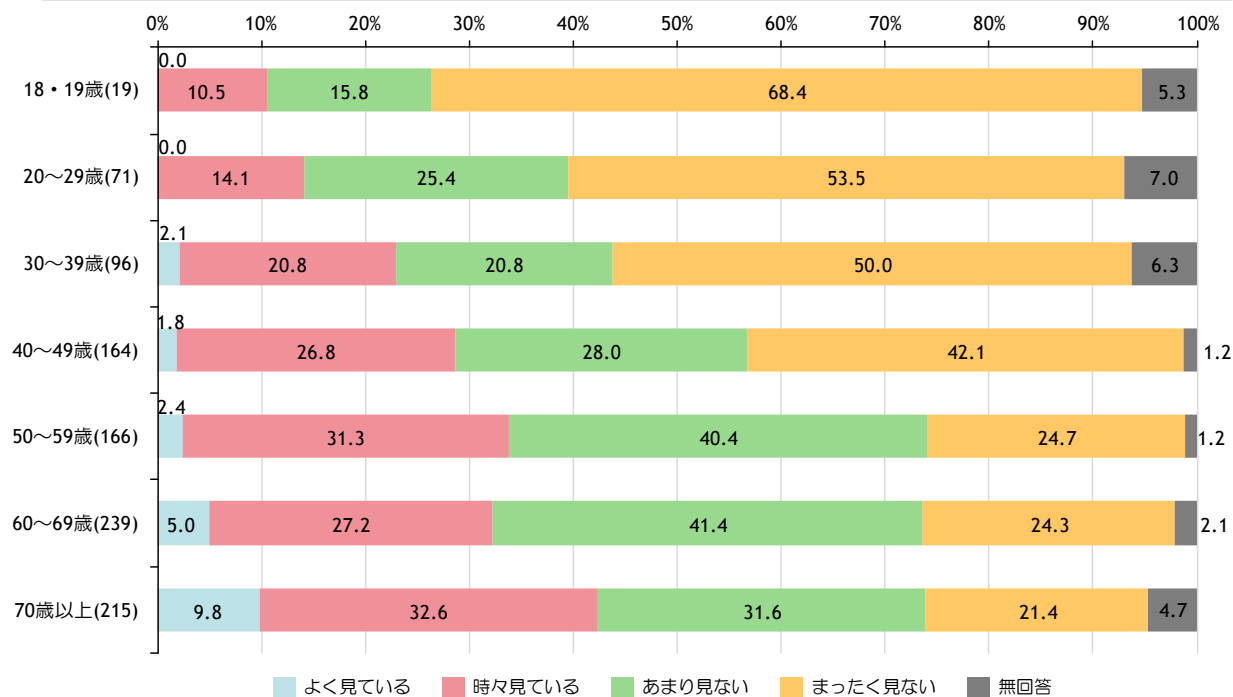


図 3-6-3 年齢別「議会本会議」についての回答割合

<問 4-1 で「よく見ている」「時々見ている」「あまり見ない」とお答えいただいた方>

問 4-2 どのような方法でご覧になっていますか。(複数回答可)

議会本会議の様子や審議結果の情報を得るための方法として、「議会報『市議会だより』を読む(73.4%)」「ケーブルテレビで議会中継を観る(21.5%)」の2つの方法が、回答者の9割を占める結果となった。

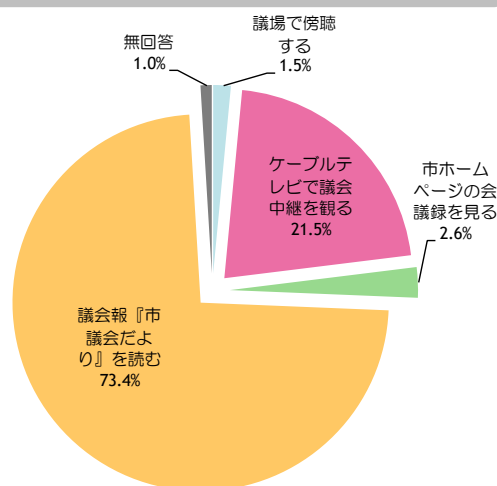
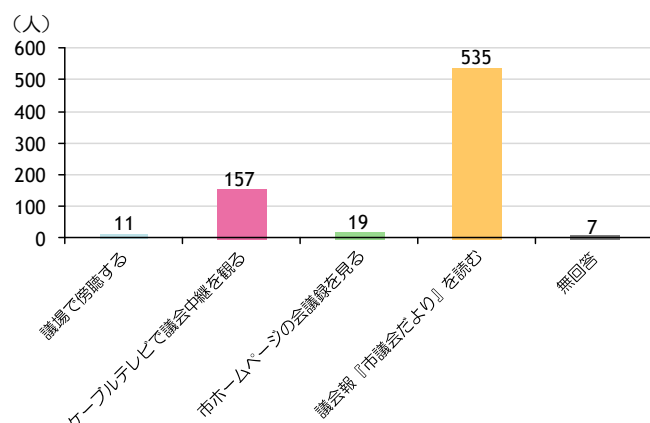


図 3-6-4 「議会本会議」の情報入手方法の回答数

図 3-6-5 「議会本会議」の情報入手方法の回答割合

【年齢別の「議会本会議」の情報入手方法について】

どの年代の回答者も9割以上の人が議会報『市議会だより』を読む」「ケーブルテレビで議会中継を観る」で情報を得ている結果となった。

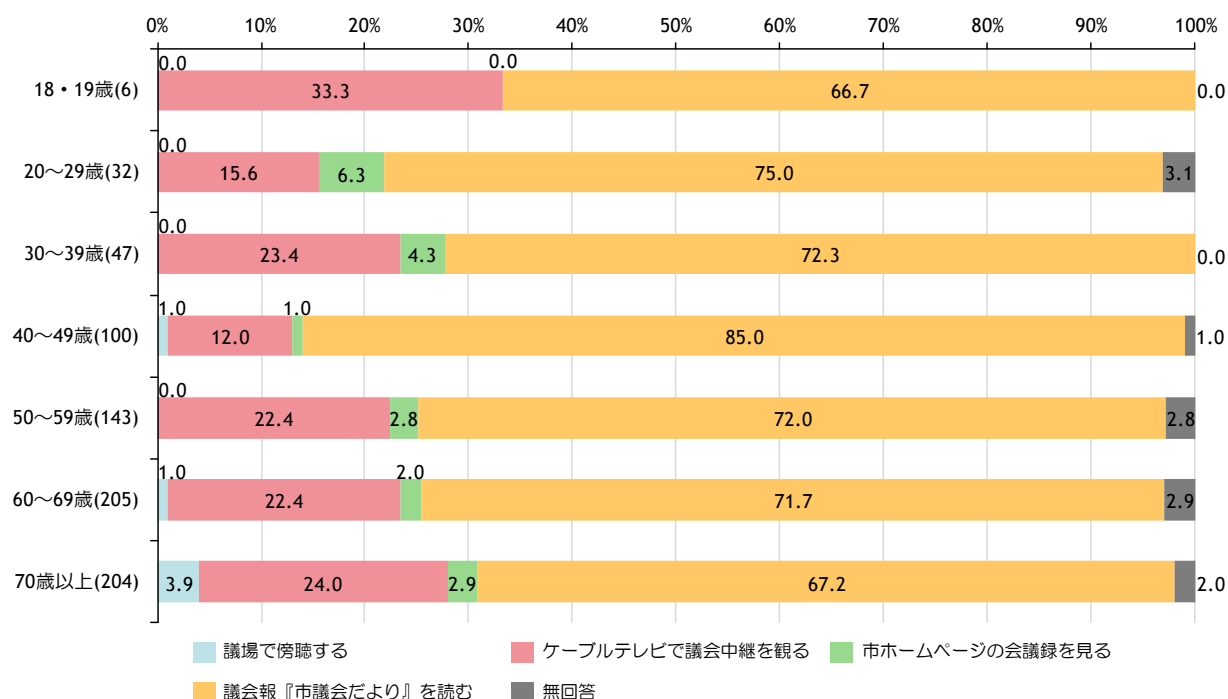


図 3-6-6 年齢別「議会本会議」の情報入手方法の回答割合

(7) 市職員の応対について

問 5-1 市職員の応対に好感が持てますか。

市職員の応対については、「どちらともいえない(51.1%)」「持てる(32.5%)」「持てない(12.8%)」となった。

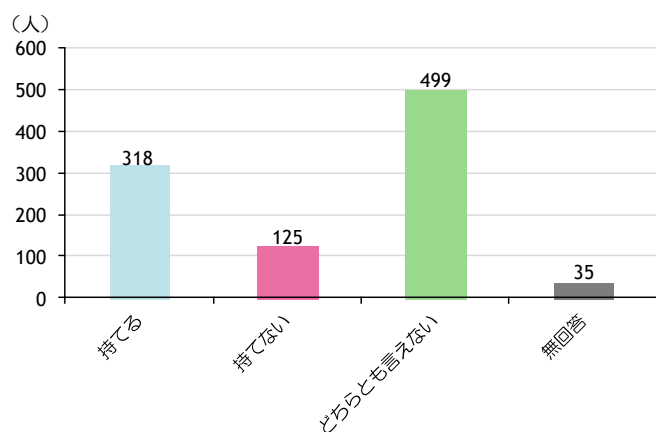


図 3-7-1 市職員応対の回答数

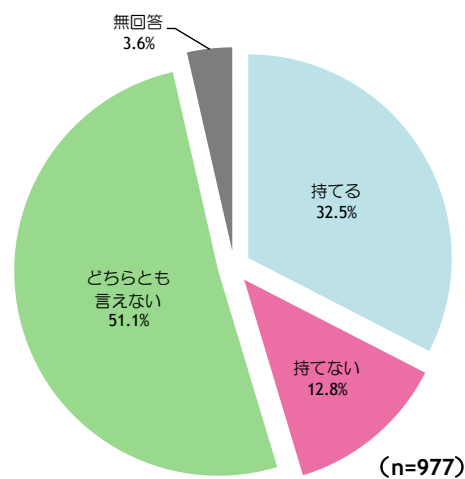


図 3-7-2 市職員応対の回答割合

【性別の市職員応対について】

「持てる」と回答した男性は 35.8%、女性は 30.2% となり、「持てない」と回答した男性は 12.0%、女性は 13.3% となった。

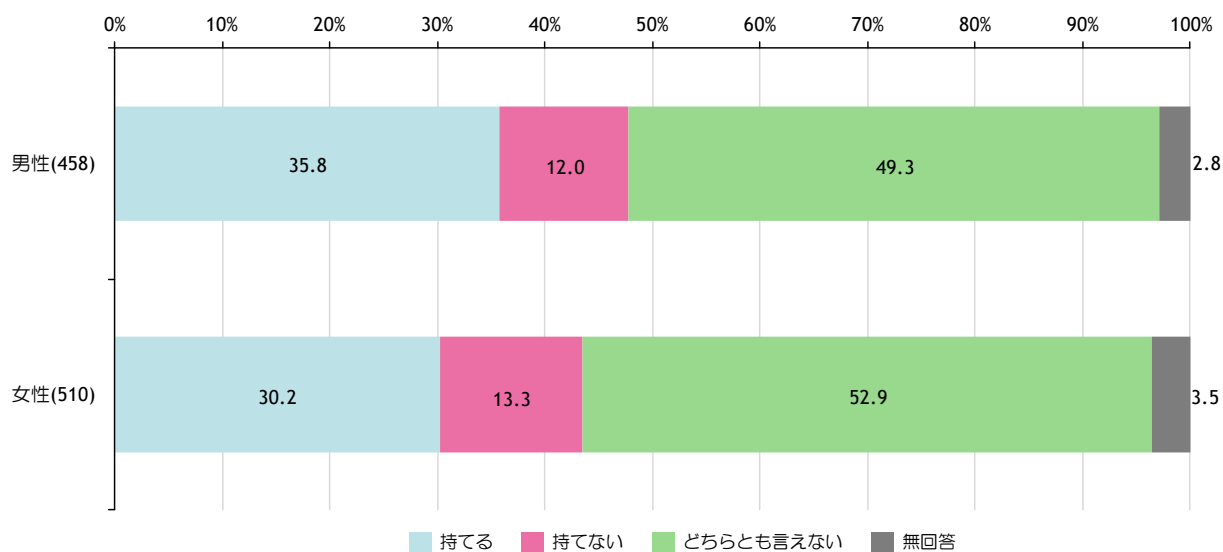


図 3-7-3 性別による市職員応対の回答割合

【年齢別の市職員応対について】

「持てる」「持てない」で比較すると、すべての年齢層では「持てる」の割合が高くなっている。

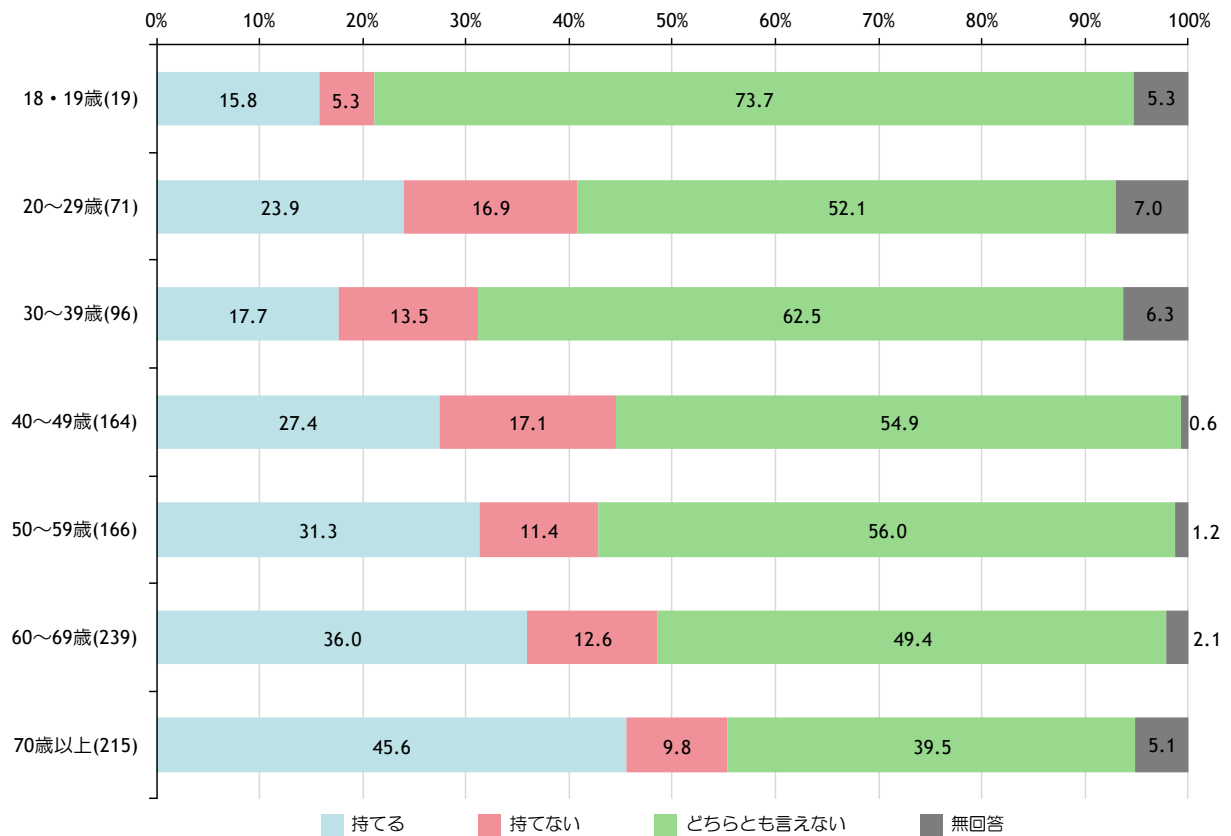


図 3-7-4 年齢別市職員応対の回答割合

<問 5-1 で「持てない」とお答えいただいた方>

問 5-2 どのような点に、好感がもてませんか。(複数回答可)

好感の持てないことについては、「言葉づかいや態度(35.6%)」が最も多かった。次いで、「説明が不十分(31.2%)」「その他(19.8%)」「たらい回しにされた(13.0%)」の順となっている。

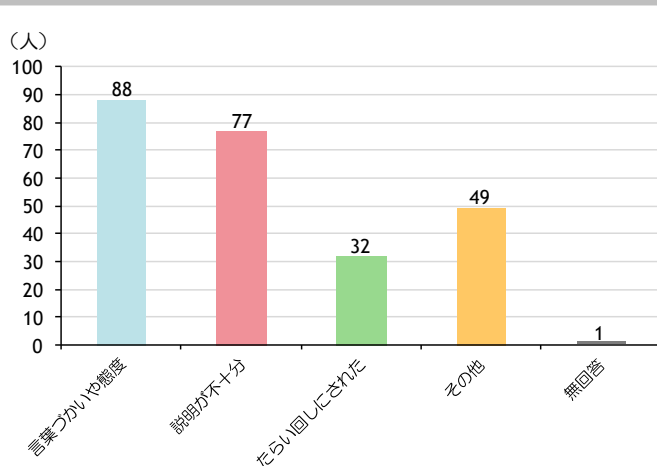


図 3-7-5 好感の持てないことの回答数

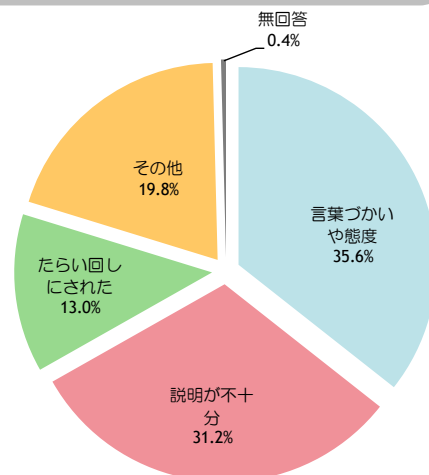


図 3-7-6 好感の持てないことの回答割合

【年齢別の好感の持てないことについて】

「言葉づかいや態度」「説明が不十分」の2つを合わせた割合が、18・19歳を除く年齢層で5割以上となっている。

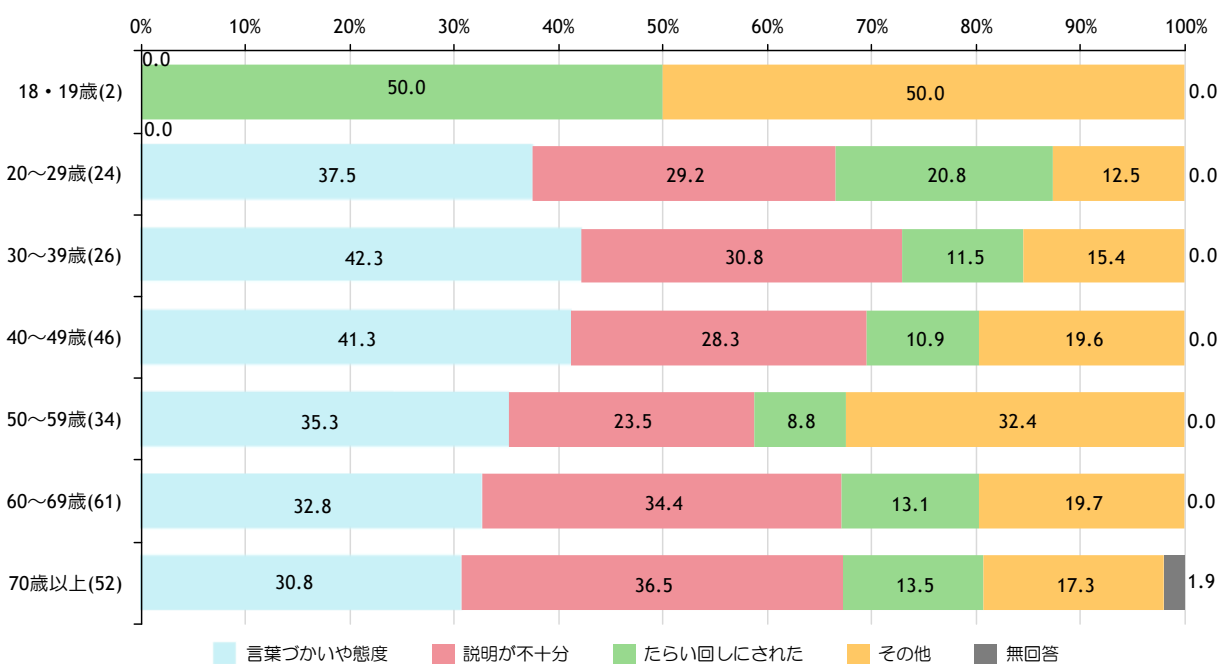


図 3-7-7 年齢別好感の持てないことの回答割合

(8) 千曲市キャラクターあん姫について

問 6-1 千曲市キャラクター「あん姫」を知っていますか。

千曲市キャラクターのあん姫については「知っている(86.3%)」「知らない(10.6%)」となった。

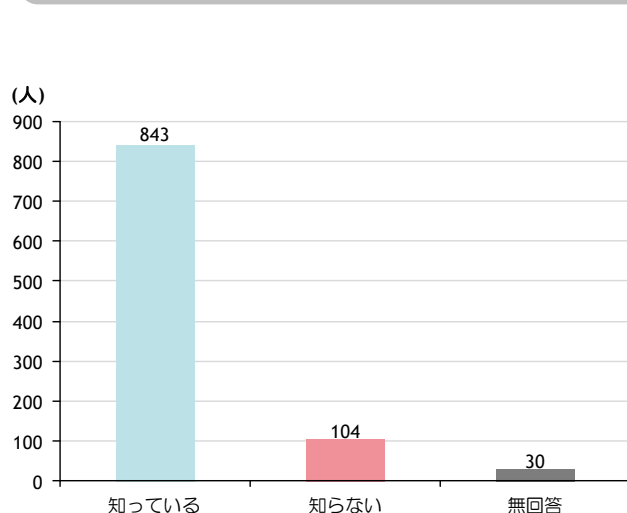


図 3-8-1 あん姫を知っているかの回答数

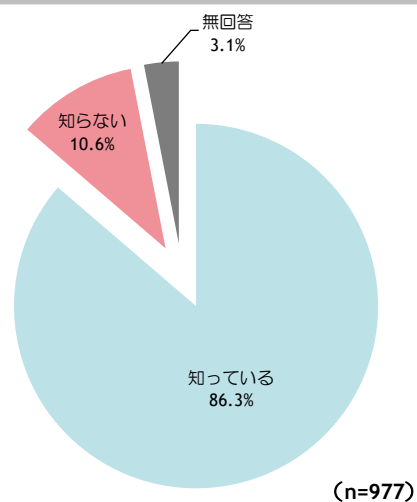


図 3-8-2 あん姫を知っているかの回答割合

【性別のあん姫について】

「知っている」と回答した男性は81.9%、女性は91.0%となり、「知らない」と回答した男性は15.5%、女性は6.3%となった。

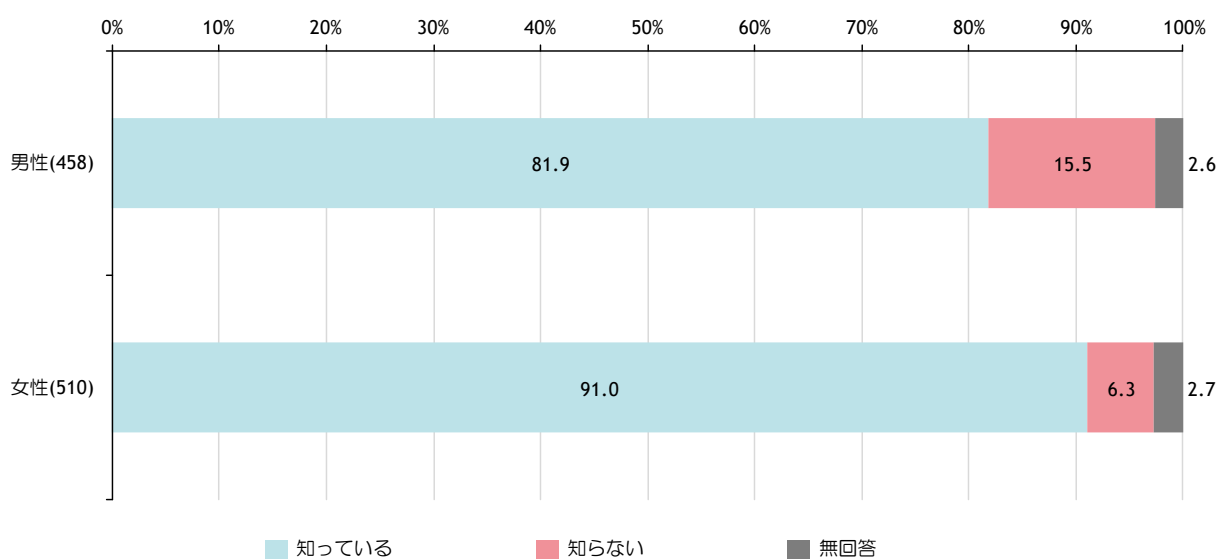


図 3-8-3 性別によるあん姫を知っているかの回答割合

【年齢別のあん姫について】

年齢別にみると、70歳以上を除く年代で「知っている」と回答した割合が8割を超える結果となった。

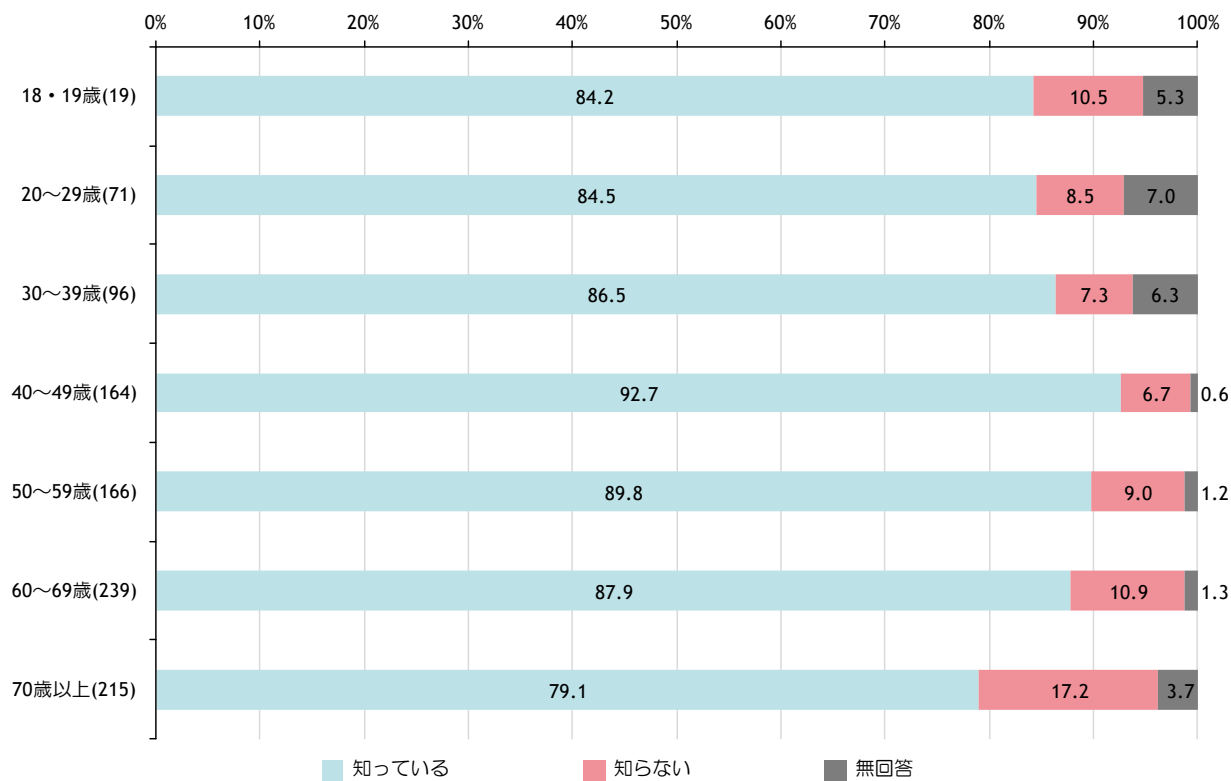


図 3-8-4 年齢別あん姫を知っているかの回答割合

<問 6-1 で「知っている」とお答えいただいた方>

問 6-2 「あん姫」をどこでご覧になったことがありますか。(複数回答可)

あん姫を見た場所については、「市報千曲(41.0%)」「市内のイベント(30.8%)」「新聞やテレビ等のメディア(16.1%)」「市のホームページ・フェイスブック(6.9%)」「市外のイベント(3.1%)」「その他(2.5%)」となった。

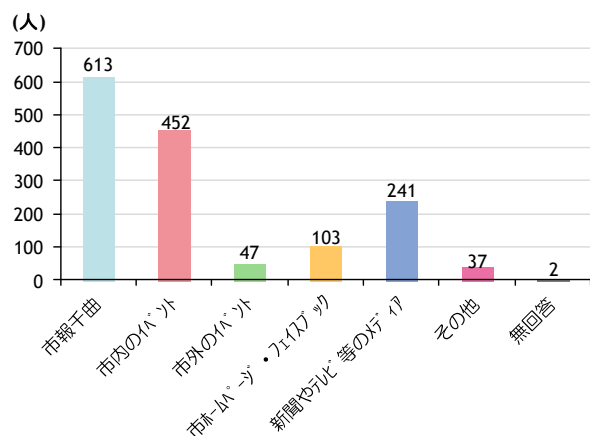


図 3-8-6 あん姫を見た場所の回答割合

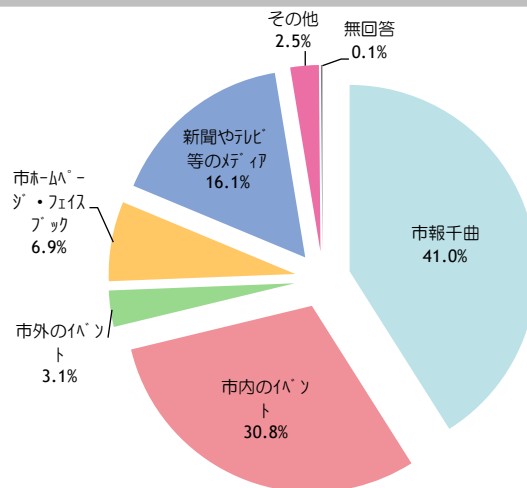


図 3-8-5 あん姫を見た場所の回答数

【性別のあん姫を見た場所について】

男女ともに「市報千曲」という回答が最も多く、その割合は4割を超えている。また、男女で大きな割合の差はみられない。

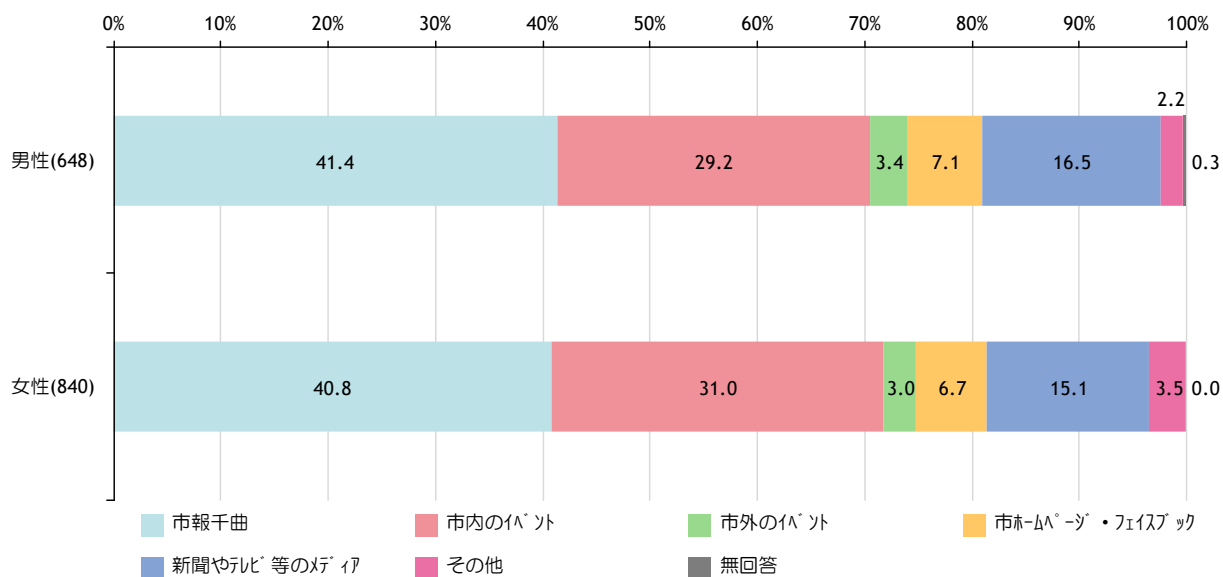


図 3-8-7 性別のあん姫を見た場所の回答割合

【年齢別のあん姫を見た場所について】

年齢が高くなるほど市報千曲で見たという割合が増加している。また、新聞やテレビ等のメディアで見たという割合もすべての年代で1割を超えて回答があった。

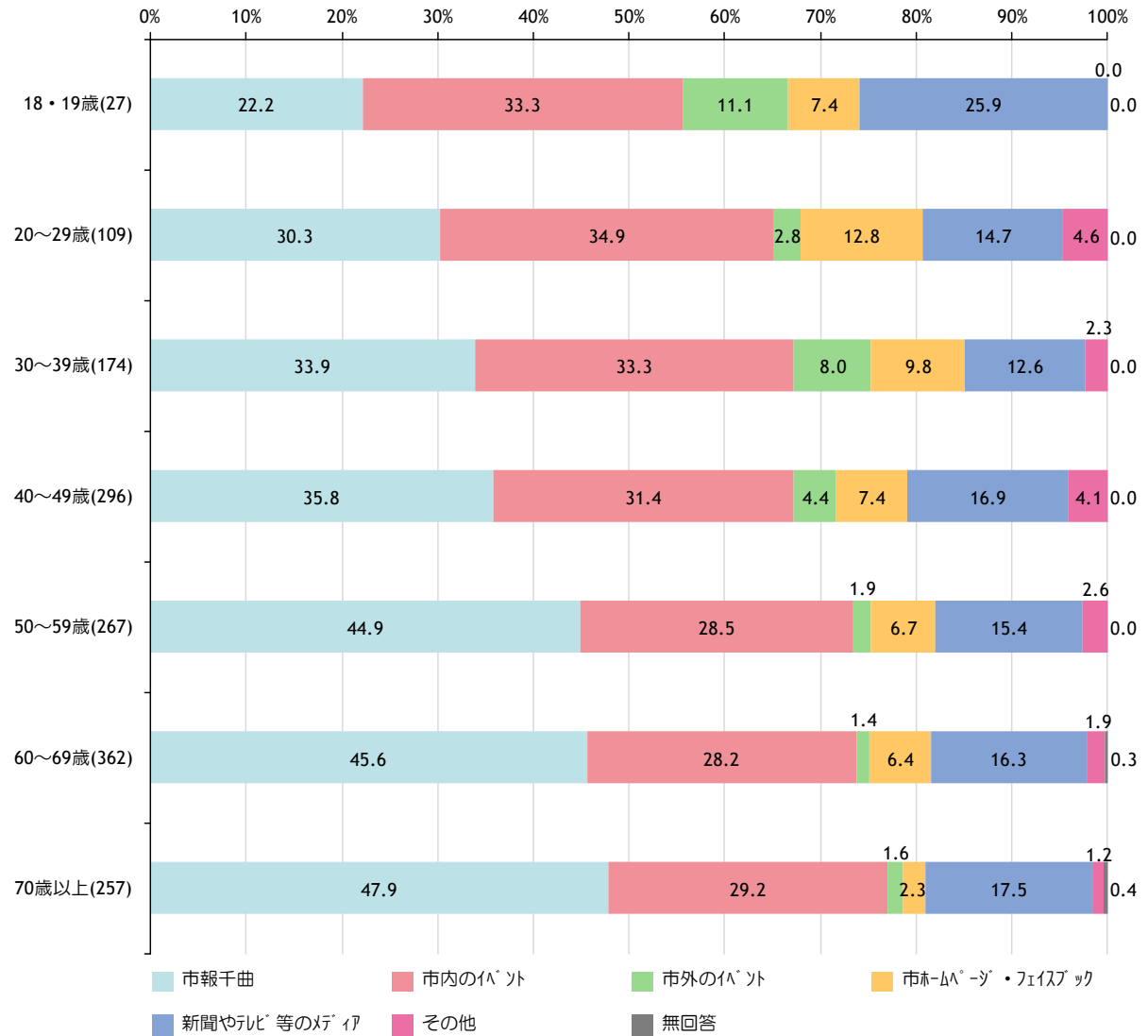


図 3-8-8 年齢別のあん姫を見た場所の回答割合

問 6-3 千曲市の PR にキャラクターを活用することについてあなたの考えに近いものを選んでください。(複数回答可)

キャラクターの活用について、「イメージアップにつながる(24.8%)」「幅広い世代に親しみやすい(23.5%)」「イベント等がさらに賑わう(22.7%)」「地域の活性化につながる(20.7%)」となった。

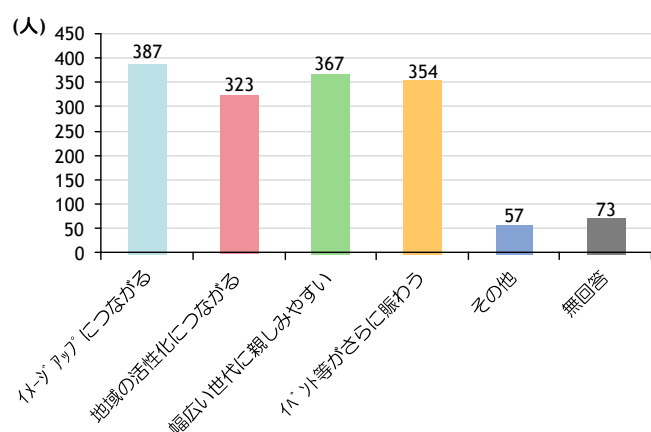


図 3-8-9 キャラクター活用についての回答数

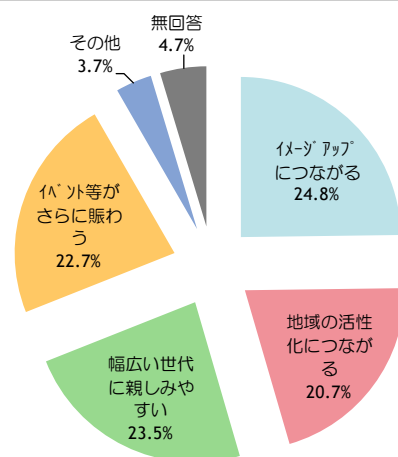


図 3-8-10 キャラクター活用についての回答割合

【性別のキャラクターを活用することについての考え】

男女ともに大きな割合の差はみられなかった。

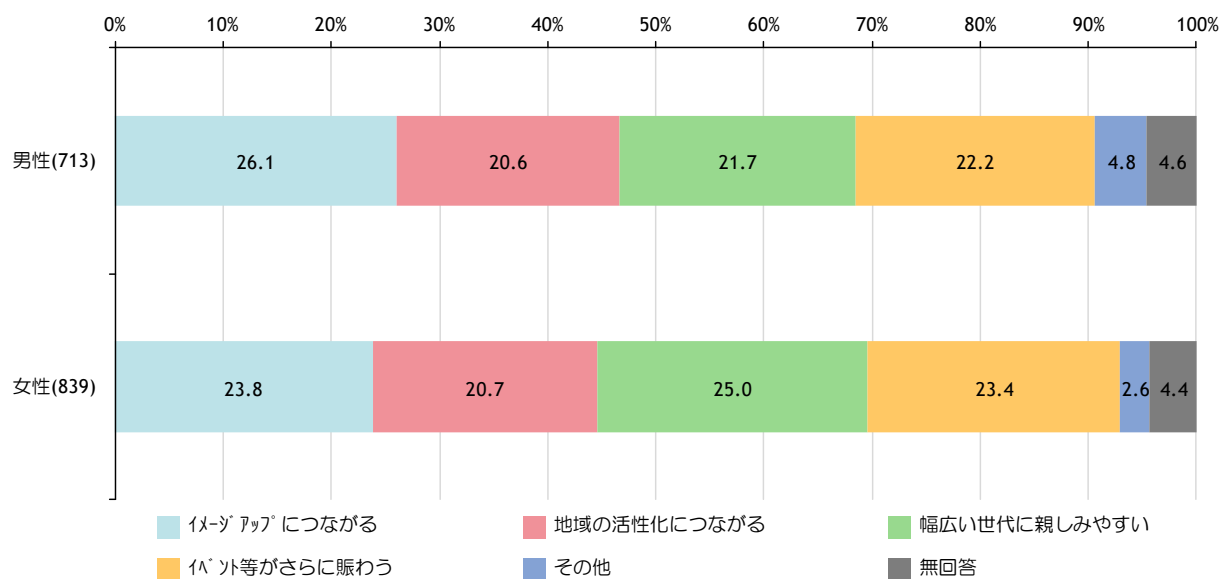


図 3-8-11 性別のキャラクターを活用することについての回答割合

【年齢別のキャラクターを活用することについての考え】

多少のばらつきがあるものの割合に大きな差はなかった。また、「その他」「無回答」を除く4項目については同年代の中でも割合がほぼ同じになっている。

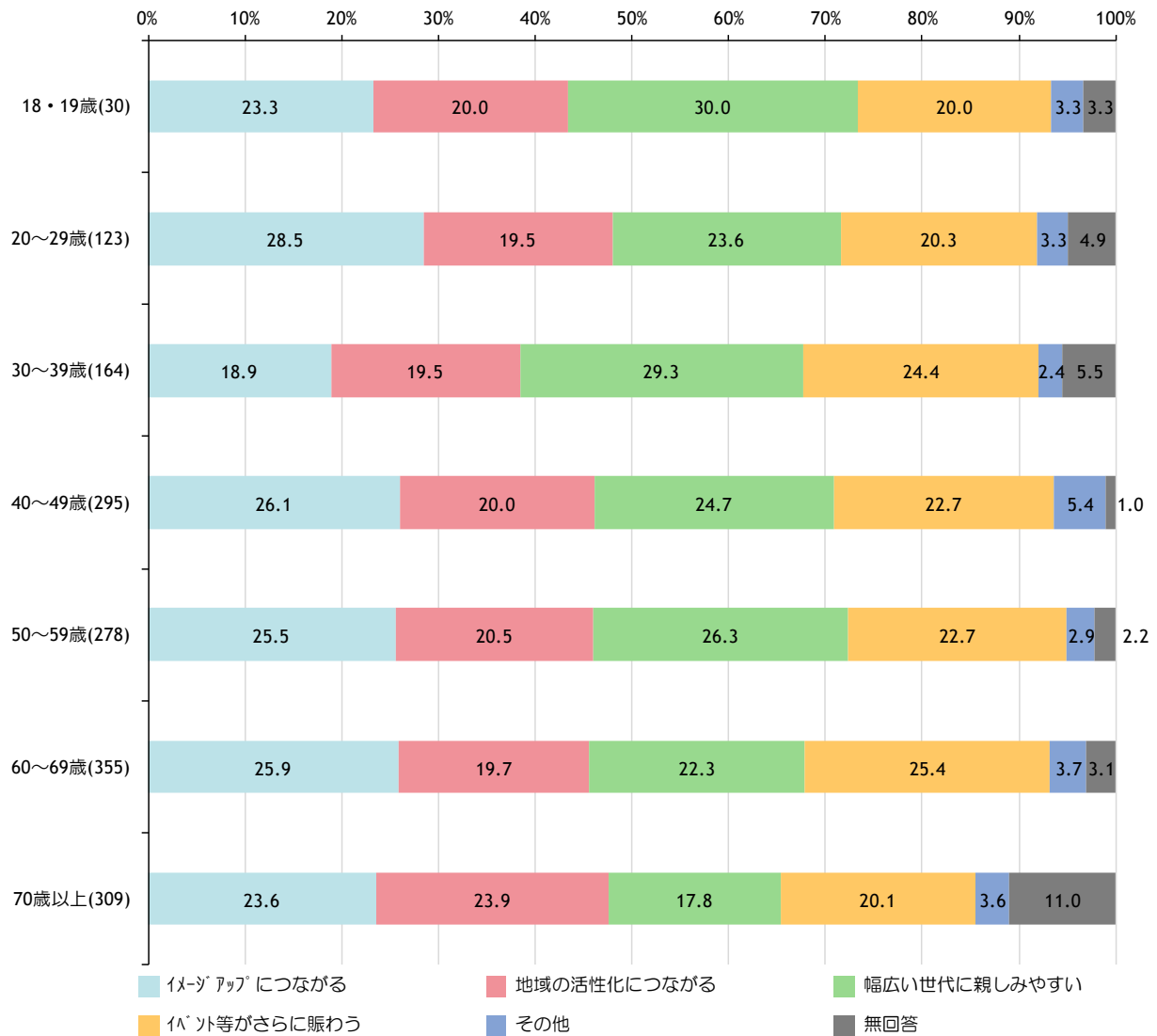


図 3-8-12 年齢別のキャラクターを活用することについての回答割合

問 6-4 「あん姫」をより多くの人に知ってもらうためには、今後どのような活動が必要だと思いますか。(複数回答可)

今後の活動については、「市内イベントへの参加(30.7%)」「キャラクターイベントへの参加(23.6%)」「雑誌、テレビ等への出演(22.4%)」「県外イベントでのPR活動(22.3%)」「特になし(3.8%)」「その他(2.4%)」となった。

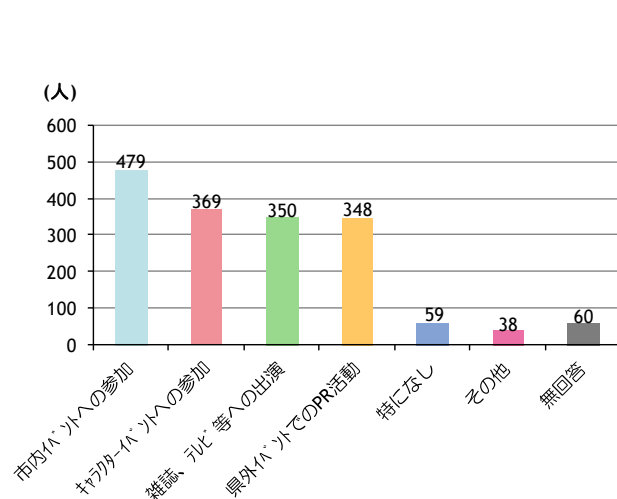


図 3-8-13 今後必要な活動についての回答数

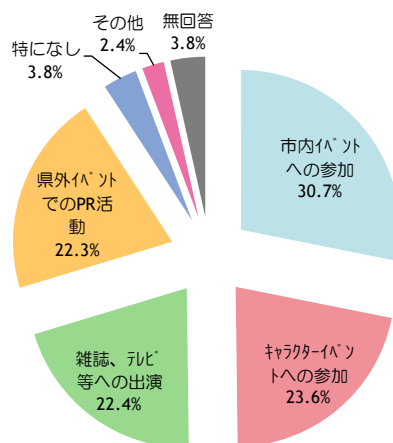


図 3-8-14 今後必要な活動についての回答割合

【性別の今後必要な活動についての考え】

男女とも大きな割合の差はみられないが、「雑誌、テレビ等への出演」という項目についてはやや男性のほうが上回る結果となった。

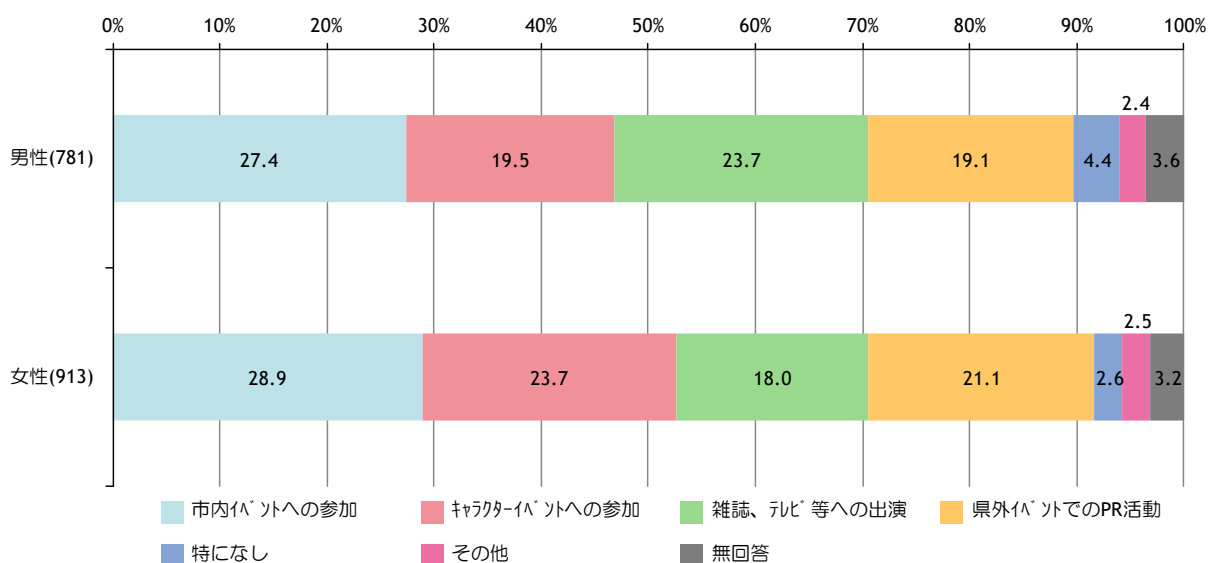


図 3-8-15 性別の今後必要な活動についての回答割合

【年齢別の今後必要な活動についての考え】

「市内イベントへの参加」と回答した割合は、年齢が高くなるほど多くの割合を占めている。また、「キャラクターイベントへの参加」と回答した割合は、年齢が低くなるほど多くの割合を占める結果となった。

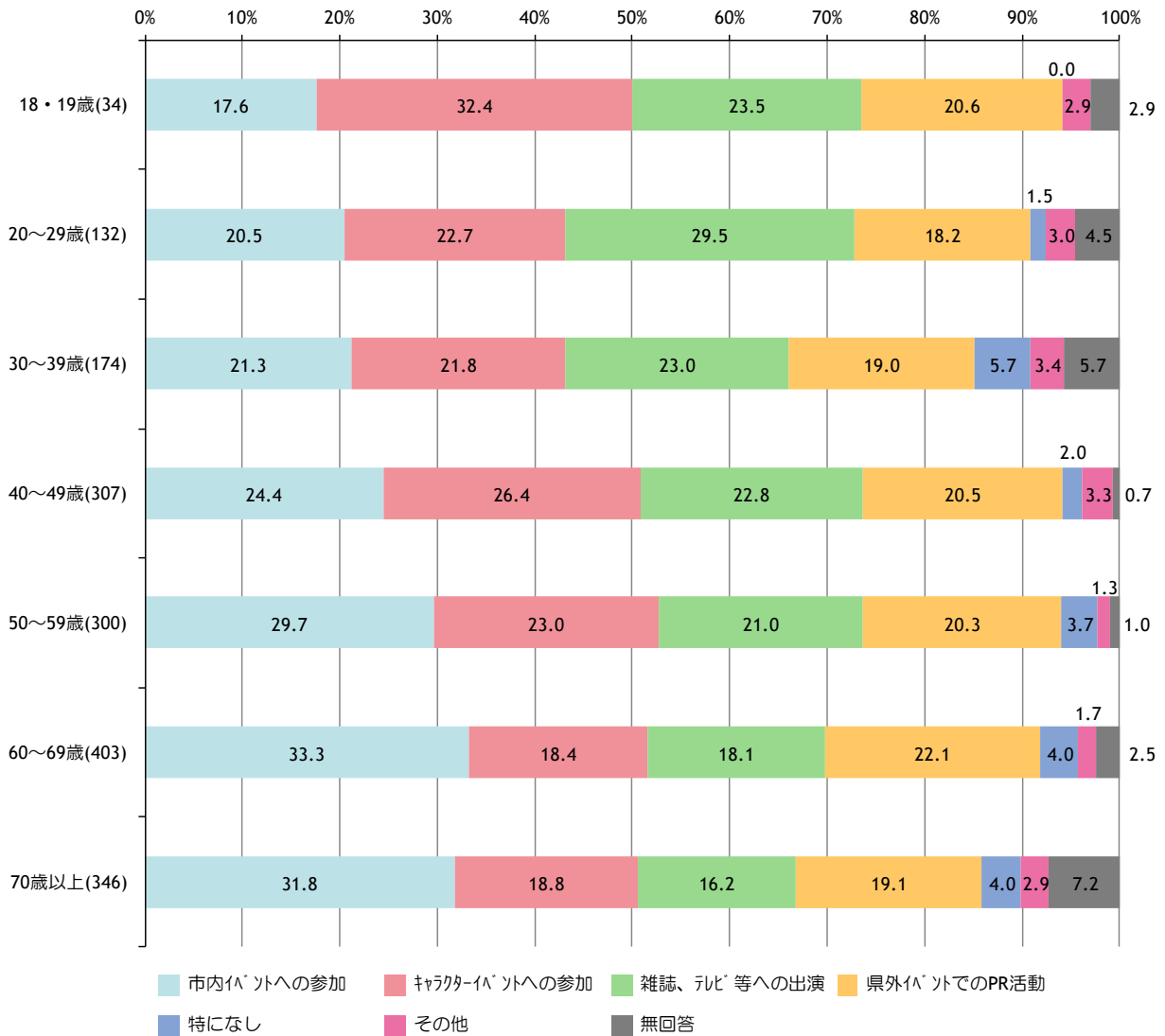


図 3-8-16 年齢別の今後必要な活動についての回答割合

(9) 市の広報活動について

問 7-1 千曲市からの情報はどこから得ていますか。(複数回答可)

千曲市の情報はどこから得ているかについては、「市報千曲(46.5%)」「市議会だより(18.5%)」「市からのチラシ(7.7%)」「有線放送(7.5%)」「ケーブルテレビ(6.4%)」「その他(6.3%)」「市のホームページ・フェイスブック(3.1%)」「市からの情報は得ていない(1.7%)」となった。

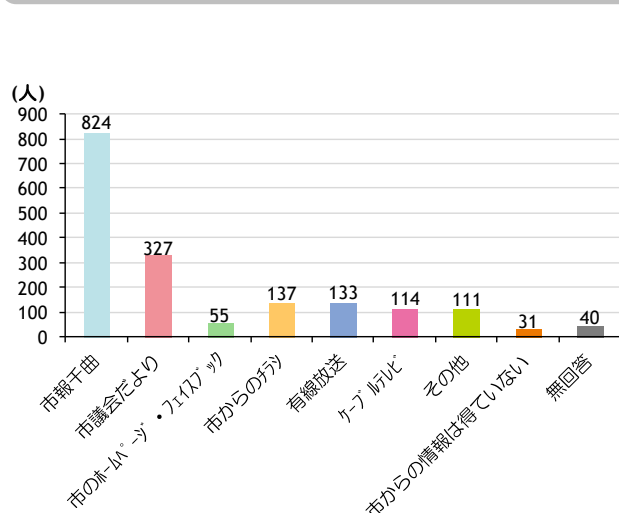


図 3-9-1 どこから情報を得ているかの回答数

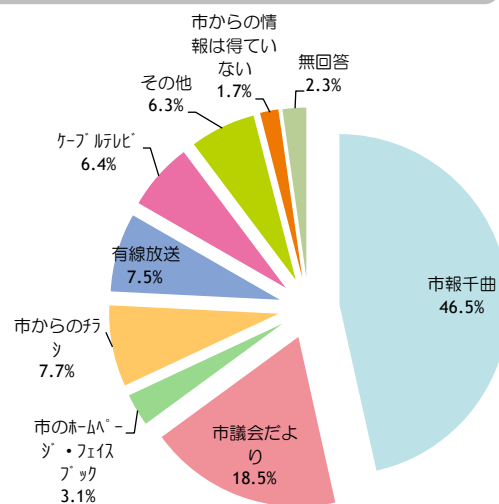


図 3-9-2 どこから情報を得ているかの回答割合

【性別の情報を得ているものについて】

男女とも市報千曲から情報を得ているという回答が最も多い割合を占めている結果となった。

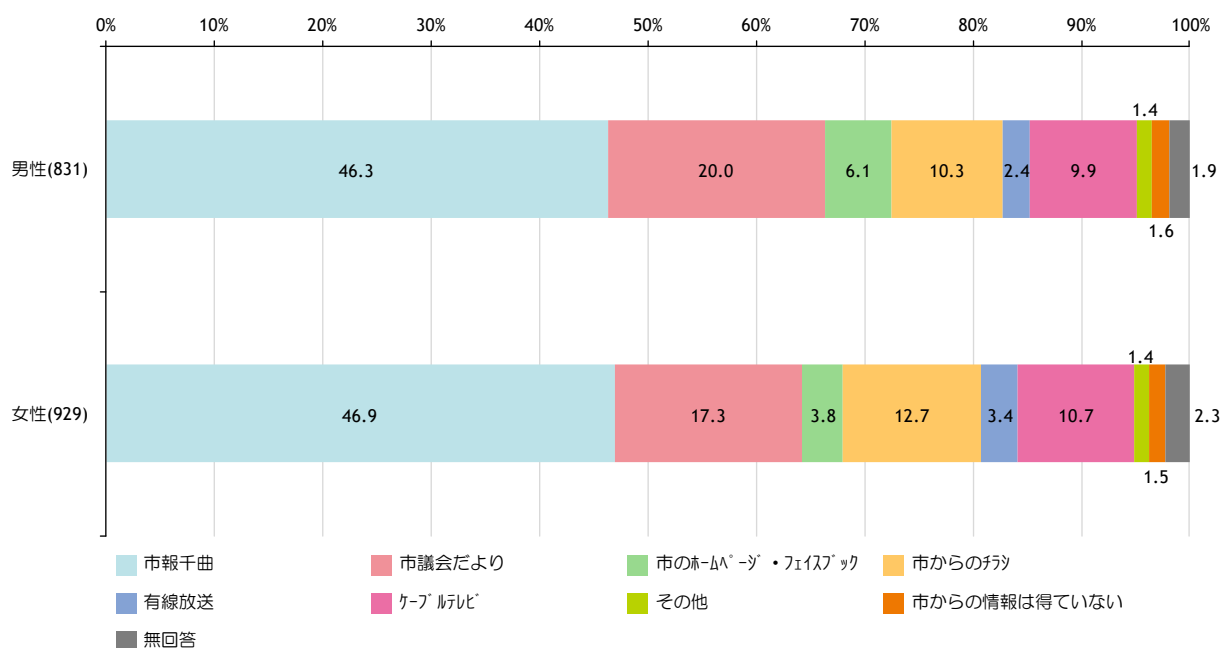


図 3-9-4 年齢別のどこから情報を得ているかの回答割合

【年齢別の情報を得ているものについて】

すべての年代で「市報千曲」と回答した割合が最も高くなった。また、年齢が低くなるほど「市からの情報は得ていない」と回答する割合が高くなっている。

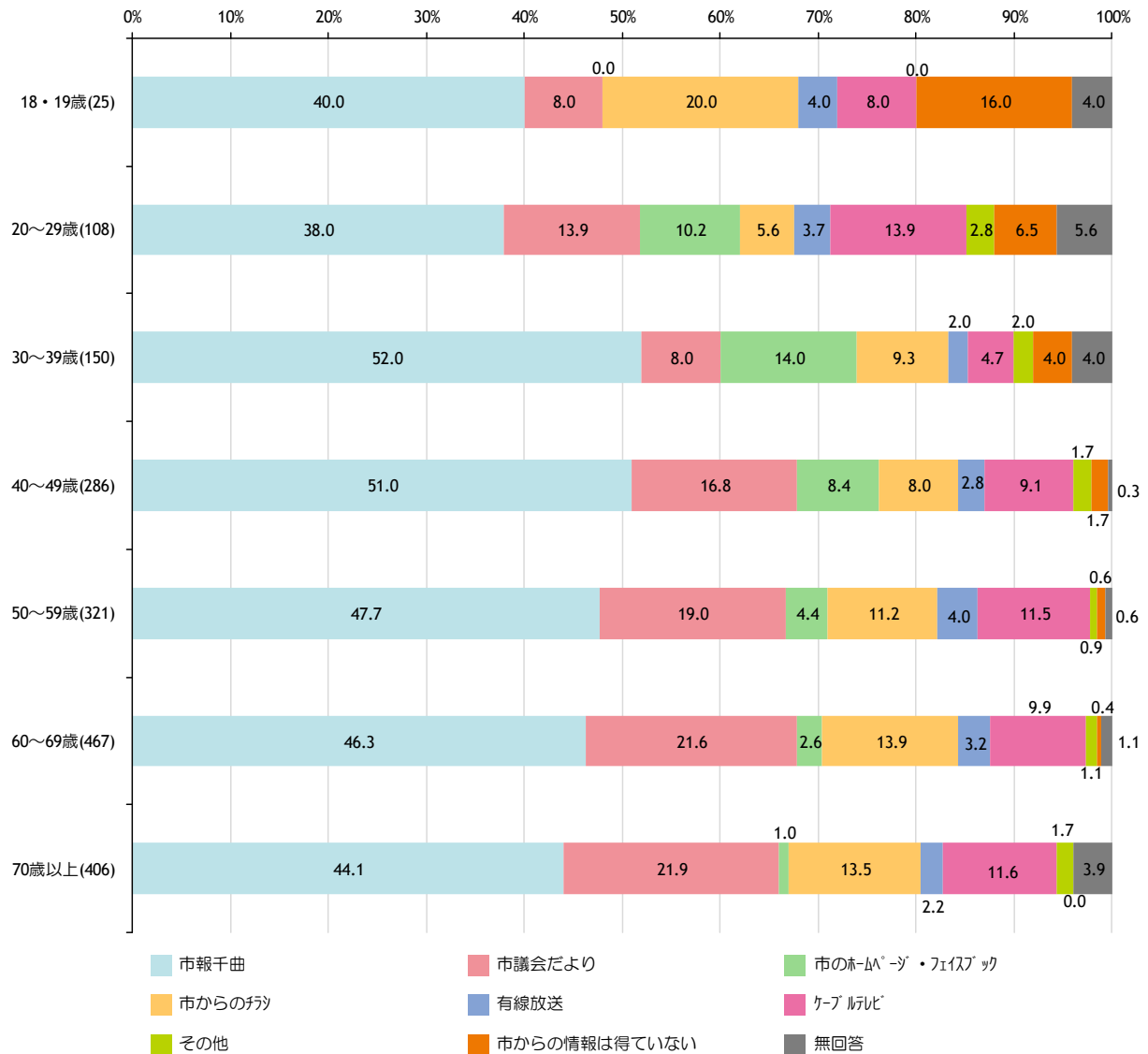


図 3-9-4 年齢別のどこから情報を得ているかの回答割合

問 7-2 千曲市の広報紙『市報千曲』は読んでいますか。

市報千曲を読んでいるかについて、「関心のある記事は読んでいる(47.3%)」「よく読んでいる(33.8%)」「あまり読まない(9.2%)」「全く読まない(5.9%)」となった。

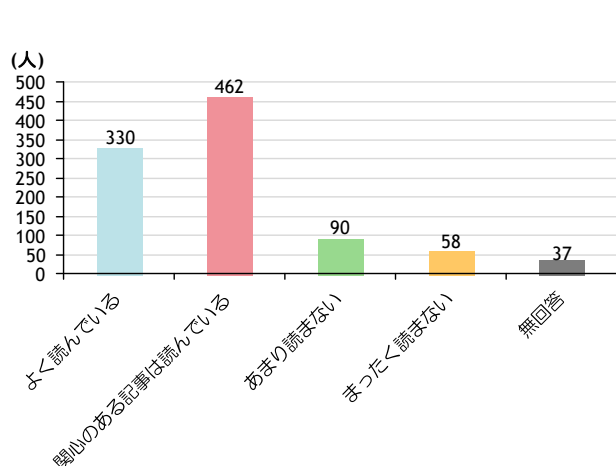


図 3-9-5 市報千曲を読んでいるかの回答数

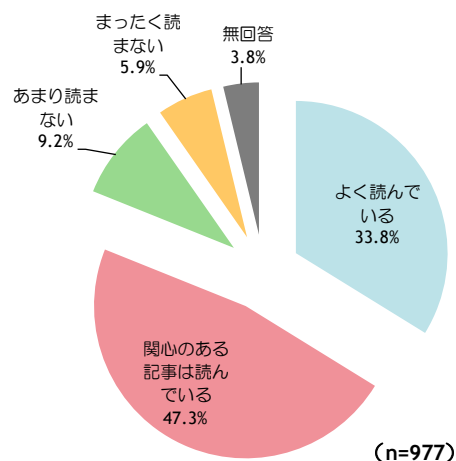


図 3-9-6 市報千曲を読んでいるかの回答割合

【性別の市報千曲を読んでいるかについて】

性別による割合の大きな差はみられなかった。また、「よく読んでいる」「関心のある記事だけ読んでいる」をあわせた“読んでいる”と回答した割合は、男性 79.0%、女性 83.1%と約 8 割という結果になった。

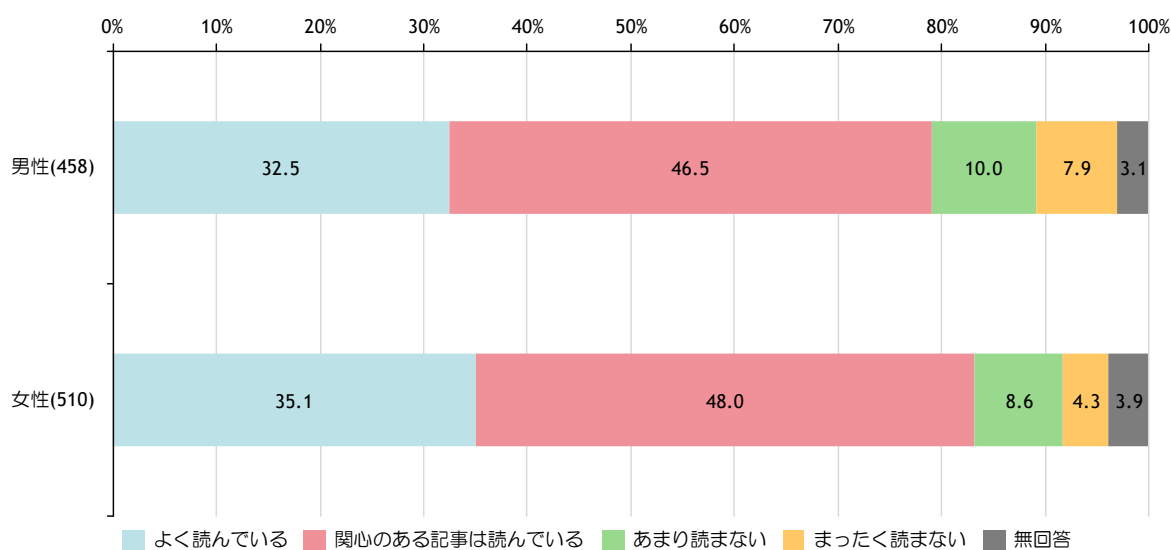


図 3-9-7 性別の市報千曲を読んでいるかの回答割合

【年齢別の市報千曲を読んでいるかについて】

70歳以上を除くすべての年代で「関心のある記事は読んでいる」という回答が最も多くなっており、「よく読んでいる」「関心のある記事は読んでいる」を合わせた、“読んでいる”と回答した割合は40代以上では8割を超えている。

また、「あまり読まない」「まったく読まない」をあわせた“読まない”では18・19歳は5割以上、20代は4割以上という結果になった。

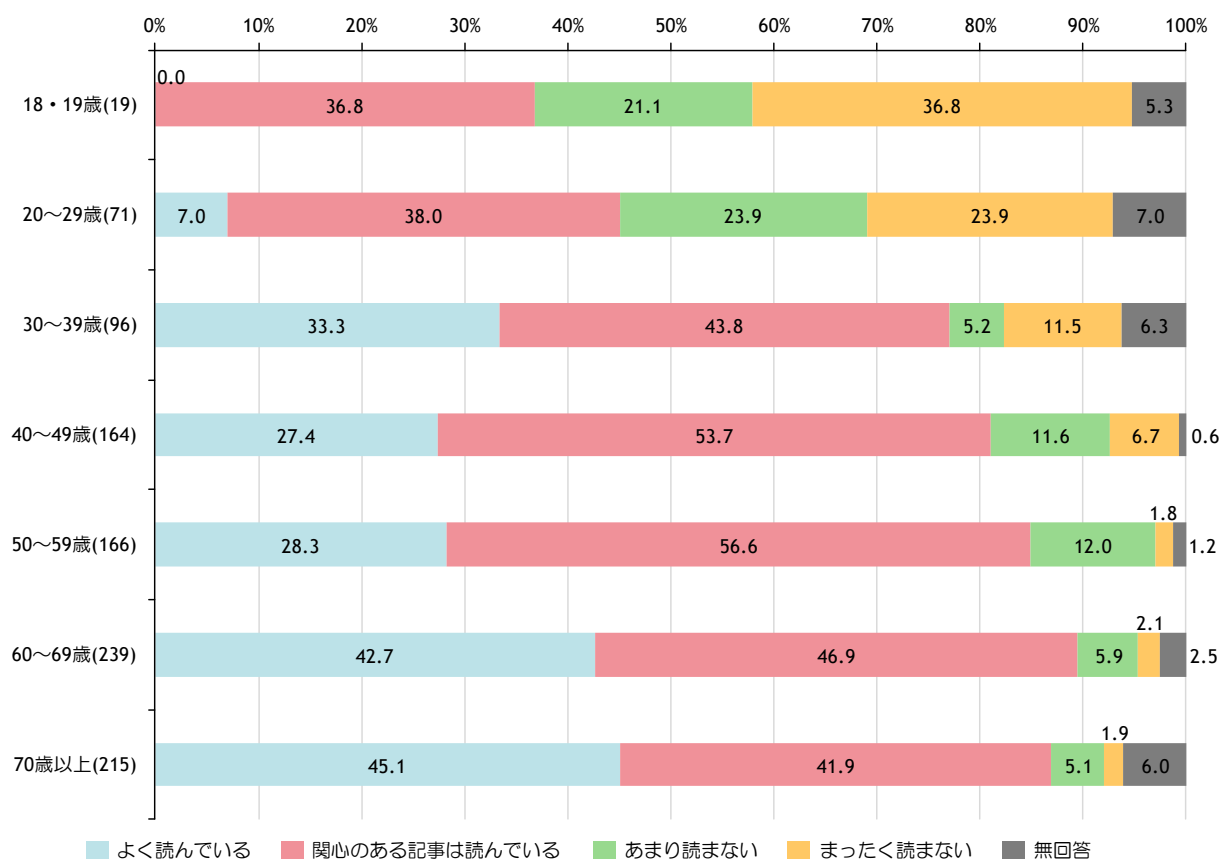


図 3-9-8 年齢別の市報千曲を読んでいるかの回答割合

問 7-3 千曲市の広報紙『市議会だより』は読んでいますか。

市議会だよりを読んでいるかについて、「関心のある記事は読んでいる(42.9%)」「あまり読まない(23.2%)」「まったく読まない(16.2%)」「よく読んでいる(14.0%)」となった。

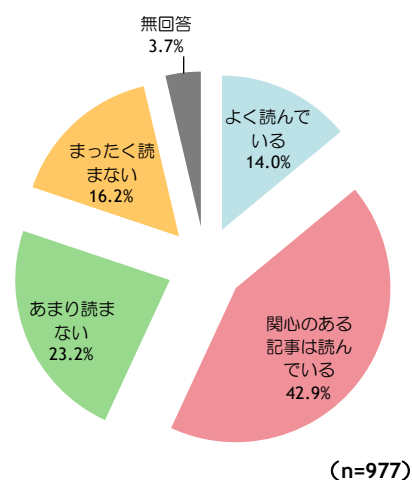
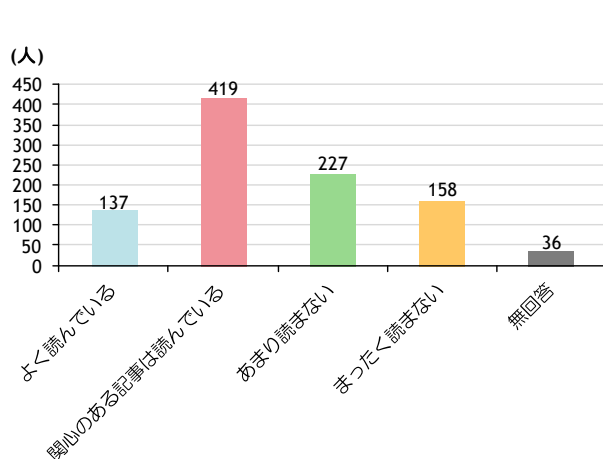


図 3-9-9 市議会だよりを読んでいるかの回答数

図 3-9-10 市議会だよりを読んでいるかの回答割合

【性別の市議会だよりを読んでいるかについて】

性別による大きな割合の変化はみられなかった。「よく読んでいる」「関心のある記事は読んでいる」を合わせた、「読んでいる」と回答した割合は5割を超える結果となった。

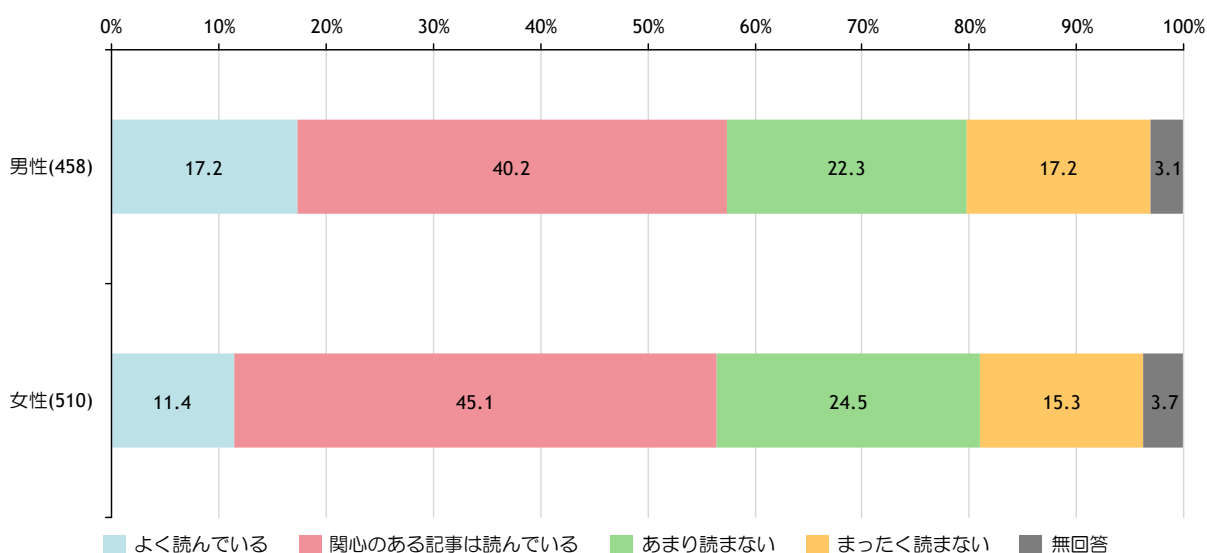


図 3-9-11 性別の市議会だよりを読んでいるかの回答割合

【年齢別の市議会だよりを読んでいるかについて】

年齢が高くなるほど“読んでいる”と回答した割合が多くなっている。また、年齢が低くなるほど「まったく読まない」が占める割合が大きく増える結果となった。

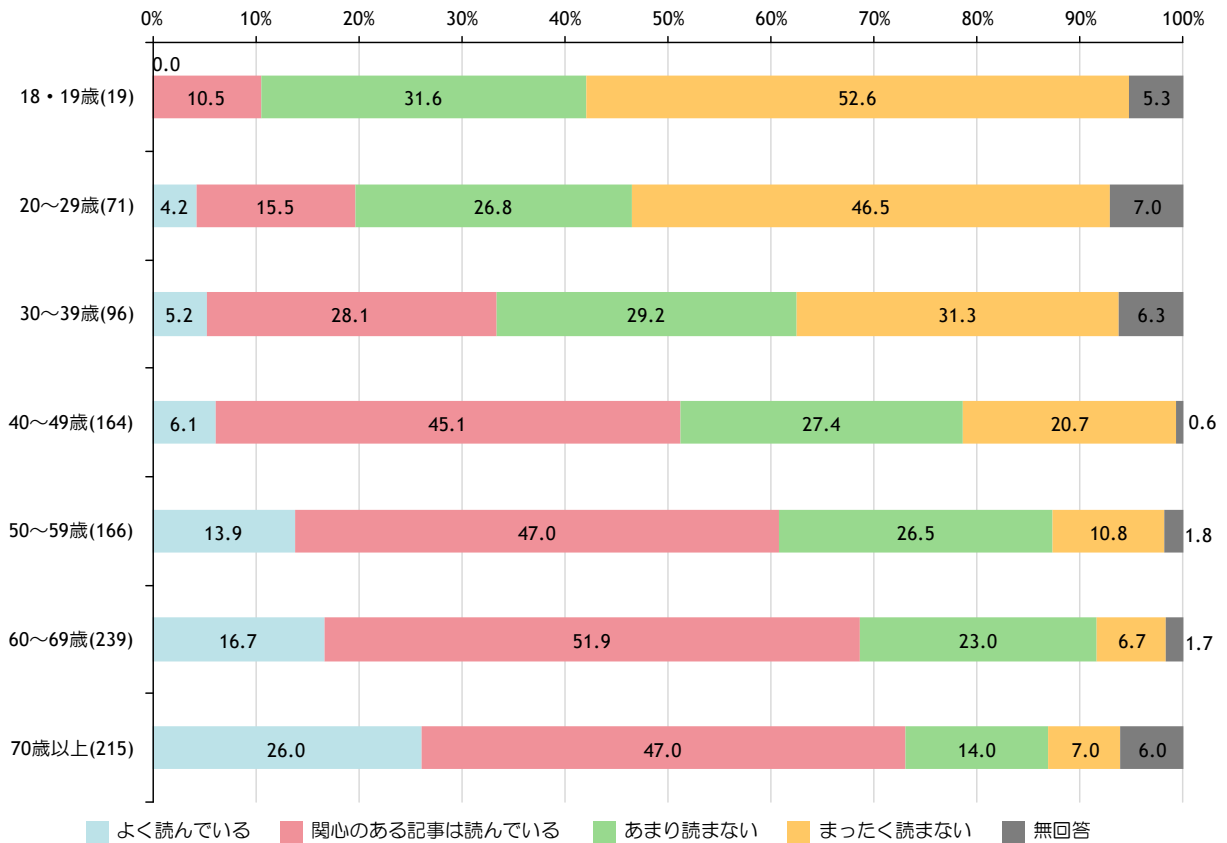
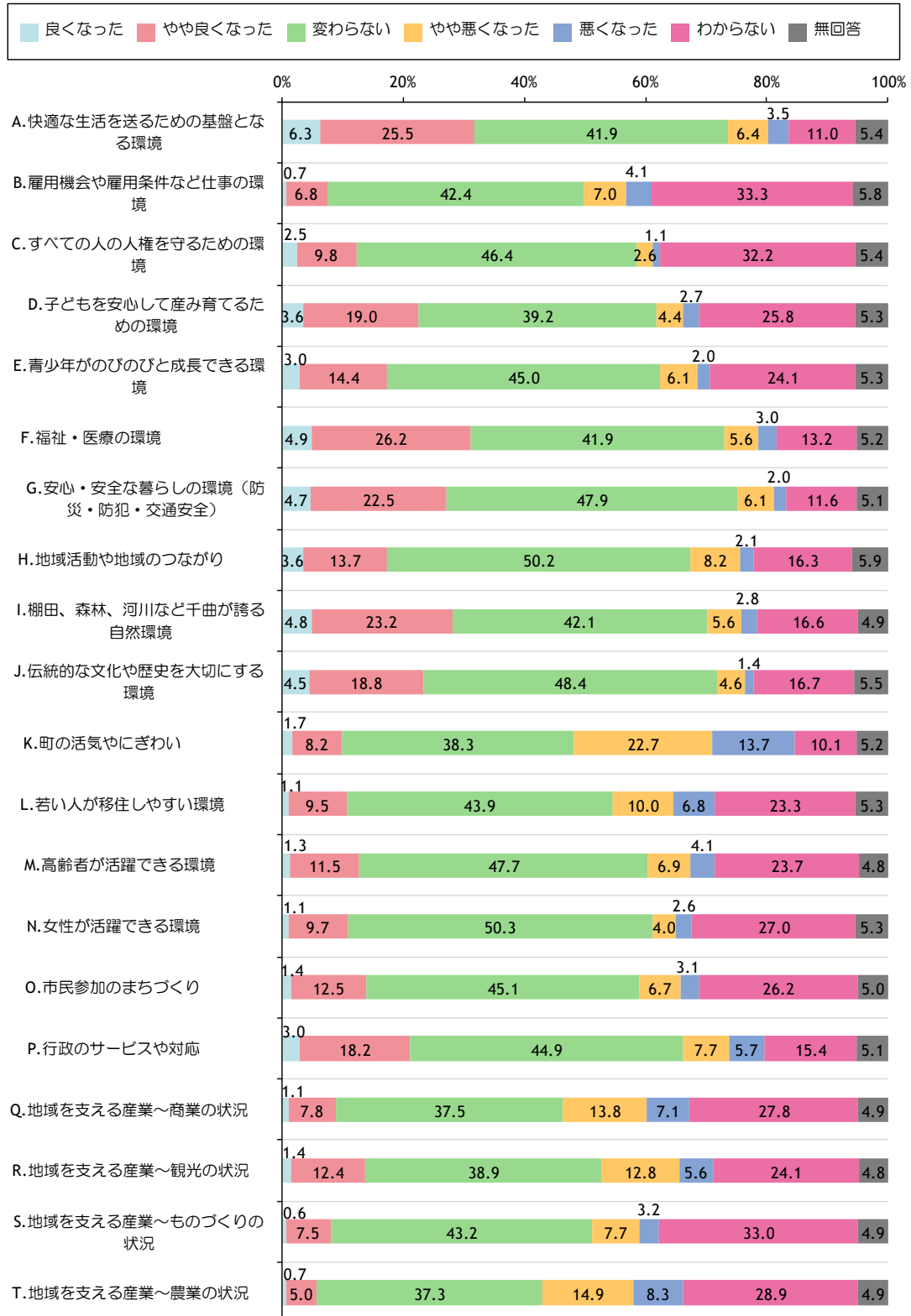


図 3-9-12 年齢別の市議会だよりを読んでいるかの回答割合

(10) 合併後の状況と将来像について

問 8-1 千曲市の暮らしの環境やまちの状況や産業の状況は、この 10 年でどう変化したと
感じていますか。

<項目ごとの回答割合>



<合併後 10 年での変化に関する平均スコア>

市政への満足度と重要度と同様に 16 項目ごとに「良くなった」に+10 点、「やや良くなった」に+5 点、「やや悪くなった」に-5 点、「悪くなった」に-10 点の点数を与え、平均スコアを求めた。

合併後の 10 年で良くなったと感じる部分について、「快適な生活を送るための基盤となる環境」「福祉・医療の環境」「安心・安全な暮らしの環境(防災・防犯・交通安全)」の 3 項目が 2.3 ポイントで同順位となっている。また、合併後の 10 年で悪くなったと感じる部分については「町の活気やにぎわい(-3.4)」、次いで「地域を支える産業～農業の状況(-2.2)」「地域を支える産業～商業の状況(-1.6)」となった。

全体		
ランク	項目	ポイント数
1	A. 快適な生活を送るための基盤となる環境	2.3
2	F. 福祉・医療の環境	2.3
3	G. 安心・安全な暮らしの環境（防災・防犯・交通安全）	2.3
4	J. 伝統的な文化や歴史を大切にする環境	2.2
5	I. 棚田、森林、河川など千曲が誇る自然環境	2.0
6	D. 子どもを安心して産み育てるための環境	1.5
7	C. すべての人の人権を守るための環境	1.0
8	E. 青少年がのびのびと成長できる環境	1.0
9	H. 地域活動や地域のつながり	1.0
10	P. 行政のサービスや対応	0.5
11	N. 女性が活躍できる環境	0.3
12	O. 市民参加のまちづくり	0.3
13	M. 高齢者が活躍できる環境	-0.1
14	S. 地域を支える産業～ものづくりの状況	-0.5
15	B. 雇用機会や雇用条件など仕事の環境	-0.7
16	R. 地域を支える産業～観光の状況	-0.8
17	L. 若い人が移住しやすい環境	-1.2
18	Q. 地域を支える産業～商業の状況	-1.6
19	T. 地域を支える産業～農業の状況	-2.2
20	K. 町の活気やにぎわい	-3.4

<性別ごとの平均スコア表>

【性別の10年での変化について】

上位8位については順位に違いはあるものの同じ項目であった。また、下位4位については項目、順位ともに同じという結果になった。

男性		
ランク	項目	ポイント数
1	A. 快適な生活を送るための基盤となる環境	2.4
2	G. 安心・安全な暮らしの環境（防災・防犯・交通安全）	2.4
3	F. 福祉・医療の環境	2.3
4	J. 伝統的な文化や歴史を大切にする環境	2.1
5	I. 棚田、森林、河川など千曲が誇る自然環境	1.6
6	D. 子どもを安心して産み育てるための環境	1.4
7	C. すべての人の人権を守るための環境	0.9
8	E. 青少年がのびのびと成長できる環境	0.9
9	P. 行政のサービスや対応	0.6
10	H. 地域活動や地域のつながり	0.6
11	N. 女性が活躍できる環境	0.3
12	O. 市民参加のまちづくり	-0.2
13	M. 高齢者が活躍できる環境	-0.3
14	S. 地域を支える産業～ものづくりの状況	-0.7
15	B. 雇用機会や雇用条件など仕事の環境	-0.8
16	R. 地域を支える産業～観光の状況	-1.3
17	L. 若い人が移住しやすい環境	-1.6
18	Q. 地域を支える産業～商業の状況	-2.1
19	T. 地域を支える産業～農業の状況	-2.6
20	K. 町の活気やにぎわい	-3.9

女性		
ランク	項目	ポイント数
1	I. 棚田、森林、河川など千曲が誇る自然環境	2.4
2	J. 伝統的な文化や歴史を大切にする環境	2.3
3	A. 快適な生活を送るための基盤となる環境	2.3
4	F. 福祉・医療の環境	2.3
5	G. 安心・安全な暮らしの環境（防災・防犯・交通安全）	2.2
6	D. 子どもを安心して産み育てるための環境	1.5
7	H. 地域活動や地域のつながり	1.3
8	C. すべての人の人権を守るための環境	1.1
9	E. 青少年がのびのびと成長できる環境	1.1
10	O. 市民参加のまちづくり	0.7
11	P. 行政のサービスや対応	0.4
12	N. 女性が活躍できる環境	0.3
13	M. 高齢者が活躍できる環境	0.1
14	R. 地域を支える産業～観光の状況	-0.3
15	S. 地域を支える産業～ものづくりの状況	-0.3
16	B. 雇用機会や雇用条件など仕事の環境	-0.6
17	L. 若い人が移住しやすい環境	-0.8
18	Q. 地域を支える産業～商業の状況	-1.0
19	T. 地域を支える産業～農業の状況	-1.8
20	K. 町の活気やにぎわい	-2.9

<年齢ごとの平均スコア表その1>

【年齢別の合併後10年での変化について】

70歳以上を除き、「快適な生活を送るための基盤となる環境」の項目が上位2位以内に入っている。また、18・19歳を除き、「伝統的な文化や歴史を大切にする環境」の項目が上位5位以内に入る結果となった。

反対に、「町の活気やにぎわい」「地域を支える産業～農業の状況」「地域を支える産業～商業の状況」の項目はすべての年代で下位4位以内という結果になった。

18・19歳		
ランク	項目	ポイント数
1	P. 行政のサービスや対応	5.0
2	A. 快適な生活を送るための基盤となる環境	4.0
3	F. 福祉・医療の環境	3.2
4	I. 棚田、森林、河川など千曲が誇る自然環境	2.9
5	G. 安心・安全な暮らしの環境（防災・防犯・交通安全）	2.3
6	E. 青少年がのびのびと成長できる環境	2.3
7	J. 伝統的な文化や歴史を大切にする環境	1.9
8	S. 地域を支える産業～ものづくりの状況	1.9
9	M. 高齢者が活躍できる環境	1.7
10	C. すべての人の人権を守るための環境	1.5
11	H. 地域活動や地域のつながり	1.5
12	L. 若い人が移住しやすい環境	1.4
13	N. 女性が活躍できる環境	1.3
14	D. 子どもを安心して産み育てるための環境	0.8
15	O. 市民参加のまちづくり	0.0
16	B. 雇用機会や雇用条件など仕事の環境	-0.4
17	R. 地域を支える産業～観光の状況	-0.6
18	Q. 地域を支える産業～商業の状況	-1.3
19	T. 地域を支える産業～農業の状況	-2.2
20	K. 町の活気やにぎわい	-2.7

<年齢ごとの平均スコア表その2>

20歳～30歳未満		
ランク	項目	ポイント数
1	A. 快適な生活を送るための基盤となる環境	2.0
2	G. 安心・安全な暮らしの環境（防災・防犯・交通安全）	1.9
3	D. 子どもを安心して産み育てるための環境	1.3
4	F. 福祉・医療の環境	1.2
5	J. 伝統的な文化や歴史を大切にする環境	1.1
6	I. 棚田、森林、河川など千曲が誇る自然環境	1.1
7	C. すべての人の人権を守るための環境	0.7
8	E. 青少年がのびのびと成長できる環境	0.7
9	R. 地域を支える産業～観光の状況	0.6
10	O. 市民参加のまちづくり	0.6
11	S. 地域を支える産業～ものづくりの状況	0.4
12	N. 女性が活躍できる環境	0.1
13	M. 高齢者が活躍できる環境	0.1
14	H. 地域活動や地域のつながり	0.0
15	B. 雇用機会や雇用条件など仕事の環境	-0.2
16	P. 行政のサービスや対応	-0.6
17	Q. 地域を支える産業～商業の状況	-0.7
18	T. 地域を支える産業～農業の状況	-0.8
19	K. 町の活気やにぎわい	-1.4
20	L. 若い人が移住しやすい環境	-1.5

30歳～40歳未満		
ランク	項目	ポイント数
1	A. 快適な生活を送るための基盤となる環境	2.9
2	D. 子どもを安心して産み育てるための環境	1.9
3	G. 安心・安全な暮らしの環境（防災・防犯・交通安全）	1.9
4	I. 棚田、森林、河川など千曲が誇る自然環境	1.7
5	J. 伝統的な文化や歴史を大切にする環境	1.5
6	C. すべての人の人権を守るための環境	1.1
7	O. 市民参加のまちづくり	1.1
8	E. 青少年がのびのびと成長できる環境	1.0
9	H. 地域活動や地域のつながり	0.9
10	F. 福祉・医療の環境	0.9
11	N. 女性が活躍できる環境	0.7
12	M. 高齢者が活躍できる環境	0.2
13	P. 行政のサービスや対応	0.2
14	S. 地域を支える産業～ものづくりの状況	0.1
15	L. 若い人が移住しやすい環境	0.0
16	R. 地域を支える産業～観光の状況	-0.1
17	Q. 地域を支える産業～商業の状況	-0.9
18	B. 雇用機会や雇用条件など仕事の環境	-1.0
19	T. 地域を支える産業～農業の状況	-1.5
20	K. 町の活気やにぎわい	-2.3

<年齢ごとの平均スコア表その3>

40歳～50歳未満		
ランク	項目	ポイント数
1	J. 伝統的な文化や歴史を大切にする環境	2.9
2	A. 快適な生活を送るための基盤となる環境	2.9
3	I. 棚田、森林、河川など千曲が誇る自然環境	2.4
4	D. 子どもを安心して産み育てるための環境	2.0
5	F. 福祉・医療の環境	1.9
6	G. 安心・安全な暮らしの環境（防災・防犯・交通安全）	1.5
7	E. 青少年がのびのびと成長できる環境	0.8
8	H. 地域活動や地域のつながり	0.8
9	M. 高齢者が活躍できる環境	0.6
10	C. すべての人の人権を守るための環境	0.5
11	O. 市民参加のまちづくり	0.5
12	P. 行政のサービスや対応	0.4
13	N. 女性が活躍できる環境	0.0
14	R. 地域を支える産業～観光の状況	-0.2
15	L. 若い人が移住しやすい環境	-0.6
16	S. 地域を支える産業～ものづくりの状況	-0.6
17	B. 雇用機会や雇用条件など仕事の環境	-0.7
18	Q. 地域を支える産業～商業の状況	-1.6
19	T. 地域を支える産業～農業の状況	-2.2
20	K. 町の活気やにぎわい	-2.5

50歳～60歳未満		
ランク	項目	ポイント数
1	G. 安心・安全な暮らしの環境（防災・防犯・交通安全）	1.8
2	A. 快適な生活を送るための基盤となる環境	1.8
3	F. 福祉・医療の環境	1.7
4	I. 棚田、森林、河川など千曲が誇る自然環境	1.3
5	J. 伝統的な文化や歴史を大切にする環境	1.1
6	D. 子どもを安心して産み育てるための環境	1.0
7	C. すべての人の人権を守るための環境	0.6
8	M. 高齢者が活躍できる環境	0.2
9	N. 女性が活躍できる環境	0.1
10	O. 市民参加のまちづくり	0.1
11	P. 行政のサービスや対応	0.0
12	E. 青少年がのびのびと成長できる環境	-0.1
13	H. 地域活動や地域のつながり	-0.4
14	S. 地域を支える産業～ものづくりの状況	-1.3
15	R. 地域を支える産業～観光の状況	-1.5
16	B. 雇用機会や雇用条件など仕事の環境	-1.8
17	L. 若い人が移住しやすい環境	-2.2
18	Q. 地域を支える産業～商業の状況	-2.3
19	T. 地域を支える産業～農業の状況	-3.0
20	K. 町の活気やにぎわい	-4.6

<年齢ごとの平均スコア表その4>

60歳～70歳未満		
ランク	項目	ポイント数
1	F. 福祉・医療の環境	3.1
2	A. 快適な生活を送るための基盤となる環境	2.9
3	G. 安心・安全な暮らしの環境（防災・防犯・交通安全）	2.6
4	J. 伝統的な文化や歴史を大切にする環境	2.3
5	I. 棚田、森林、河川など千曲が誇る自然環境	2.1
6	H. 地域活動や地域のつながり	1.7
7	C. すべての人の人権を守るための環境	1.2
8	E. 青少年がのびのびと成長できる環境	1.0
9	D. 子どもを安心して産み育てるための環境	1.0
10	P. 行政のサービスや対応	0.5
11	N. 女性が活躍できる環境	-0.1
12	O. 市民参加のまちづくり	-0.1
13	M. 高齢者が活躍できる環境	-0.3
14	B. 雇用機会や雇用条件など仕事の環境	-0.4
15	S. 地域を支える産業～ものづくりの状況	-0.7
16	L. 若い人が移住しやすい環境	-1.3
17	R. 地域を支える産業～観光の状況	-1.4
18	Q. 地域を支える産業～商業の状況	-1.6
19	T. 地域を支える産業～農業の状況	-2.8
20	K. 町の活気やにぎわい	-3.7

70歳以上		
ランク	項目	ポイント数
1	F. 福祉・医療の環境	3.4
2	G. 安心・安全な暮らしの環境（防災・防犯・交通安全）	3.3
3	J. 伝統的な文化や歴史を大切にする環境	3.1
4	I. 棚田、森林、河川など千曲が誇る自然環境	2.7
5	E. 青少年がのびのびと成長できる環境	2.0
6	D. 子どもを安心して産み育てるための環境	1.9
7	H. 地域活動や地域のつながり	1.9
8	C. すべての人の人権を守るための環境	1.6
9	A. 快適な生活を送るための基盤となる環境	1.6
10	P. 行政のサービスや対応	1.2
11	N. 女性が活躍できる環境	1.0
12	O. 市民参加のまちづくり	0.1
13	B. 雇用機会や雇用条件など仕事の環境	-0.2
14	S. 地域を支える産業～ものづくりの状況	-0.5
15	R. 地域を支える産業～観光の状況	-0.9
16	M. 高齢者が活躍できる環境	-1.1
17	L. 若い人が移住しやすい環境	-1.3
18	Q. 地域を支える産業～商業の状況	-1.5
19	T. 地域を支える産業～農業の状況	-1.7
20	K. 町の活気やにぎわい	-4.0

問 8-2 千曲市は 10 年後どうなっていると思いますか。

千曲市が 10 年後どうなっているかについて、「これまでと変わらない(34.7%)」「衰退している(23.5%)」「わからない(18.7%)」「今より活性化している(16.3%)」となった。

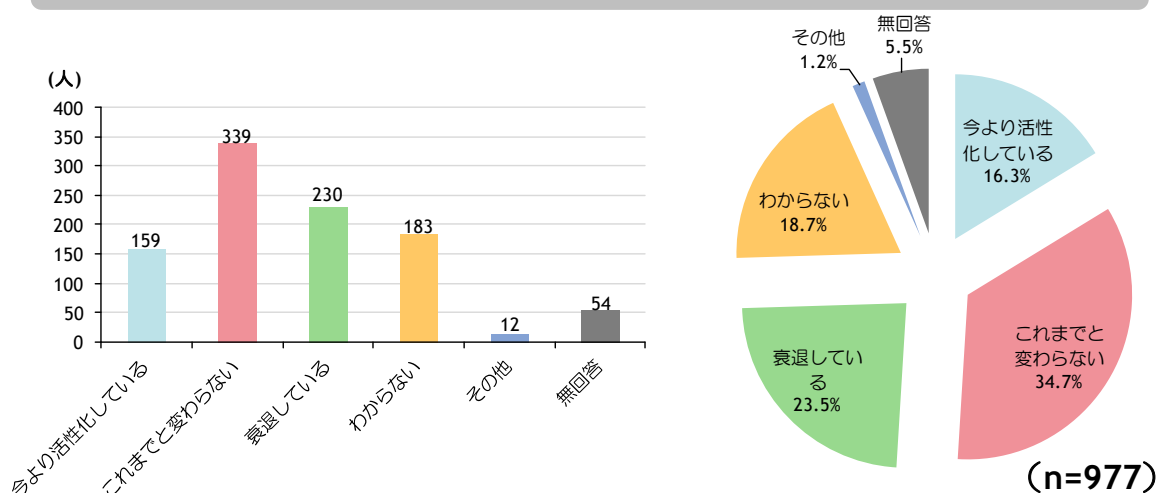


図 3-10-2 10 年後どうなっているかについての回答割合

図 3-10-1 10 年後どうなっているかについての回答数

【性別の千曲市が 10 年後どうなっているかについて】

男性の方が女性より「衰退している」と回答した割合が高くなっている。また、女性で「わからない」と回答した割合が高くなっている。

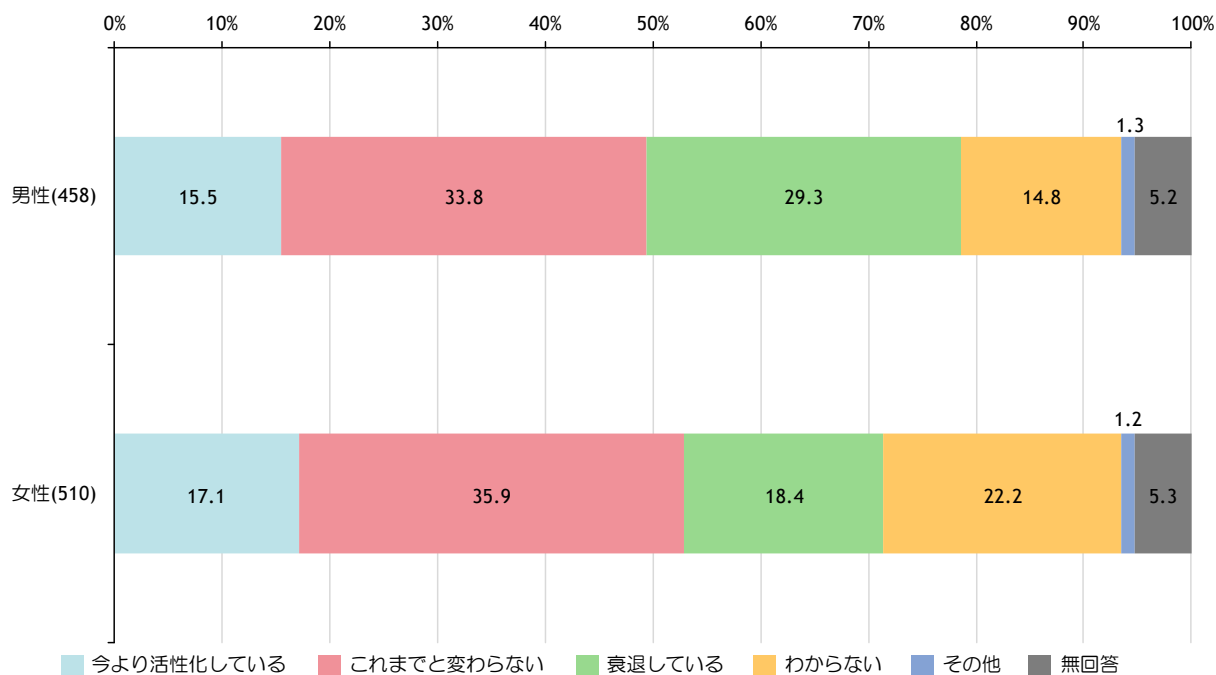


図 3-10-3 性別の 10 年後どうなっているかについての回答割合

【年齢別の千曲市が10年後どうなっているかについて】

年齢ごとに極端な差はでなかったものの、30代から50代で「これまでと変わらない」と回答した割合がやや高い結果となった。

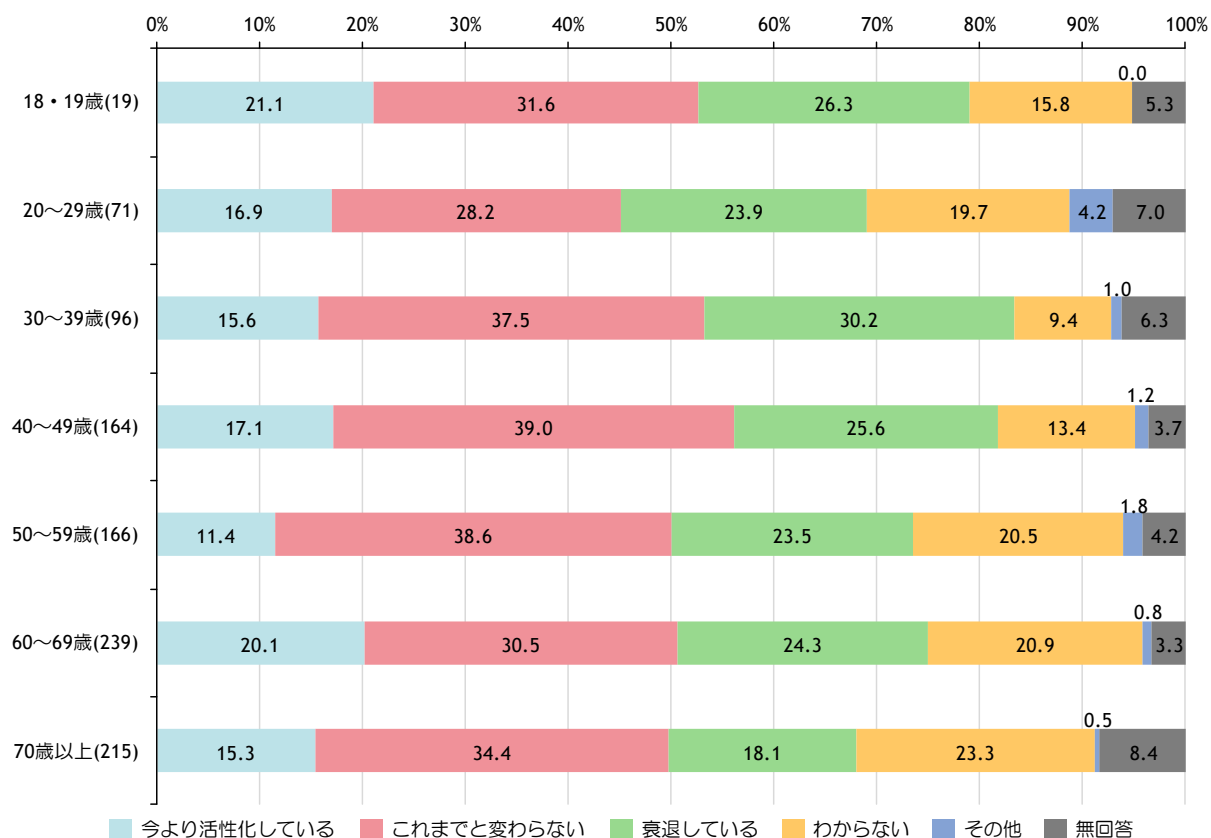
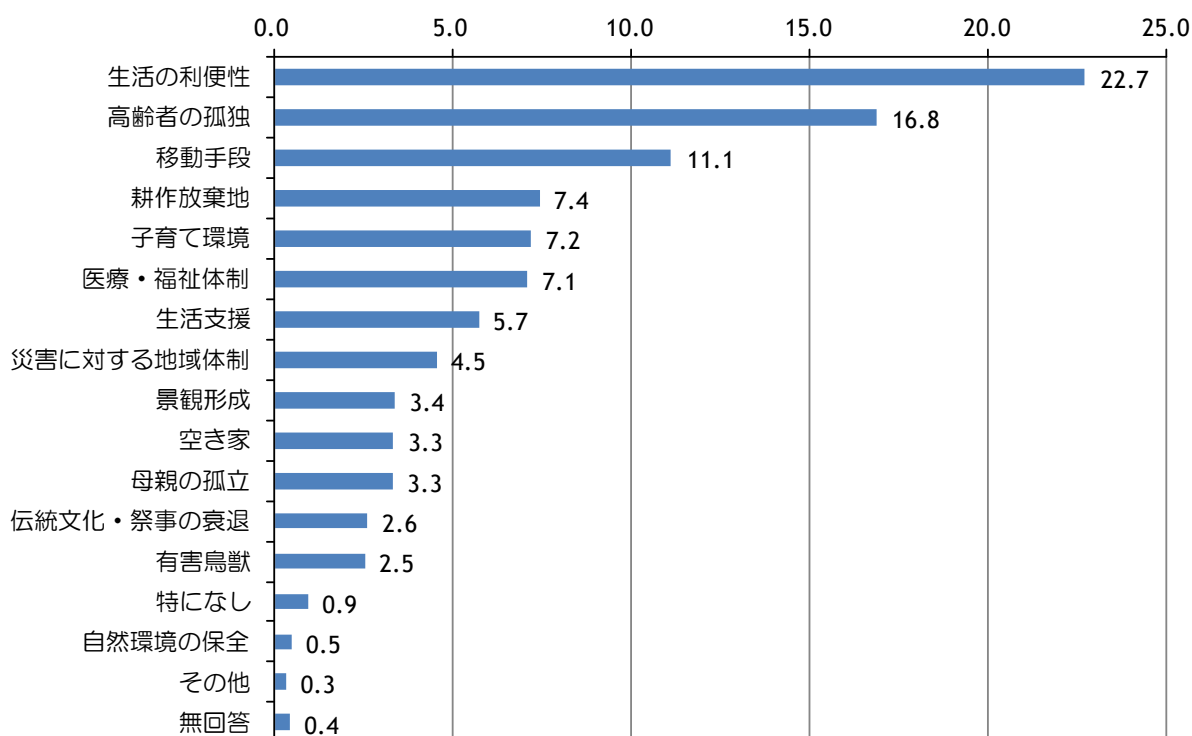


図 3-10-4 年齢別の10年後どうなっているかについての回答割合

問 8-3 お住まいの地域が直面している「解決すべき課題」は何でしょうか。(複数回答可)

解決すべき課題について、最も多く割合を占めたのは「生活の利便性(22.7%)」、次いで「高齢者の孤独(16.8%)」「移動手段(11.1%)」「耕作放棄地(7.4%)」「子育て環境(7.2%)」「医療・福祉体制(7.1%)」「生活支援(5.7%)」「災害に対する地域体制(4.5%)」「景観形成(3.4%)」「空き家(3.3%)」「母親の孤立(3.3%)」「伝統文化・祭事の衰退(2.6%)」「有害鳥獣(2.5%)」「特になし(0.9%)」「自然環境の保全(0.5%)」「その他(0.3%)」となった。

全体



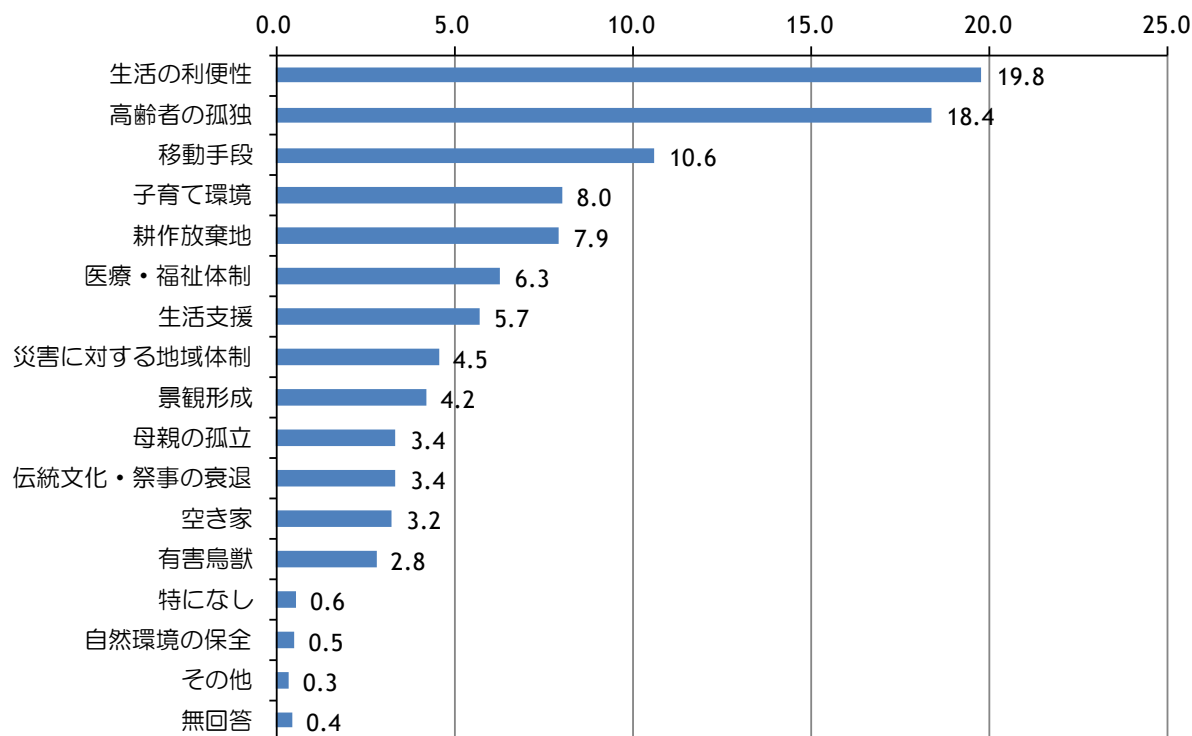
グラフ内の項目について

生活の利便性	：	商店・スーパー等が減少し、生活が不便になっている
高齢者の孤独	：	一人暮らし高齢者が孤立している
移動手段	：	車が運転できないなど、移動手段がなく困っている人がいる
耕作放棄地	：	耕作放棄地が増えている
子育て環境	：	働きながら子供を育てにくい環境になっている
医療・福祉体制	：	身近なニーズに対応する医療・福祉体制が不足している
生活支援	：	貧困等で生活支援が必要な世帯が増えている
災害に対する地域体制	：	災害が発生した際の地域の体制づくりが十分でない
景観形成	：	景観形成に配慮した街並みづくりができていない
空き家	：	空き家が増加している
母親の孤立	：	子育て中の母親が孤立しやすくなっている
伝統文化・祭事の衰退	：	伝統的な文化や祭事が衰退している
有害鳥獣	：	有害鳥獣による被害が発生している
特になし	：	特に課題はない
自然環境の保全	：	棚田や里山、森林などの自然環境が保全されていない
その他	：	その他
無回答	：	無回答

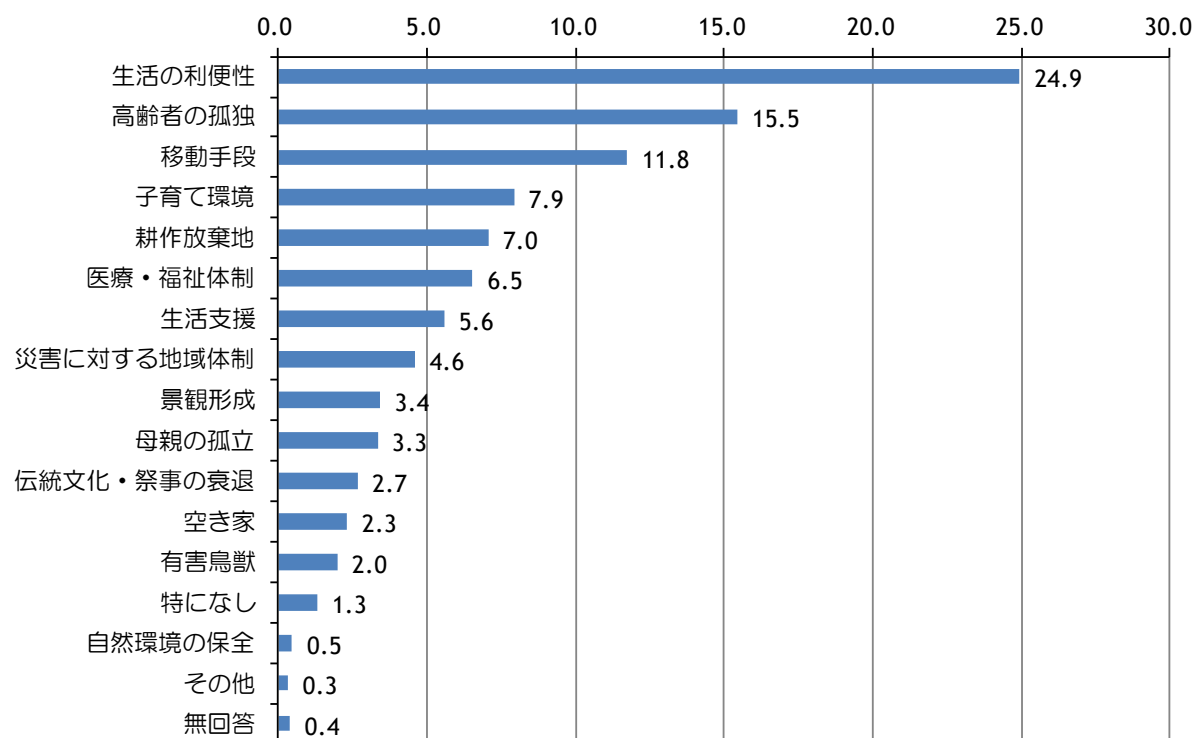
【性別の解決すべき課題について】

性別での順位は変化がなかった。割合については、男性がより「高齢者の孤独」に対して解決すべき課題としている。

男性



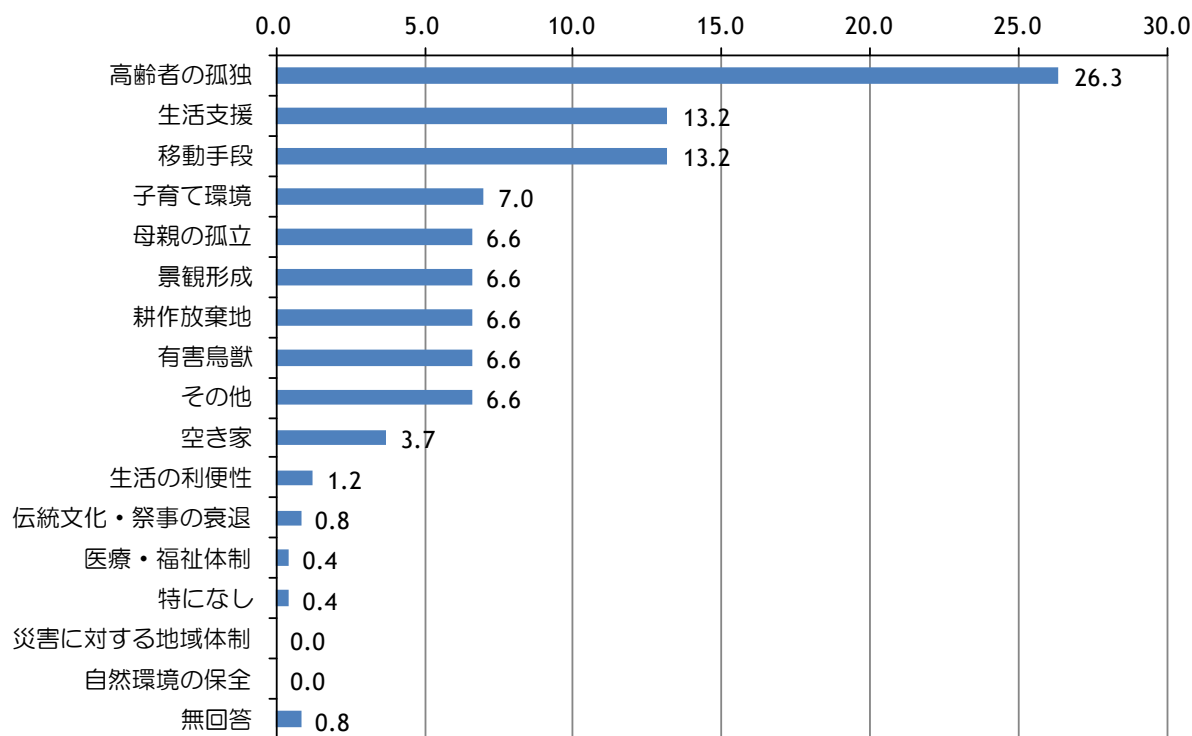
女性



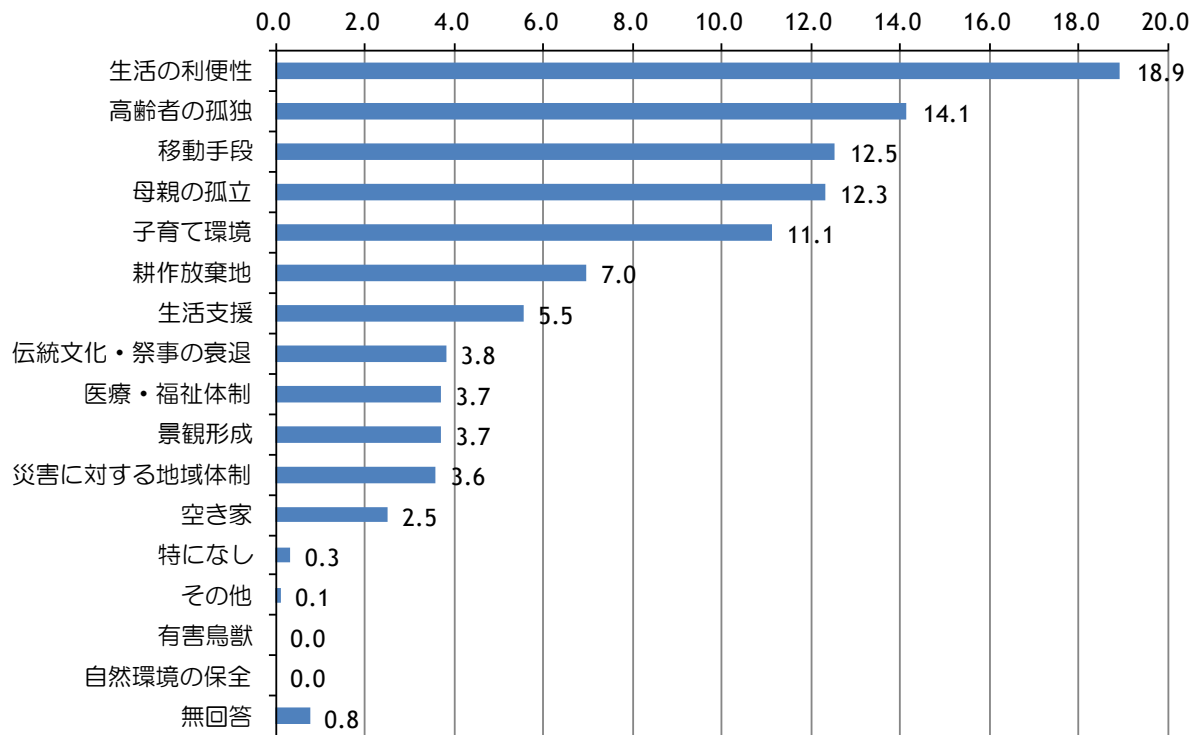
【年齢別の解決すべき課題について】

30代を除くと、「高齢者の孤独」の項目が上位に入っている。
また、18・19歳を除くと「生活の利便性」の項目が占める割合が高くなっている。

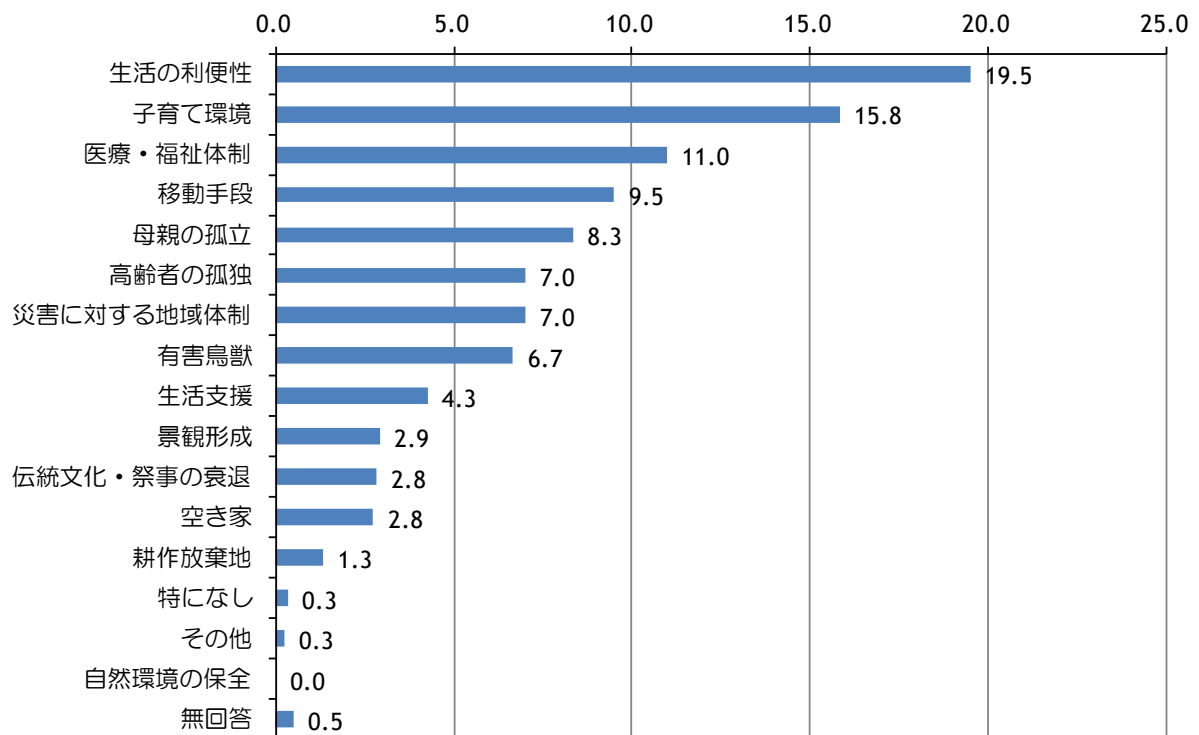
18・19歳



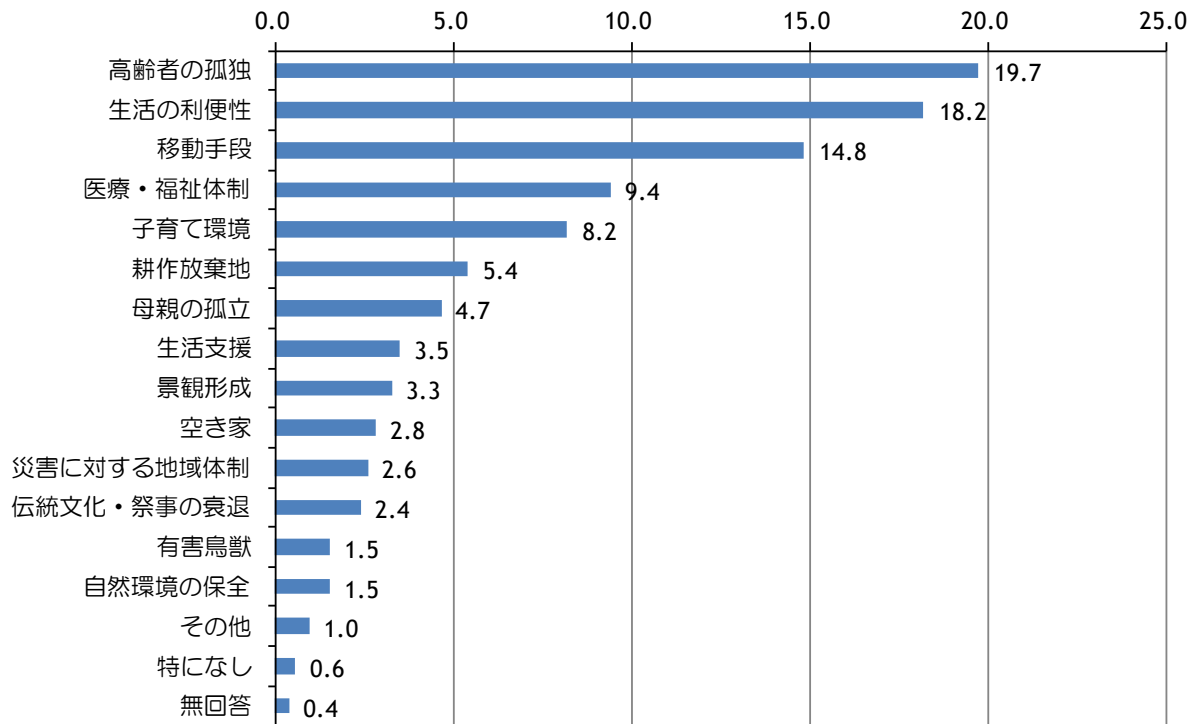
20～29歳



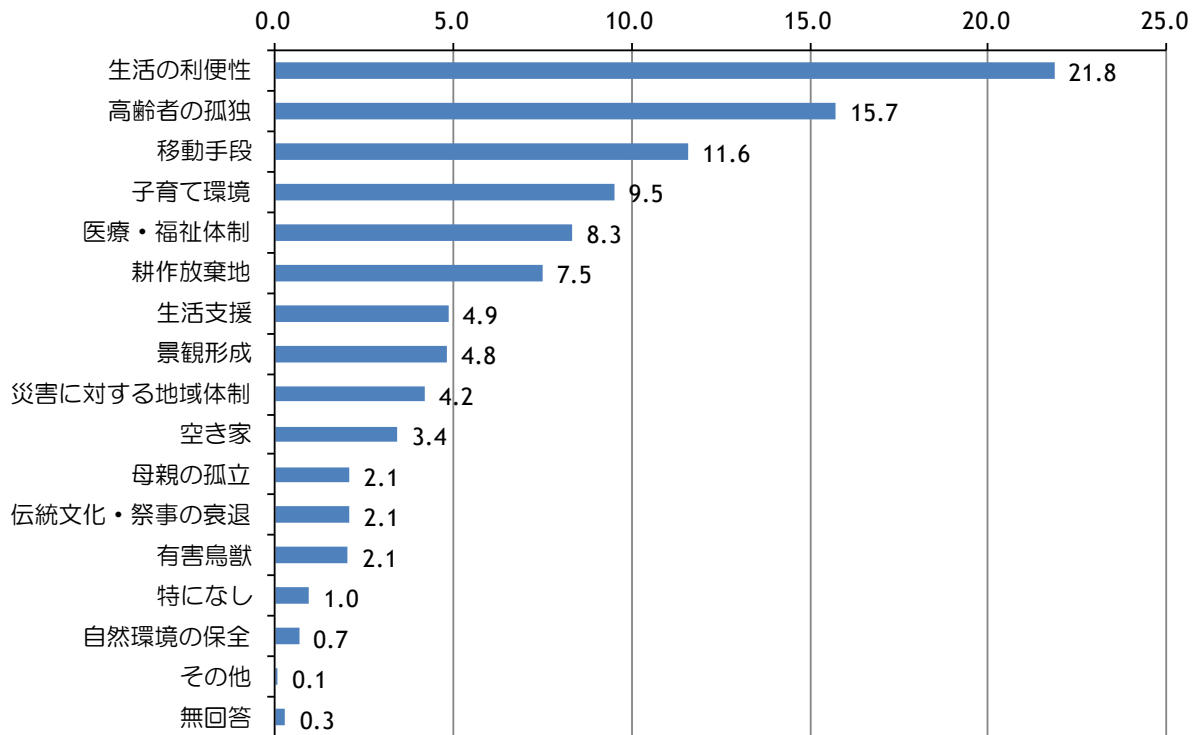
30～39歳



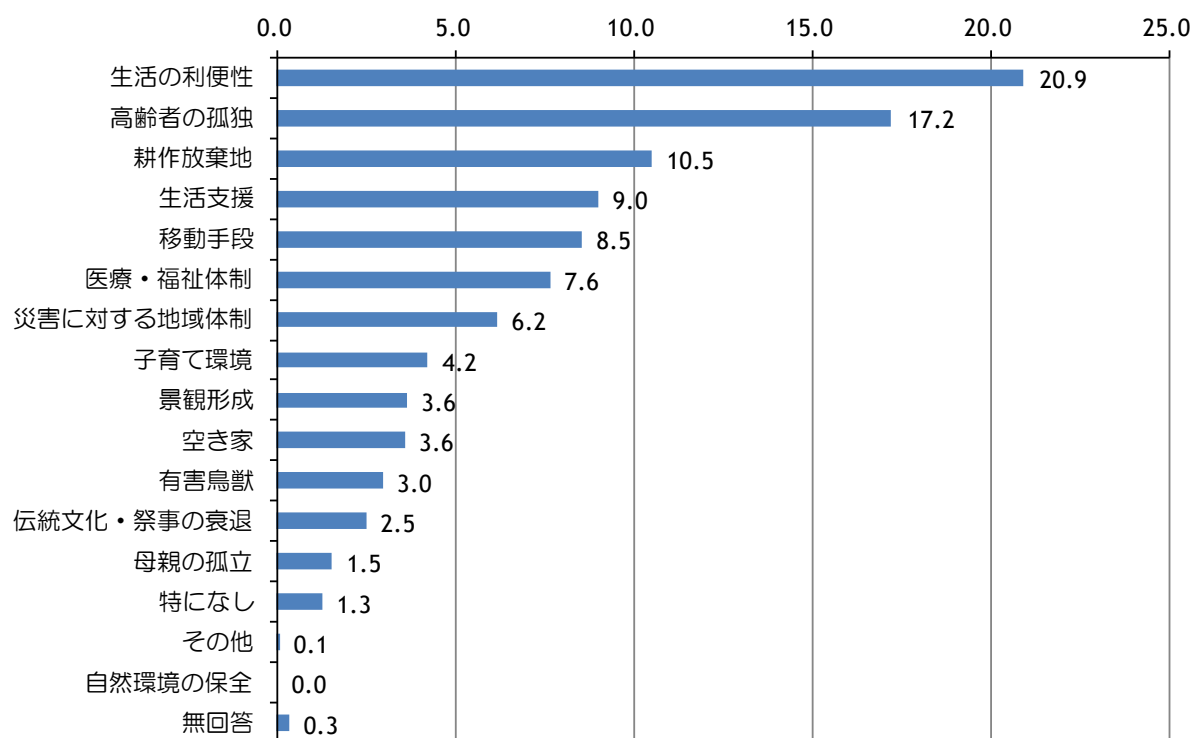
40～49歳



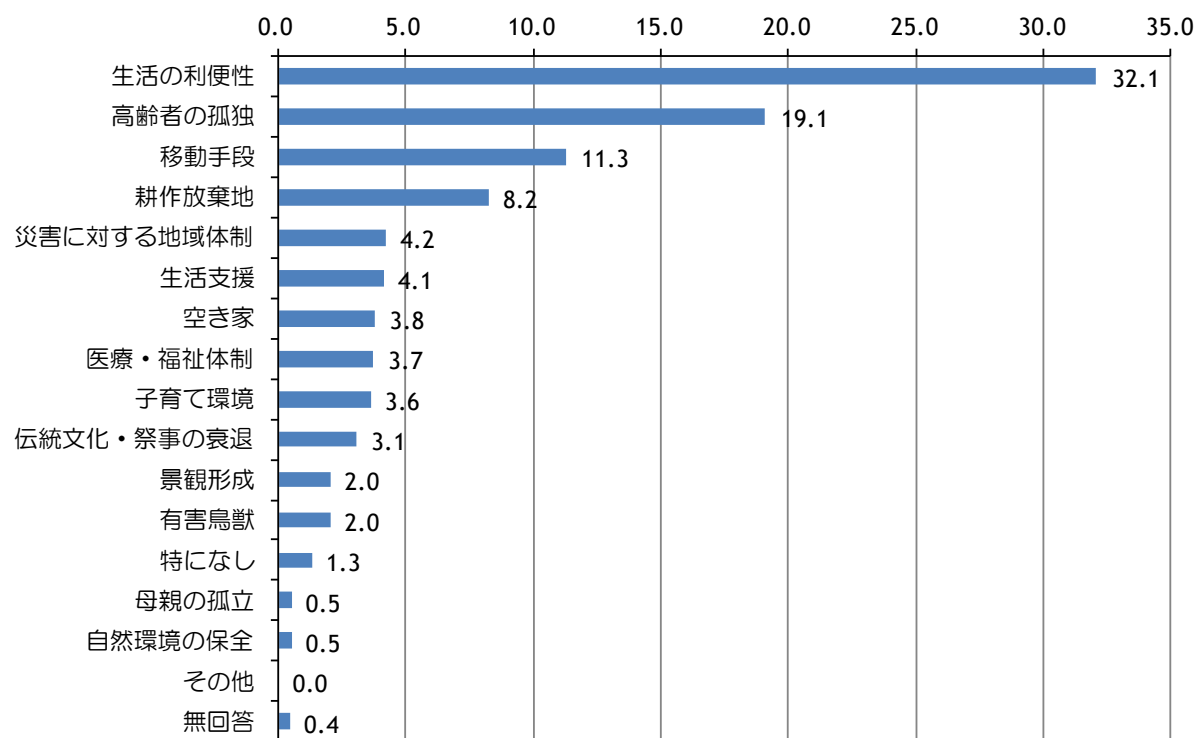
50～59歳



60～69歳



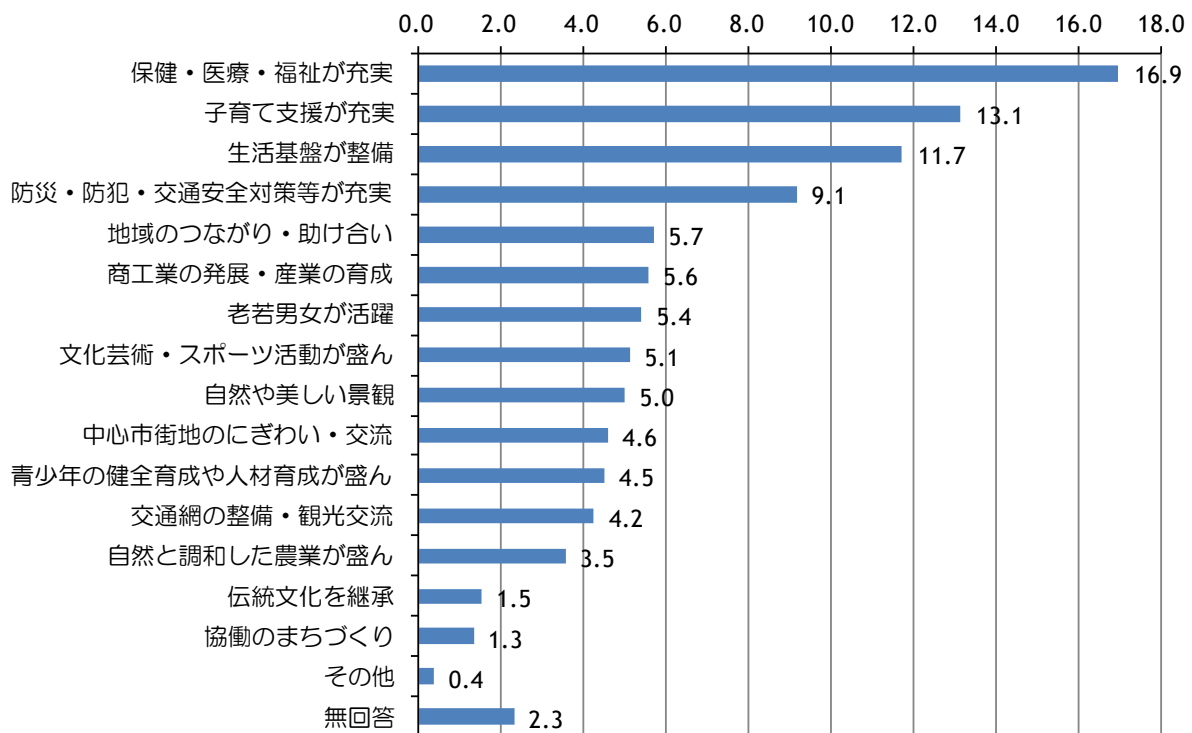
70歳以上



問 8-4 10年後の千曲市がどのようなまちになってほしいと思いますか。

どのようなまちになってほしいかについて、「保健・医療・福祉が充実(3.1%)」「子育て支援が充実(2.4%)」「生活基盤が整備(2.1%)」「防災・防犯・交通安全対策等が充実(1.7%)」「地域のつながり・助け合い(1.0%)」「商工業のお発展・産業の育成(1.0%)」「老若男女が活躍(1.0%)」「文化芸術・スポーツ活動が盛ん(0.9%)」「自然や美しい景観(0.9%)」「中心市街地のにぎわい・交流(0.8%)」「青少年の健全育成や人材育成が盛ん(0.8%)」「交通網の整備・観光交流(0.8%)」「自然と調和した農業が盛ん(0.6%)」「伝統文化を継承(0.3%)」「協働のまちづくり(0.2%)」「その他(0.1%)」となった。

全体



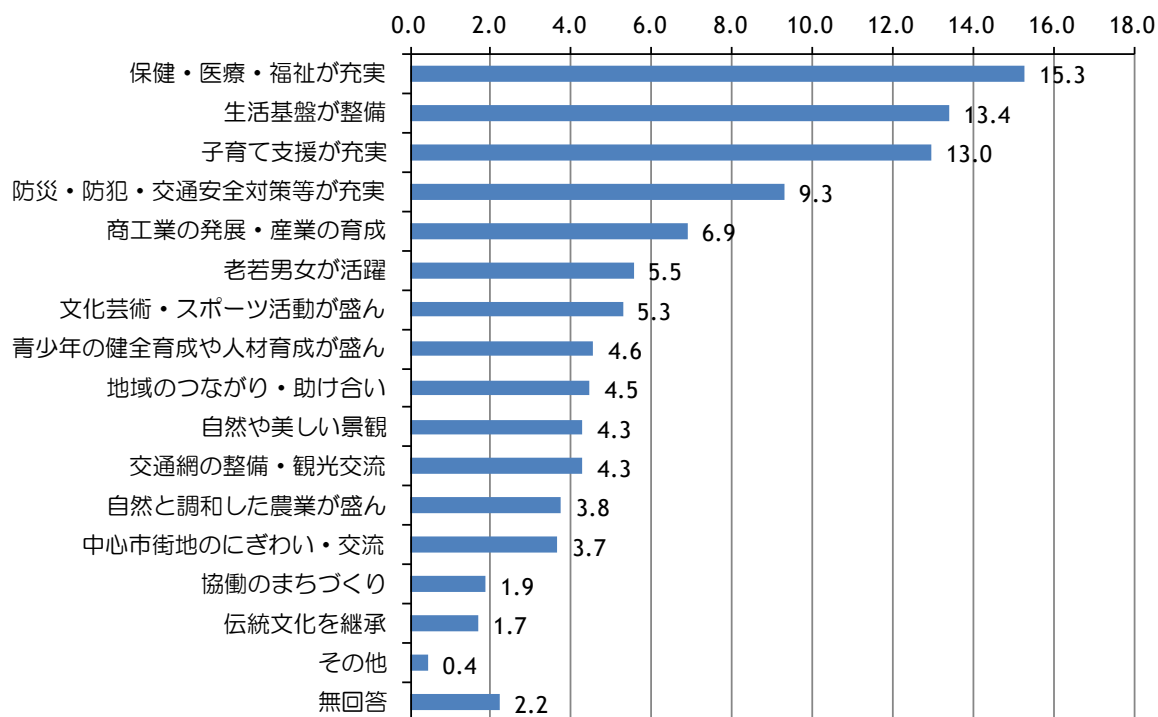
グラフ内の項目について

保健・医療・福祉が充実	：	保健・医療・福祉が充実した健康長寿のまち
子育て支援が充実	：	子どもを安心して、産み育てるための支援が充実しているまち
生活基盤が整備	：	道路・公園・住宅など生活基盤が整備された便利で快適なまち
防災・防犯・交通安全対策等が充実	：	安全等が充実した安全・安心なまち
地域のつながり・助け合い	：	地域のつながりを持ち、地域で助け合えるまち
商工業の発展・産業の育成	：	商工業が発展し、産業の育成等が発展するまち
老若男女が活躍	：	老若男女がそれぞれに役割を担い、活躍しているまち
文化芸術・スポーツ活動が盛ん	：	施設が整備され、イベント等が豊富に開かれる、文化芸術・スポーツ活動が盛んなまち
自然や美しい景観	：	独自の豊かな自然や美しい景観を誇りにし、大切にしているまち
中心市街地のにぎわい・交流	：	中心市街地ににぎわいがあり、人の交流が生まれるまち
青少年の健全育成や人材育成が盛ん	：	教育環境が整備され、青少年の健全育成や人材育成が盛んなまち
交通網の整備・観光交流	：	交通網が整備され、国内外の人が訪れる観光が盛んなまち
自然と調和した農業が盛ん	：	豊かな自然と調和した農業が盛んなまち
伝統文化を継承	：	独自の伝統文化を継承し、大切にしているまち
協働のまちづくり	：	市政に市民が参加でき、市民による協働が活発なまち
その他	：	その他
無回答	：	無回答

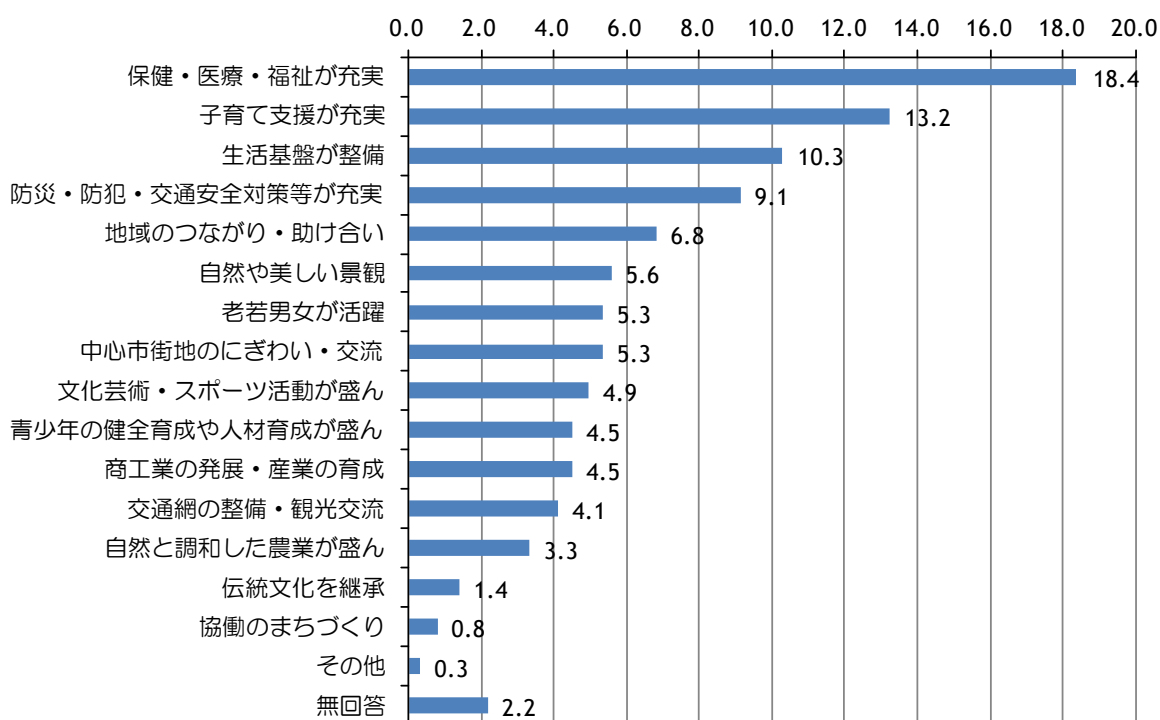
【性別のどのようなまちになってほしいかについて】

男性・女性どちらも順位は違うものの、上位4項目については同じ項目となった。

男性



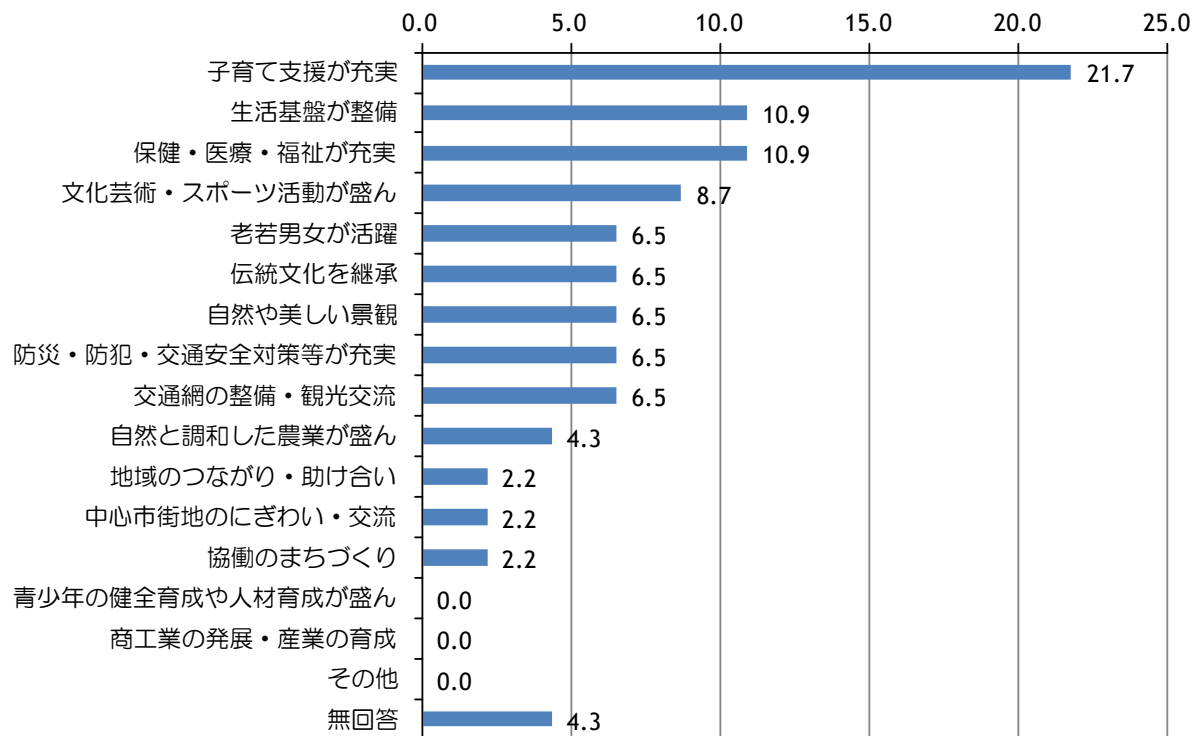
女性



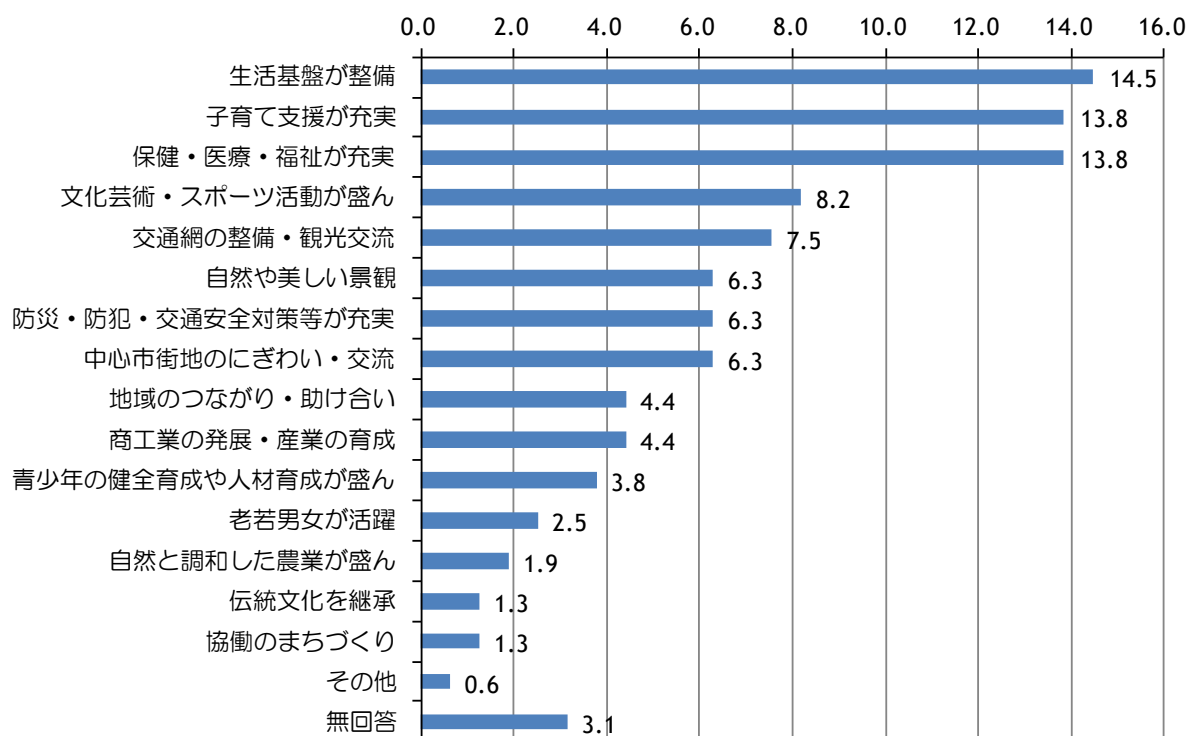
【年齢別のどのようなまちになってほしいかについて】

すべての年代において「子育て支援が充実」「生活基盤が整備」「保健・医療・福祉」の項目が上位に入っている。

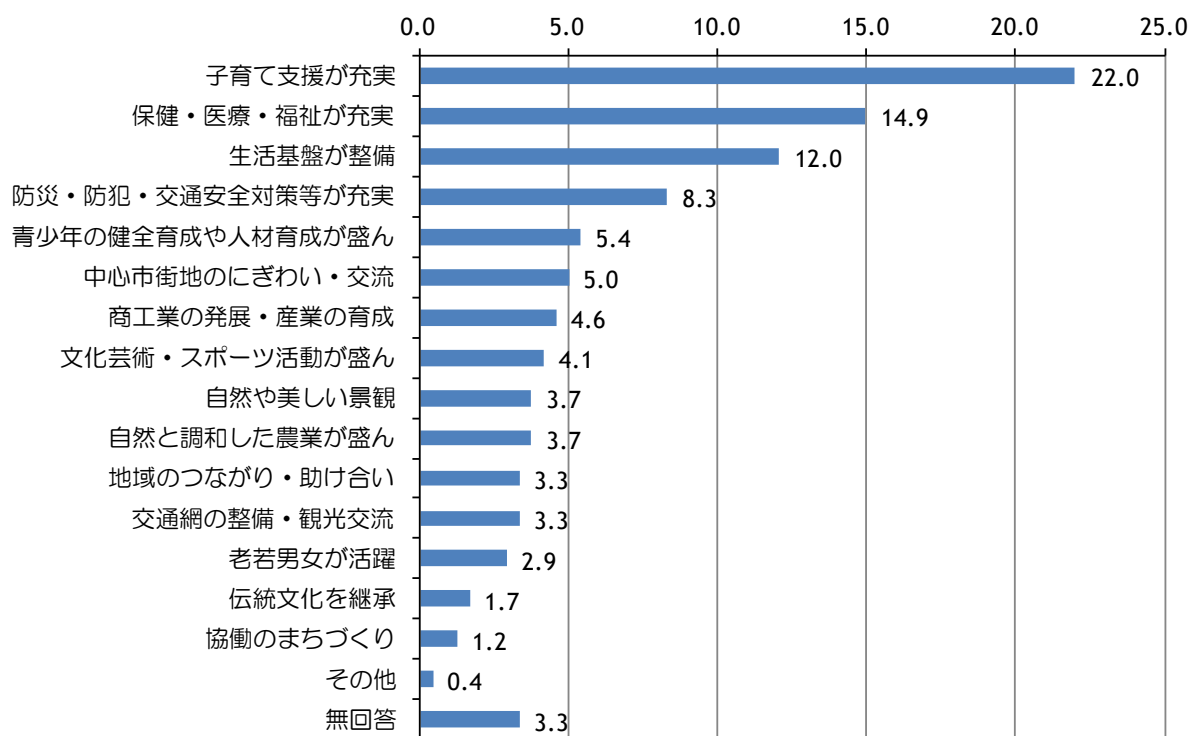
18・19歳



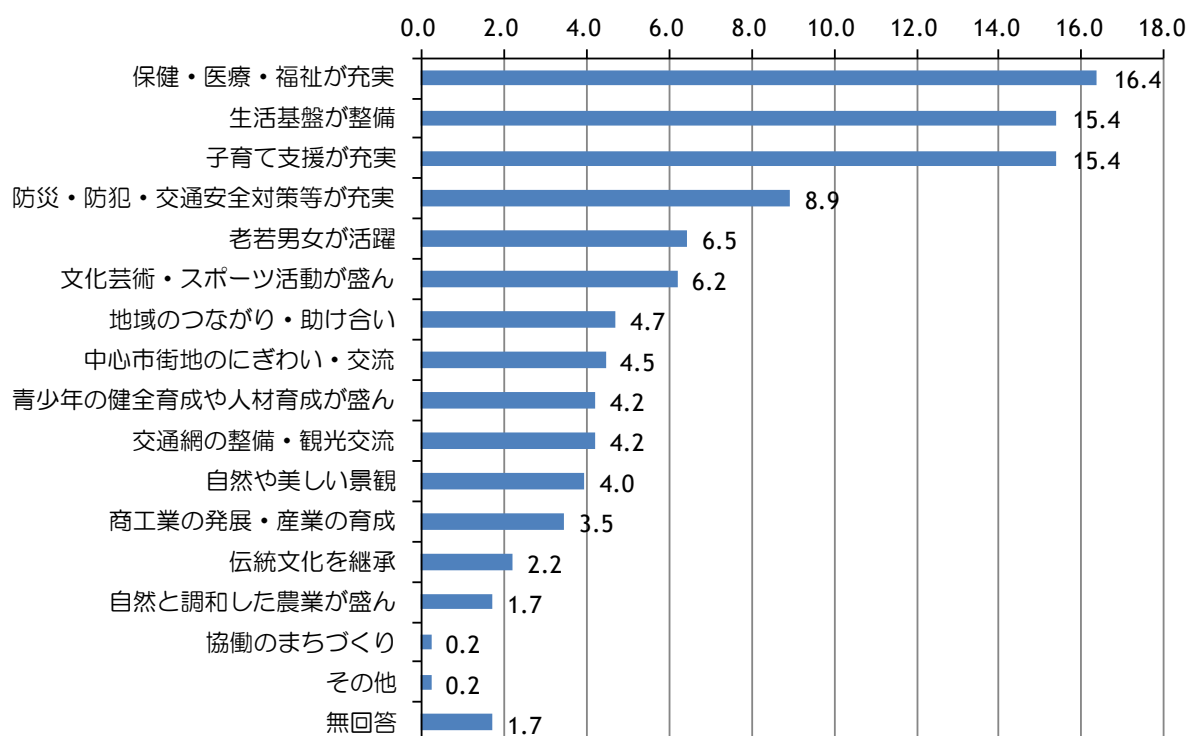
20～29歳



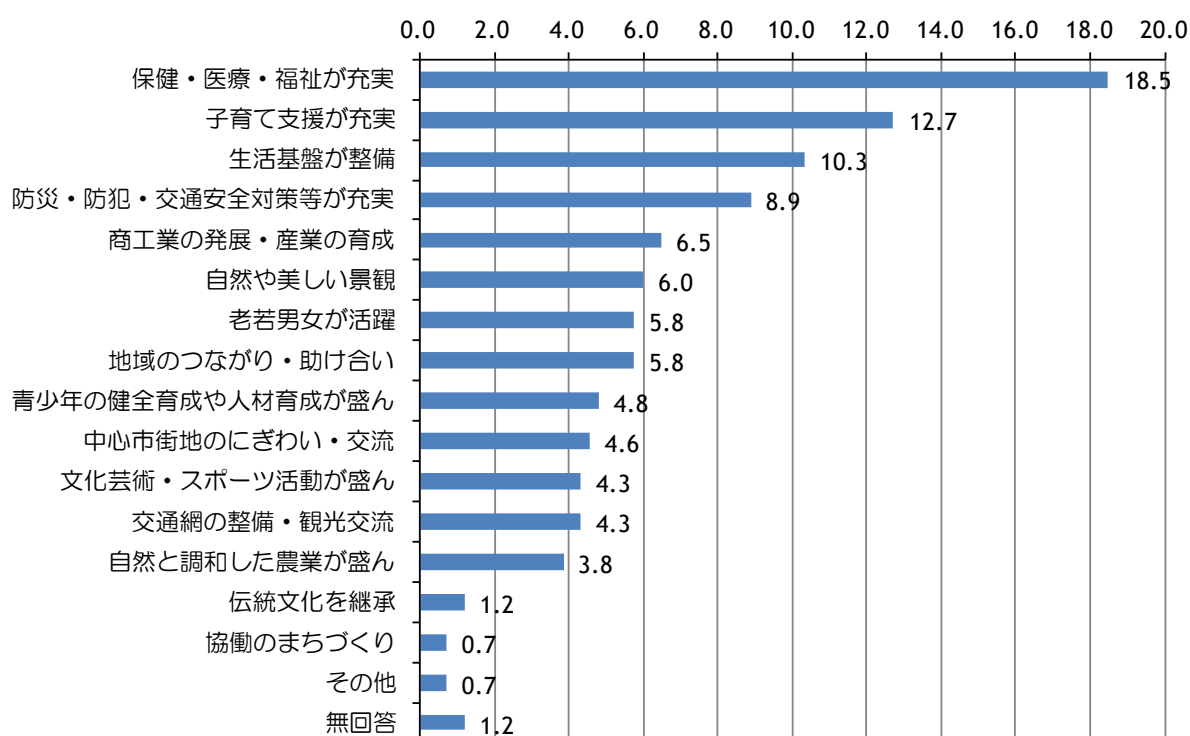
30～39歳



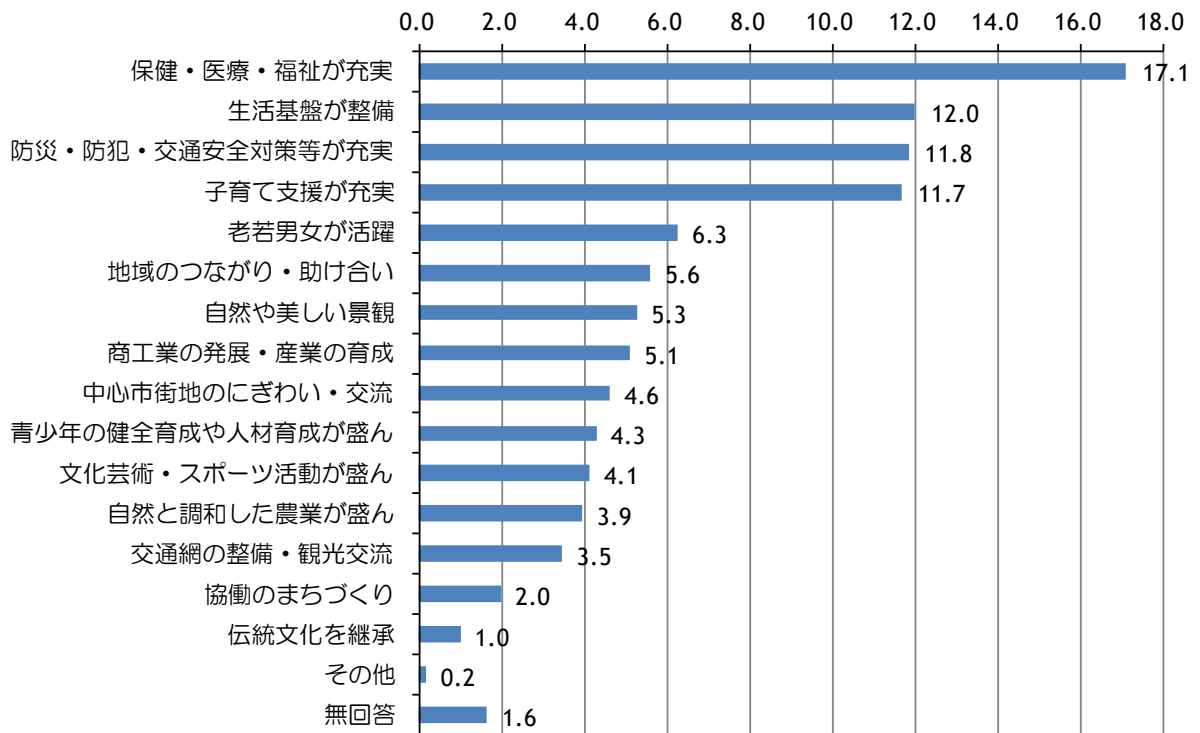
40～49歳



50～59歳



60～69歳



70歳以上

